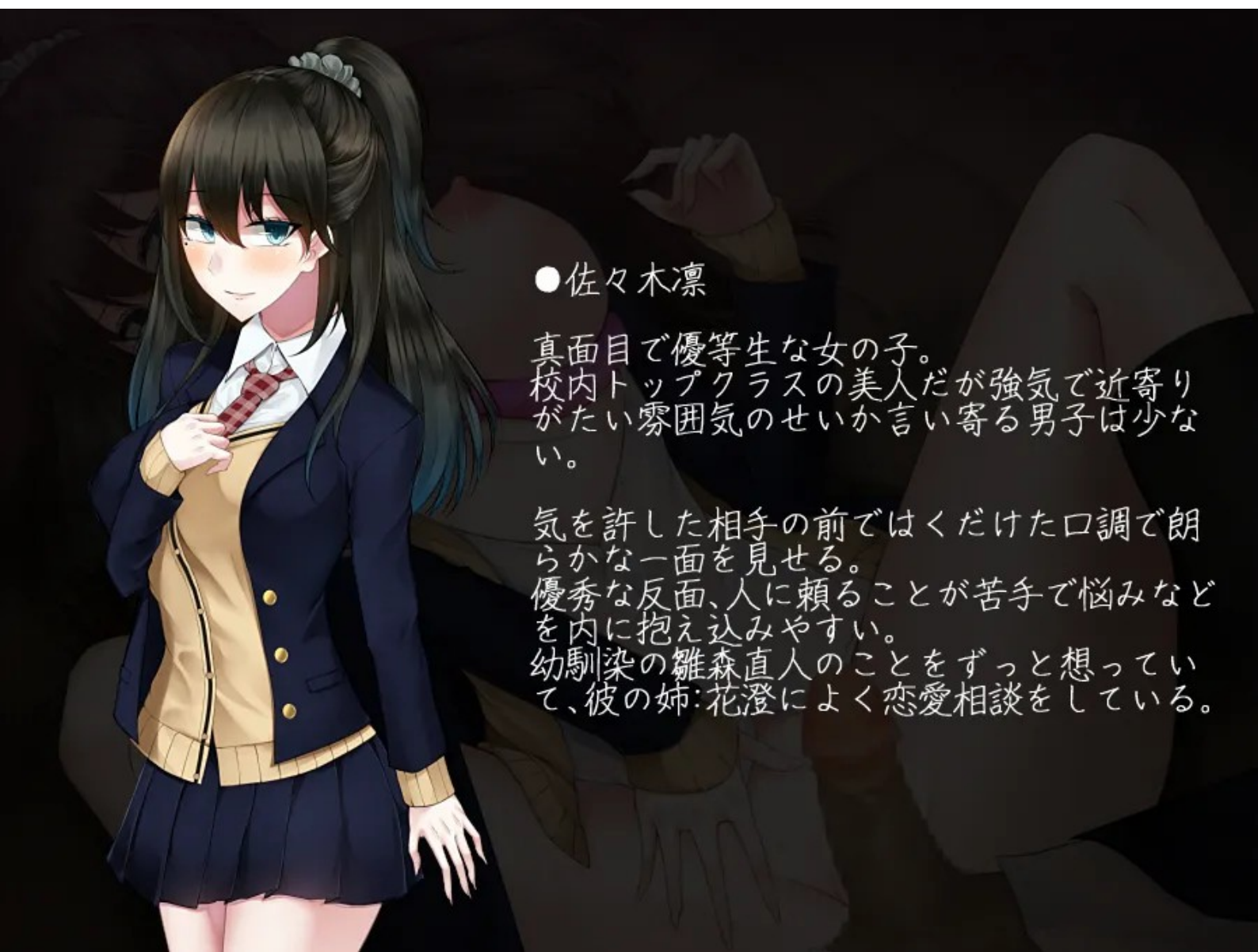




幼馴染の彼女と姉さんが
顛末を僕はただ聞いていた



●佐々木凜

真面目で優等生な女の子。
校内トップクラスの美人だが強気で近寄り
がたい雰囲気のためか言い寄る男子は少
ない。

気を許した相手の前ではくだけた口調で朗
らかな一面を見せる。
優秀な反面、人に頼ることが苦手な悩みなど
を内に抱え込みやすい。
幼馴染の雛森直人のことをずっと想ってい
て、彼の姉・花澄によく恋愛相談をしている。



●**雛森直人**
内向的な性格で優しい男の子。
凜とは幼い頃から家族ぐるみの付き合いで、友人としても女性としても大切に想っている。
凜が悩んでいることによく気が付き、小さい頃から彼女を助けることが多かった。
姉の花澄との仲もよく、凜との仲についてよく聞かれている。

●**雛森花澄**
直人の姉。大学生で一人暮らしをしている。
中学時代から持ち前の優しさと無防備さでよく男子を勘違いさせて好意を向けられている。
頼まれごとを断れないお人好しなため、活発な友人に振り回されていることも多い。
凜からよく直人についての恋愛相談を受けていて、二人の恋路を応援している。

●**岡田英次**
いわゆる不良の問題児。
欲しい物は手に入れないと気が済まない性質で手段を厭わず手に入れようとする。
凜と直人を見かけるとよくちょっかいをかけたリセクハラ紛いのことをしてくる。
ため二人に警戒されている。

【あらすじ】

幼い頃から一緒だった幼馴染、佐々木凛と雛森直人。
直人の姉:花澄の後押しもあって二人はようやく付き合うことに。。
徐々に幼馴染から恋人へと変わっていく二人は穏やかな日々を過ごしていた。



しかし、それからしばらくして直人は凛の態度が
どこかおかしいことに気がつく。
時を同じくして姉との連絡もなくなってしまう。

原因は問題児:岡田英次によるものだった。
花澄は岡田の罾にはめられ大学の先輩である
樋口の中で薬と快楽調教により堕ちていった。

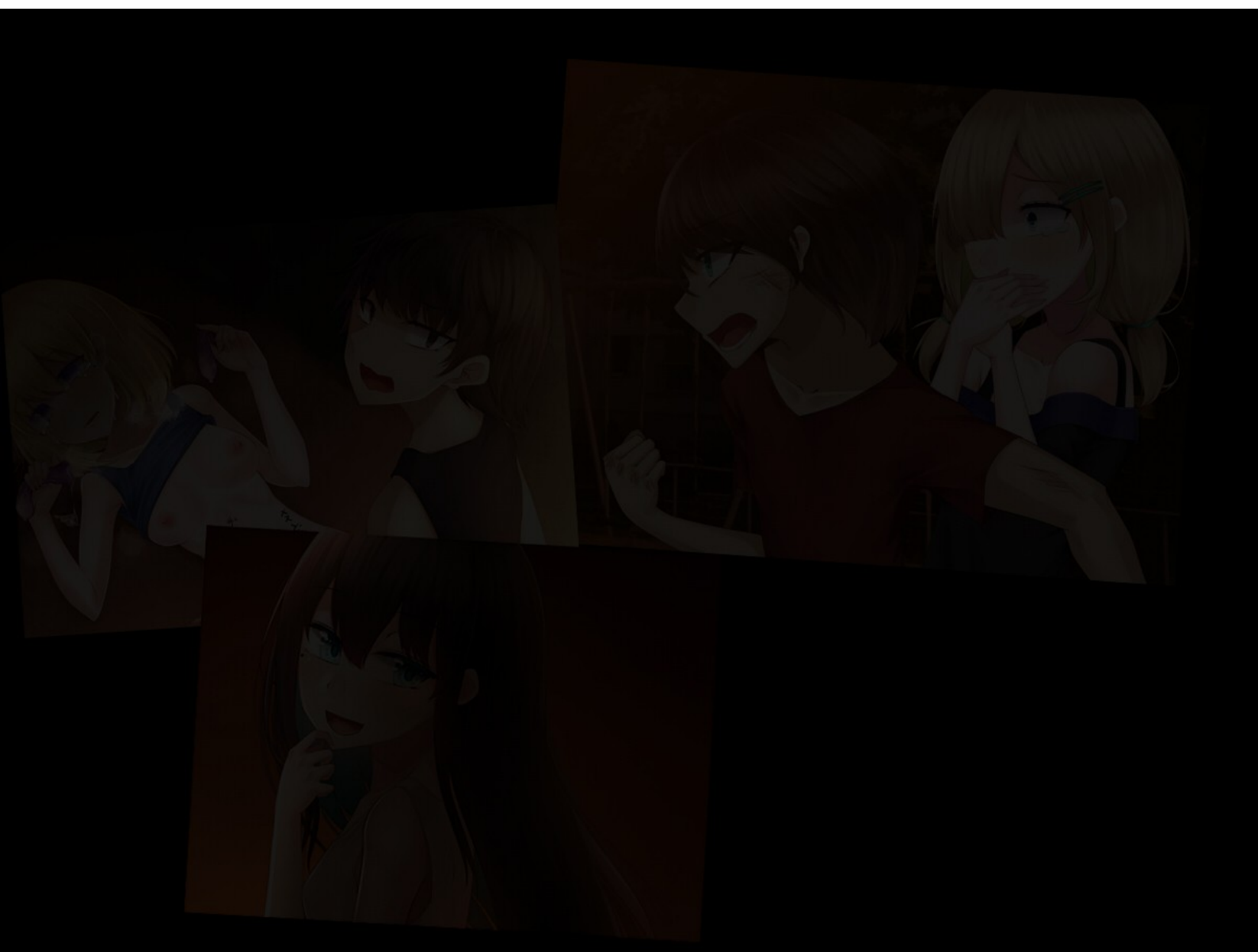


その花澄の陵辱動画によって脅された凜もぼろぼろ
になっていき、結果直人と凜の関係は引き裂かれてしまう。

凜と花澄が残した手がかりを元に2人を救おうとする中で、
直人は幼いころに岡田と出会っていたことに気がつく。



直人は様々な感情を内に抱えながら、岡田と対峙
するため全てが始まった公園に向かった。



あの日、あの公園で初めて僕は初めて人を殴った。
拳に伝わる衝撃と感触をよく覚えている。殴られた本人は
目を丸くして瞬間、喧嘩が始まった。



あの少年——岡田がやったのは許されないことだ。
あいつにぼろぼろにされた高村さんは僕や凜とも共通の友人だった。
少し内気で優しい子だった。凜とは特に仲が良かったと記憶している。
凜は今でも彼女がこの街を去った原因を知らない。



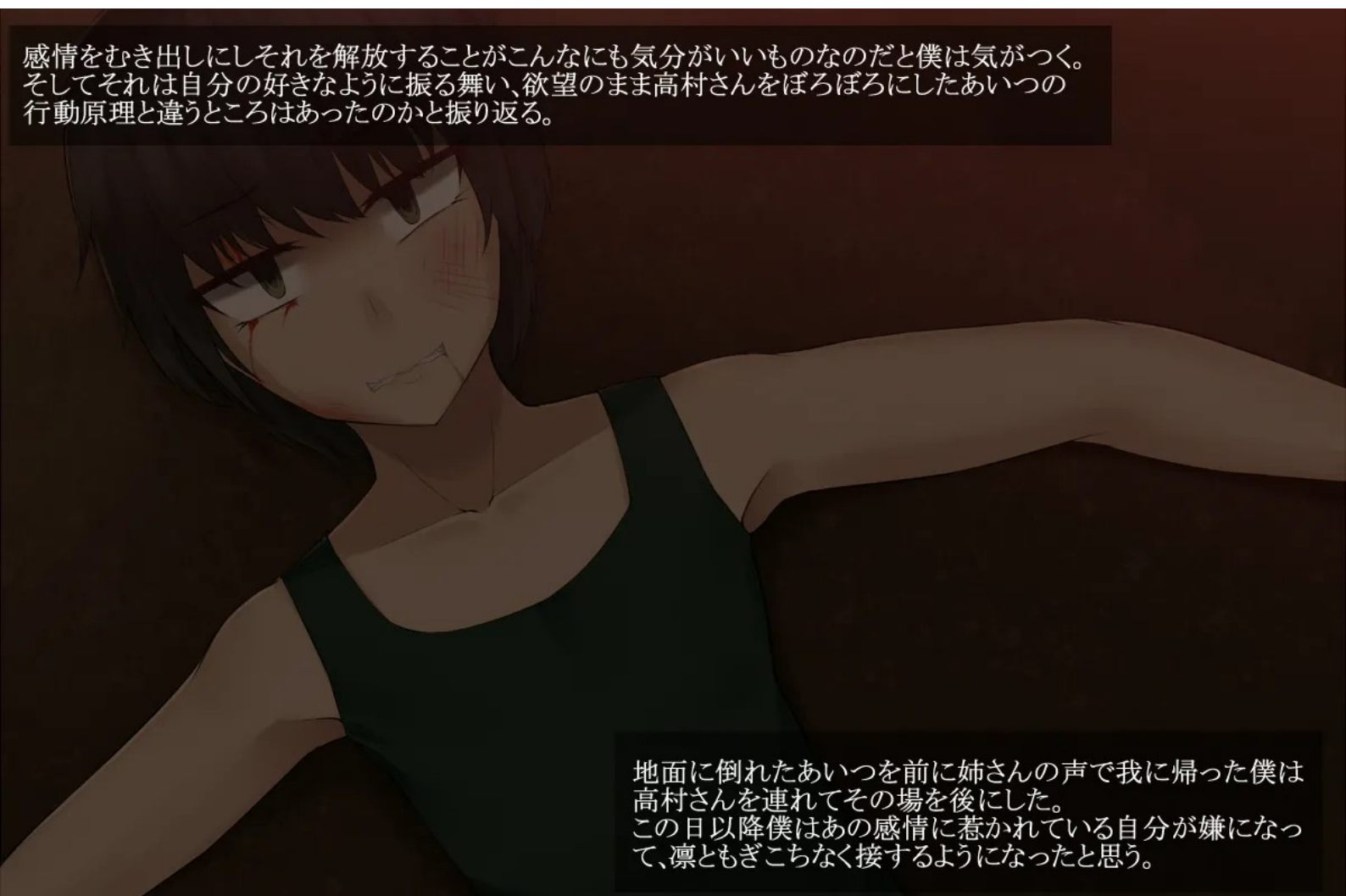
凜が悲しむ姿が脳裏によぎって、あいつが姉さんのほうへと歩きはじめたところで僕の中でなにかが弾けた。



当時を振り返ると自分にあんな衝動があるだなんて思いもしなかった。
僕はあまり感情を表に出すのが得意ではなかったし、親しい人にも怒りをぶつけたこともない。

拳の皮が擦り剥けて闇雲にあいつと殴り合っていく。
徐々にあいつが怯んで形勢が明らかになってきたとき、ふと自分の中に芽生えていた言いようもない感情に気がついた。
それはきっと爽快感とも言える何かだった。

感情をむき出しにしそれを解放することがこんなにも気分がいいものなのだと僕は気がつく。そしてそれは自分の好きなように振る舞い、欲望のまま高村さんをぼろぼろにしたあいつの行動原理と違うところはあったのかと振り返る。



地面に倒れたあいつを前に姉さんの声で我に帰った僕は高村さんを連れてその場を後にした。この日以降僕はあの感情に惹かれている自分が嫌になって、凜ともぎこちなく接するようになったと思う。



それでも時間が経って僕はそういった葛藤をゆっくり飲み込みながら
凜との関係を大事にしてきた。なんとなく凜は僕の中にあるそういつ
た複雑な感情や気質を感じ取っていた気がする。
だからこそ僕は自分の感情から逃げず、凜との関係を進めようと想い
を告げた。

こんなことを起こした岡田には許せないという気持ちと同じくらい
恐ろしいとも感じる。理解を超えた不気味な怪物ではなく、自分の
内にある嫌な一面を極大化させたような最悪の存在として岡田は
自分の前に現れた。

……二人を解放してくれないか。
君のやつていたことは分かっているんだ。

あのときの復讐でこんな
ことをしたのかな。

ここに来るまでにやるべきことは済ませた。
単純に違法な薬のことで岡田を追いつめたとしても
彼はこの先必ず僕たちの前に現れる確信がある。
だからこの場で交渉ではなく話し合っただけで納得する
必要があった。

思い出したのか。
別にお前に恨みなんかねーよ。
むしろ感謝してるんだ。

あのとき、思い通りにならなかった
ことが2つある。1つは……もう
どうでもよくなった。

残り1つがお前だよ直人。

岡田の執着は凜ではなく僕に向けられている。
その目からは確かに恨みや復讐心といったものは
感じられない。
そこにあるのはおもちゃを見るような好奇心だ。



時間はたっぷりあるんだ。
少し話をしようぜ。

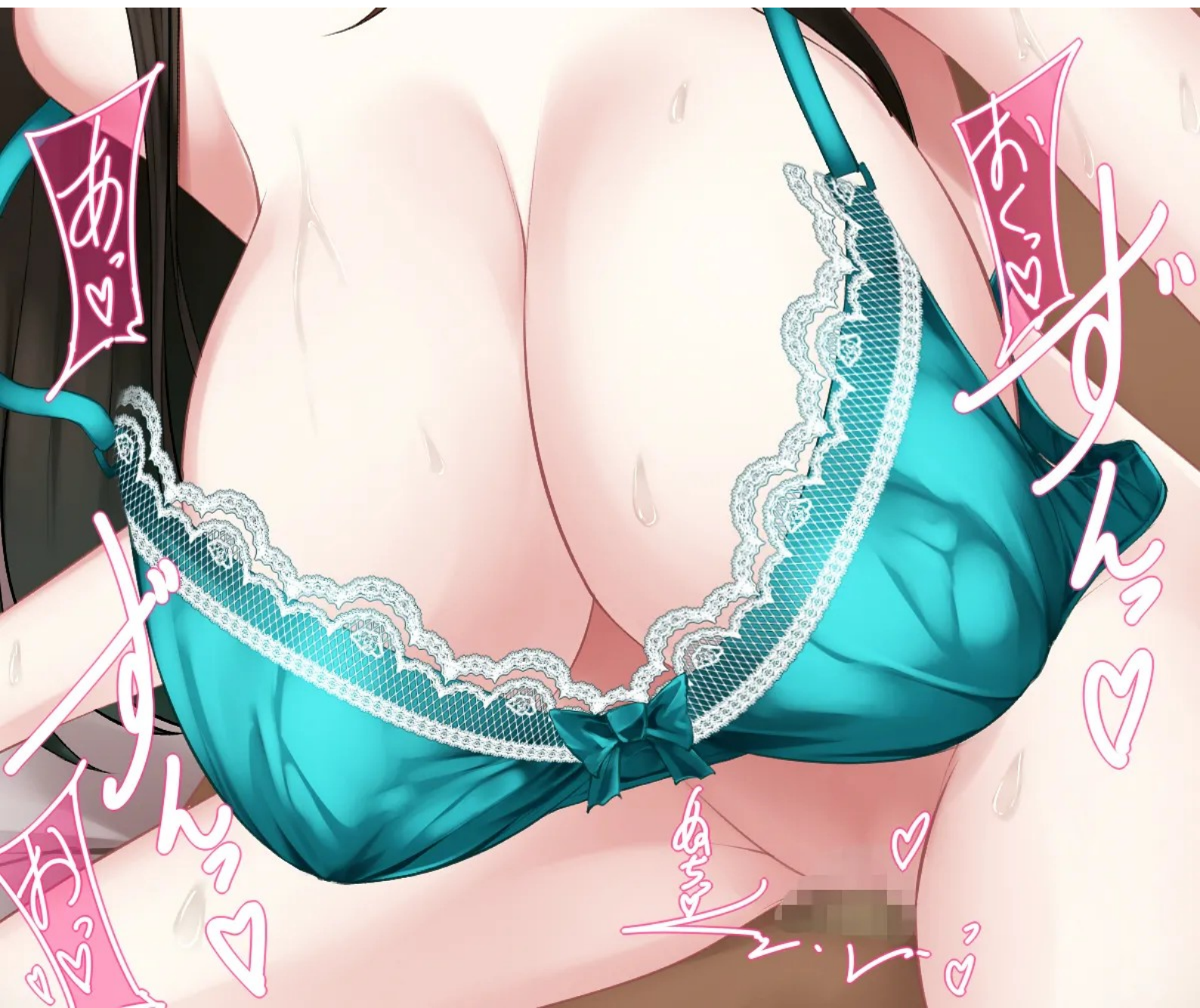
お前の態度次第では二人を
解放してやつてもいい。

……………僕も、聞きたいことが
あったんだ。いいよ。

そうして岡田は語りだした。
大切な二人がどういう風に壊されていったのか。
夜風が嫌に冷たく感じる。
岡田との対峙はまだ始まったばかりだった。









んあっ♡♡奥届いてっ♡
やっ♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡

腰休めるなよ？
しっかり膣でちんこ
しごけ！

わっ♡

おっ♡

は、ひっ♡♡
うごき、ますっ♡
っ♡あああっ♡♡

ん♡♡

ずん♡
ずん♡

ん♡♡

直人君と別れてから暇さえあれば岡田に呼び出されて抱かれる日々が続いていました。あんなに嫌で抵抗し続けたのに身体はもうすっかり岡田のモノを受けいれています。教室で、自宅で、ときには外でも嫌いなはずの男の名前を呼び、嬌声をあげて……。

なあ、凛、お前の子宮は誰のものだ？ 言えよ

っ……♡……♡……♡
英次、君のものです……♡♡

あ♡♡

んき♡

た♡か♡い♡♡

んき♡

今日もたっぷり中にほしいだろ？

はー♡♡

……は♡い♡……♡♡





んああああっ♡♡
うごいちやだめええっ♡

ほらっ奥で出してやるから
だらしねー顔晒してイけ！

イキますっ♡

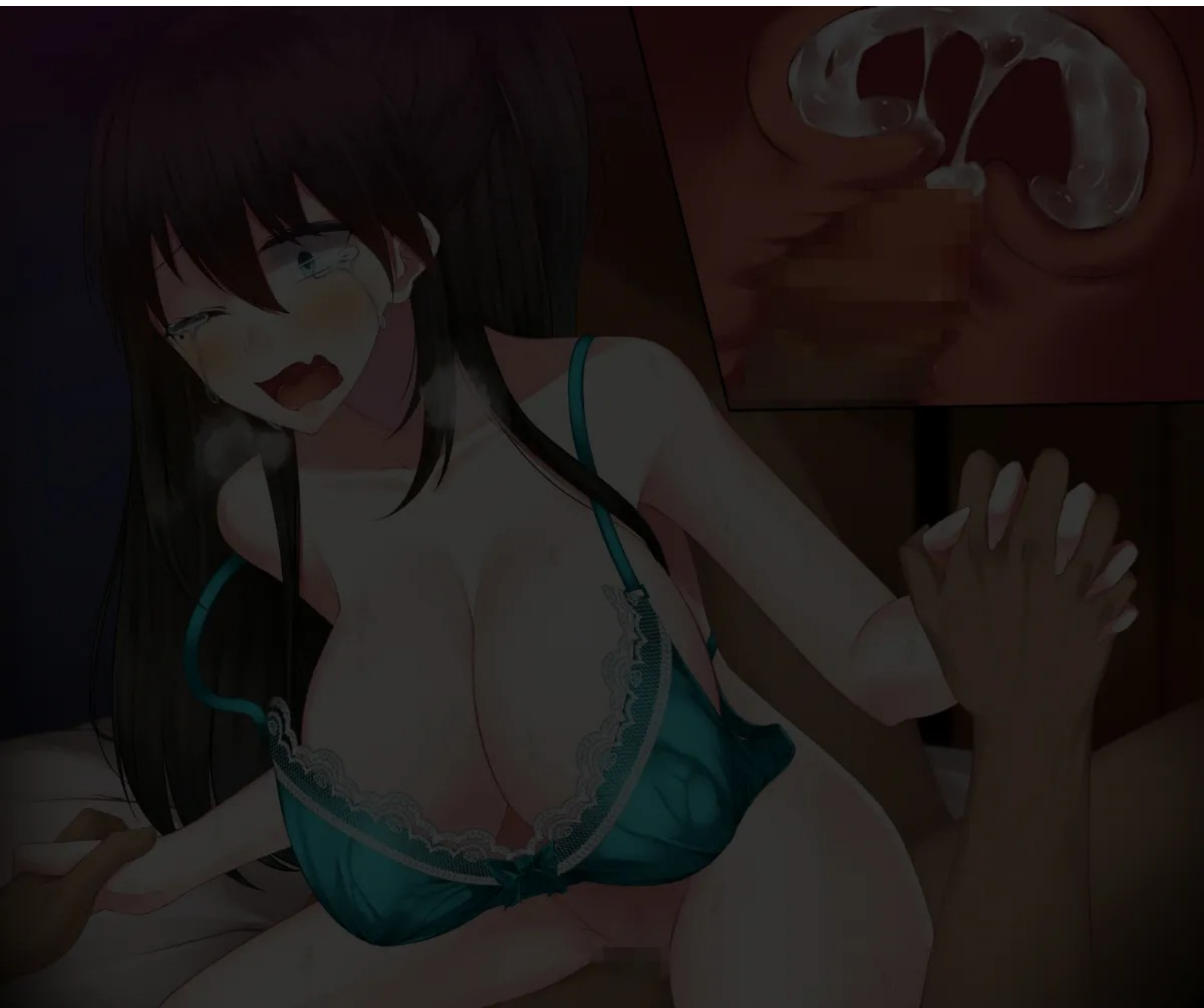
イグ♡

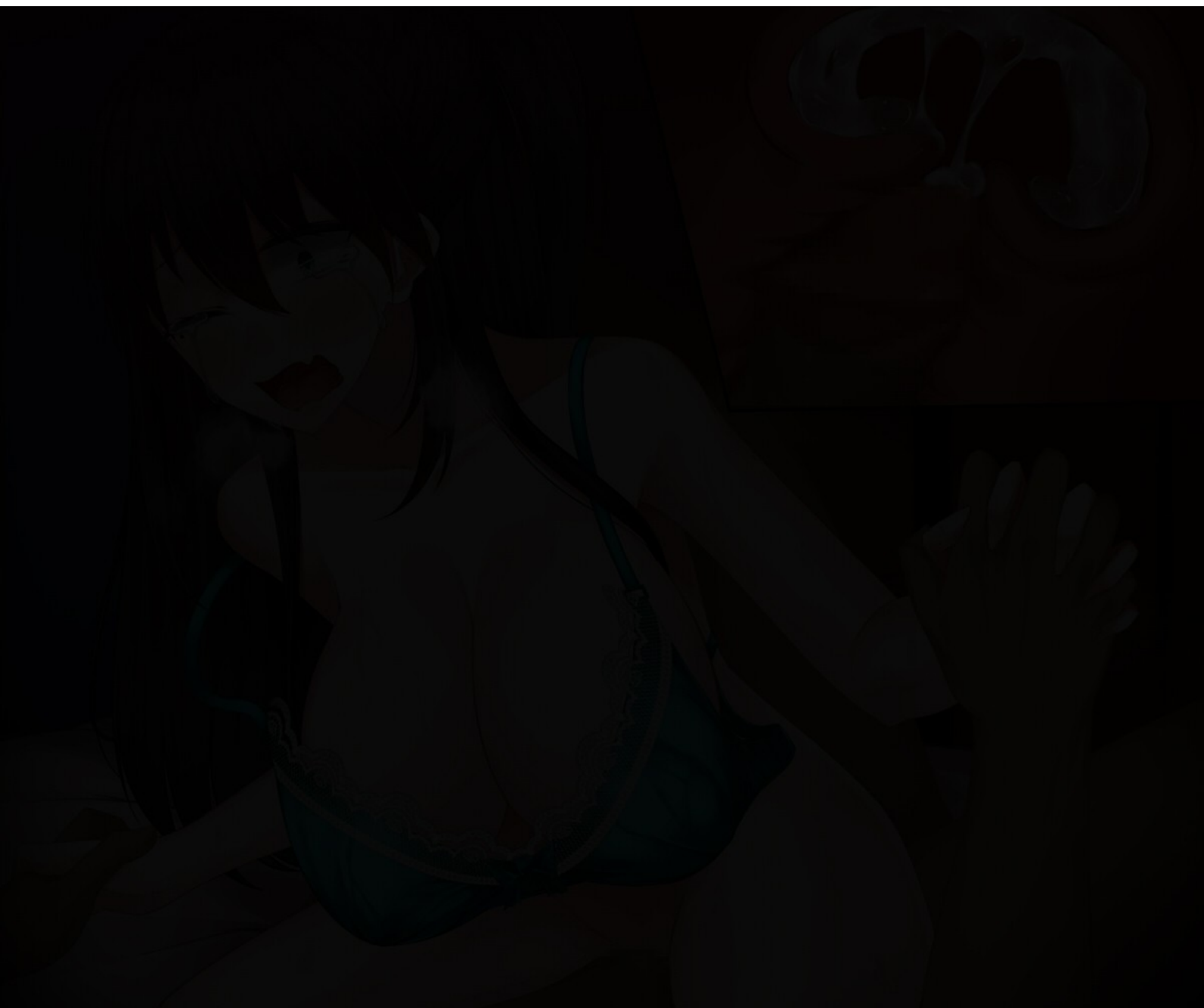
イキますっ♡いぐっ♡♡♡
いっぢやうからあっ♡♡♡

だめえっ♡

ズン♡







何度目かの絶頂の後、岡田は嫌な笑みを浮かべてゲストがいると告げました。
惚けた私はまだ硬く脈打つペニスをお腹に感じながら、何か嫌な予感を覚えて……。

今日はゲストがいるんだよ
ほら、後ろのクローゼット
開けてみな

はーっ♡はーっ♡
ちから入らなくてえ……っ♡
立てな……♡♡♡

しょうがねーなあ
つながつたままあっち
まで行くか？w

はーっ♡

はーっ♡

はーっ♡

はーっ♡

♡

おっ♡

あー♡

おっ♡

はーっ♡

はーっ♡

♡



奥深くにペニスを挿れられたままクローゼットの前に連れて行かれます。
の前の前でぼーっとした頭の私は言われるがまま扉に手をかけました。

そんな動いちゃ……っ♡
イッたばかりだからぁ♡

はい到着。
感じてないでさっさと
開けろって

え、う……そ……
なん、で……？

仲良かったらしいから
会わせてやろうと思っ
てさ、
嬉しいでしょ？

うそ……つき……っ
花澄さんにもう手出し
しないって……！

私が岡田と付き合えば二人に手出ししない。
そんな約束が守られるとどこか救いのようにすがって
いたものが呆気なく崩れていきました。
そこにいたのは……ずっと私達を見守ってくれた花澄
さんでした。

俺は手出してなかったけど？w
でも同じ大学の樋口先輩にたっ
ぷり騎けられたみたいだねー

ごめんなさい……っ
花澄さん、ごめん……！
ひっ♡やっ♡♡♡

うそつきは心外だなあ
あのときイツたのにイツ
ないって嘘つきまくってた
くせにさーw



あーむかついてきた
花澄さんで憂さ晴らし
するかーはいスイツチ

そんなんっ♡♡♡
やめっ♡てっ♡♡♡

おーしっかり開発されてるわ
感じやすすぎでしょw



うわ、潮吹きお漏らし
しちゃってんじゃん
床汚して恥ずかしく
ないの？

凛ちゃんが見てるよー？
そんなみっともねー姿見せ
てたら幻滅されるって

とめてえっ♡
私が代わりになるから！
花澄さんにひどいことし
ないで……っ！♡



うわっ♡
うわっ♡
うわっ♡

おっ♡
おっ♡
おっ♡

ドクン♡
ドクン♡
ドクン♡

おっ♡
おっ♡
おっ♡

グググ…♡
グググ…♡
グググ…♡

アッ♡
アッ♡
アッ♡

さあ、一発イッたから
凛ちゃんにご挨拶しな？

はーっ♡はーっ♡
凛ちゃんのせいじゃ、
ないからね……っ♡

私が、悪いの……♡自分を
責めないであげて……っ♡

んっ♡

はーっ♡

んっ♡

はあっ♡

花澄、さん……っ
う、うう……っ

ふーっ♡

んっ♡

んっ♡

きゃん♡

きゃん♡

涙が伝う頬を拭ってあげたい。
凛ちゃんを見ても岡田が二人の関係を壊した
と理解できません。がらせめて彼女の心が壊
れ無能力に気遣うのが精一杯でした。



私が先輩から解放されたのは数日前のこと。
あの日も先輩の「趣味」に付き合わされて……。



ファミレスの店内、人はまばらでちょうどいい。
羞恥に染まる花澄の顔を見ていると股間がいきり
立つのが分かる。
俺の女になってからもう二週間は経っただろうか。
俺の女性だったはずの俺がモノにしてから三日以上
飽き持たないなんて思いもしなかった。

ここ外ですよ……？
近くに人も……っ♡

もみ♡

んき♡

んき♡

別にいいだろう？
イチヤついてる風にしか
見えないって……

花澄はいつもの女達とはどこか違う。
この女はいくら虐め抜いても見た目を俺好
みに変えてやっても目の奥に消せない「何か」
があった。

薬は……まわいいんだよ
つまんねーだろ？
いいから力抜けよ

最近先輩……何でも
ないです……

こんな外でシなくても
部屋戻ったら薬でも何でも
していいですから……っ

強い薬を使えばその「何か」すら揺らいで従
順にはなる。しかしそれでは満たされない
と気づいた俺は、こうして飽きずに花澄を自
分の色に染め上げようと奮闘している。

奥まっただスペースとはいえ人の目が気になる
のか花登の様に抑えを落着かかない。
に死にった聲を内をこいける。無視してとろとろ
コリコリした子宮口をさすってやると簡単に
達しそうな不覚にも可愛く思えた。

ひゅん♡

ん♡

ため♡

簡単にイくなよ？
ほら集中しろって

スケベな下着だなあ
手マンしやすいわ
こういうのも慣れて
きただろ？

ぬ♡
ふ♡
っ♡

く♡
ち♡
や♡

慣れて、ません……っ♡
んあ……そこっ♡擦っ♡ちや♡

あ♡イク……っ♡
せんぱ……い♡イク♡
イツちゃ……あ……♡

そん、なあ……っ♡

イきたいなら分かる
よな？

くちゅ♡

簡単にイクなって
寸止めし続けるぞ

もうっ♡

くちゅ♡

……好き……っ♡
せんぱいだいすき……っ♡
イかせてくださいっ♡♡

俺に開発されるまで全く性的なことに触れてこなかったのもあってか、絶頂の快楽に花澄は抗うことを程なくして辞めた。好きでもない男に健気に嘘の言葉を紡いで達しようとするのが笑えて最初は興奮したが、最近はどこかもやつく自分がいた。



嘘付いてもイキたいか
この変態女……！ほら
お望み通りイけ……っ



膣締め付けすぎだろ
指ねじ切られるわw

絶頂の余韻の中でも、やはりこの女の目には
消えていない意思のようなものを感じた。

幸い時間はたっぷりある。







話が違わねーか、英次
なんでお前が花澄を
引き取るんだよ

まあ必要なんですよ
次の女紹介するんで
いいじゃないですか

「花澄さんを引き取りに来ましたー」
英次がふざけたことを言ってきたのはしばらく
経ったころだった。
こいつの目的は別の女だったはずだ。
花澄を渡す理由があるはずもない。

いつもならもう飽きてる
ころかなーって思ってた
んですけどもしかして本気
になっちゃいました？

まあまあお互い様じゃないですか
俺らは一蓮托生でしょ？ 今後も
仲良くしていきましょうよ先輩ー

あ？んなわけねーだろ
あんまり舐めた口きいて
ると……

いらつく言葉を吐く英次。
俺はこいつの弱みを握っている。
しかし、英次もまた俺の小遣い稼ぎやレイプ動画やらを
押さえているためお互いに裏切れない関係とも言える。
言われてみれば花澄に入れ込んでいる今の状況はらしく
ないと感じるのもまた事実だった。

花澄は無言だった。
その表情から読み取れるものは少ない。
結局は俺のもとでセックスするか、英次の
おもちゃになるかの違いでしかない。

おい、花澄はそれでいいか？

無言は肯定ってことですかねw
悪いようにはしないんでお願い
しますよー

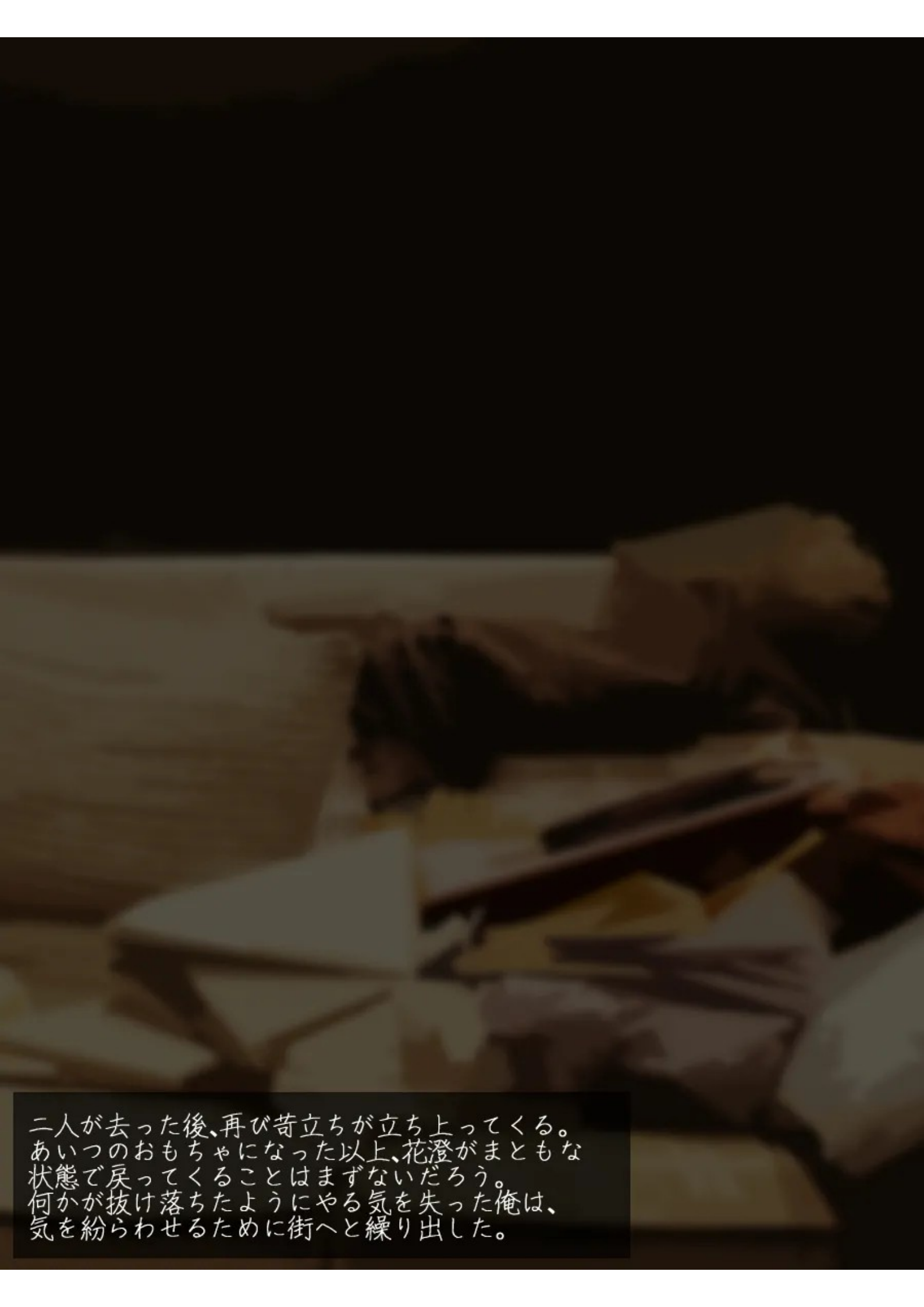


使い終わったらまた先輩に
花澄さん返すんで、ね

まあちょっと強めに虐めるとは
思うんですけどもな状態かは分か
らないんですけどねw

じゃ、そういうことで。
すぐ他の女回しますよ。





二人が去った後、再び苛立ちが立ち上ってくる。
あいつのおもちゃになった以上、花澄がまともな
状態で戻ってくることはまずないだろう。
何かが抜け落ちたようにやる気を失った俺は、
気を紛らわせるために街へと繰り出した。



り、凛ちゃん見ちゃ
だめ……っ

んっ♡

フー♡

フー♡

♡ふっ♡

うそつき呼ばわりした凛に
お仕置きしなきゃなんだけ
ど花澄さんが代わりになっ
くれるんだっ たら仕方ないな

花澄さんじゃなくて私に
して……！ なんて……っ！



あ、ああ……むり……っ♡
おしり入んない……からぁ……♡

がんばれーw
先輩が開発してくれて
るんだから入るでしょ



や、やめて……っ♡
凛ちゃんに手を出さないで……っ♡

じゃあしっかりやれよ
俺はその姿見ながら凛を
ハめてるからさっさとやれ

出来ないなら凛を薬漬けに
して怖い人達のいる場所に
放り込んでやうよ？





ほらあのだらしない顔
ケツ穴アクメのことしか
考えてねービッチだろ？

二人タイミング合わせて
一緒にイけよ？ 仲良し
なんだからw

んあっ♡あっ♡♡♡
かしゅさ……っ♡♡♡
やめて……っ♡♡♡

ぐん♡

きゅ♡

ぬっ♡
びっ♡

イグッ♡

おっ♡

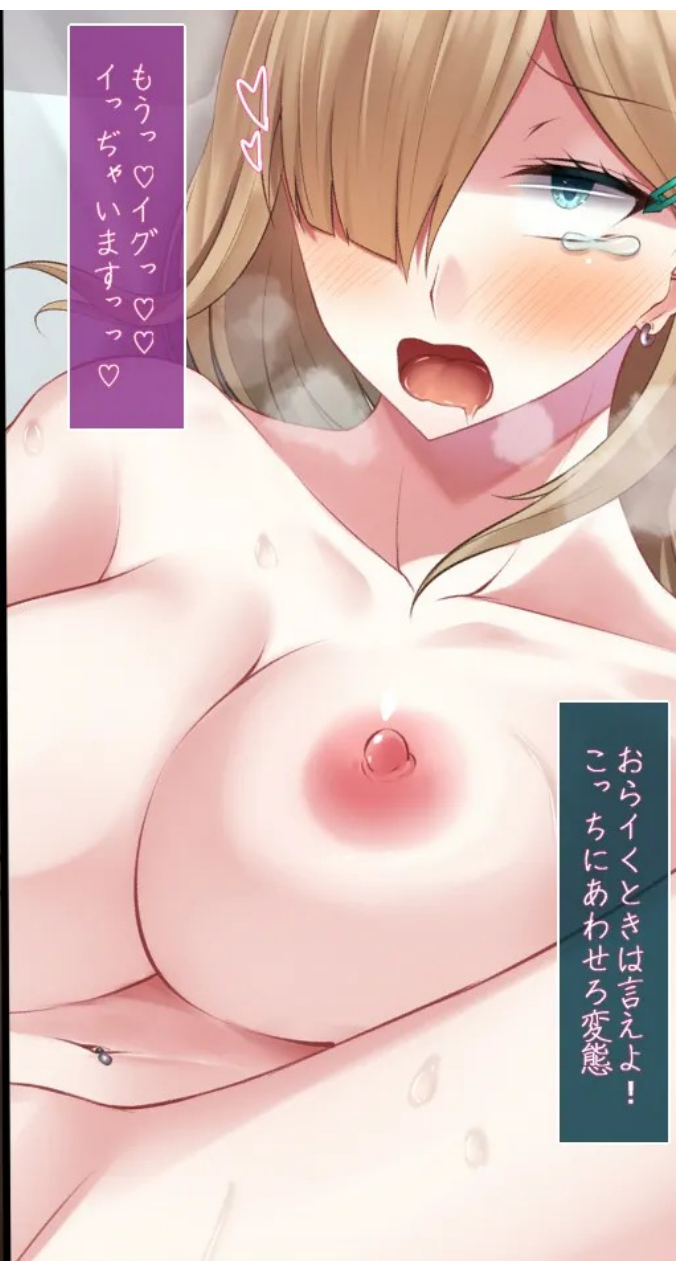
イグッ♡

おっ♡

ぐん♡



っ♡だめっ♡
イカされちゃうっ♡♡
イクイクイクっ♡♡



もうっ♡イグっ♡♡
イっぢゃいますっ♡♡

おらイクときは言えよ！
こっちにあわせろ変態



っ♡
はあっ♡
かしゅみゃん……♡

凜がへばっちゃったから
こっちで遊ぶか尻出せ
もう一本いけるだろ？

はーっ♡はっ♡
くるし……っ♡♡



もう一本……♡

ドキ♡

ん♡

ドキ♡

はっ♡

花澄さんががんばってる
限りは凜に優しくしてお
いてやるよw

くっ♡



んああああっ♡♡♡♡
ふかぁ……♡深いっ♡
ひっ♡これ、す……っ♡

両穴で喜んでるじゃん
もっとしけりゃ腰振って
媚びろよー？

ちがっ♡

あっ♡ちがっ♡♡♡
喜んでなんかっ♡♡ひあっ♡

ゆえっ♡

わめっ♡

きゅん♡
きゅん♡

ひっ♡

ずいっ♡
ずいっ♡
ずいっ♡

先輩ピアス好きだねー
乳首も空いてるってきいて
たけど本当じゃんw
着けとけよ

ズキーン♡♡♡
~~~~~♡  
~~~~~♡

ひん♡♡

ガッ♡

ガッ♡

凛もでかいけど花澄さんは
もっとでかいなー弟もそれ
でシコってたんじゃないの？w

っ♡直人はそんなこと……ひっ♡
んあああああ♡♡♡激しく
しちゃだめえええ!♡♡♡

うるせーよ変態女
子宮こじ開けてやろうか?
今度お前と直人をやらせて
やろうか?wなあ??

やめ♡♡

ひっ♡♡

ずん♡♡♡♡♡

ずん♡♡♡♡♡

おっ♡おっ♡おっ♡♡♡
とめへっ♡♡こわれちゃっ♡♡♡

ひっ♡♡



もっと締めろよ！
太いパイプをこんな簡単に
啜えこんでだらしねえな

これ何か分かるか？
ゆるマン矯正器として
よく使うんだけどすごい
痛いから覚悟しろよ？

おねがい♡

やあわあ♡♡♡
いや♡やめへえ♡♡♡
締めるからあ♡♡や♡いやあ♡♡

びん♡

あ♡





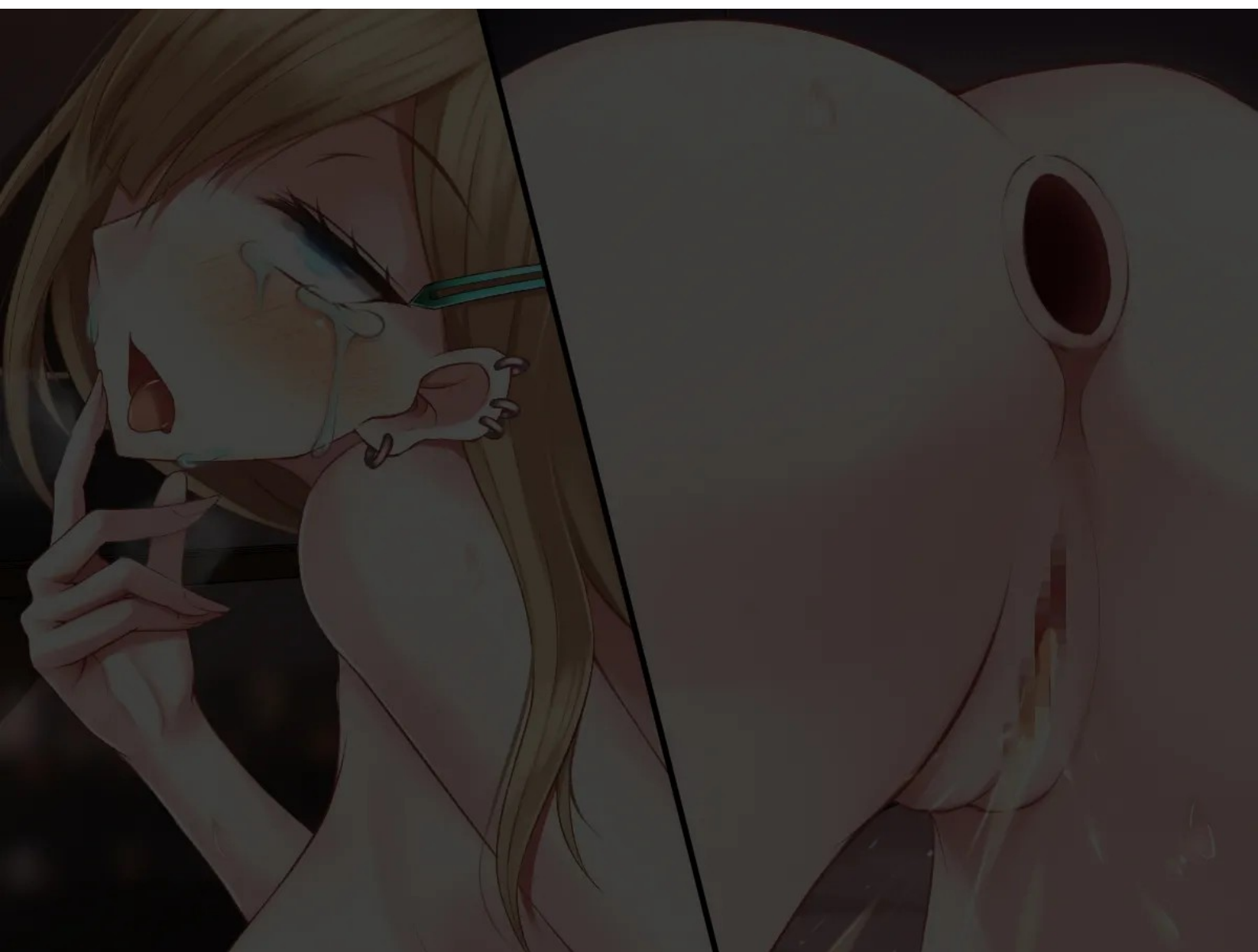


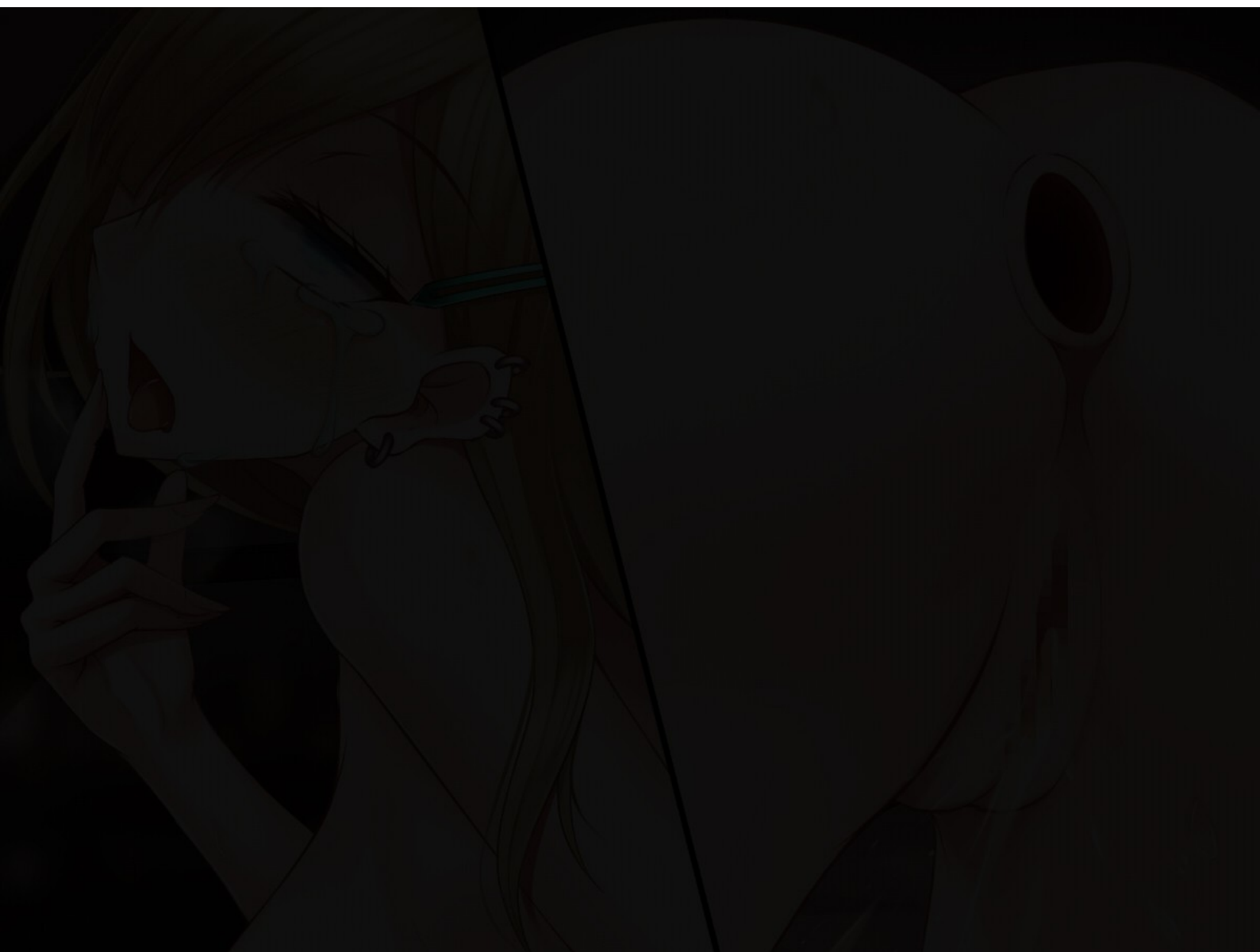


まーたお漏らしか
これはお仕置き延長だな
がんばろーね花澄さんw

ひゅん
ひゅん
ひゅん

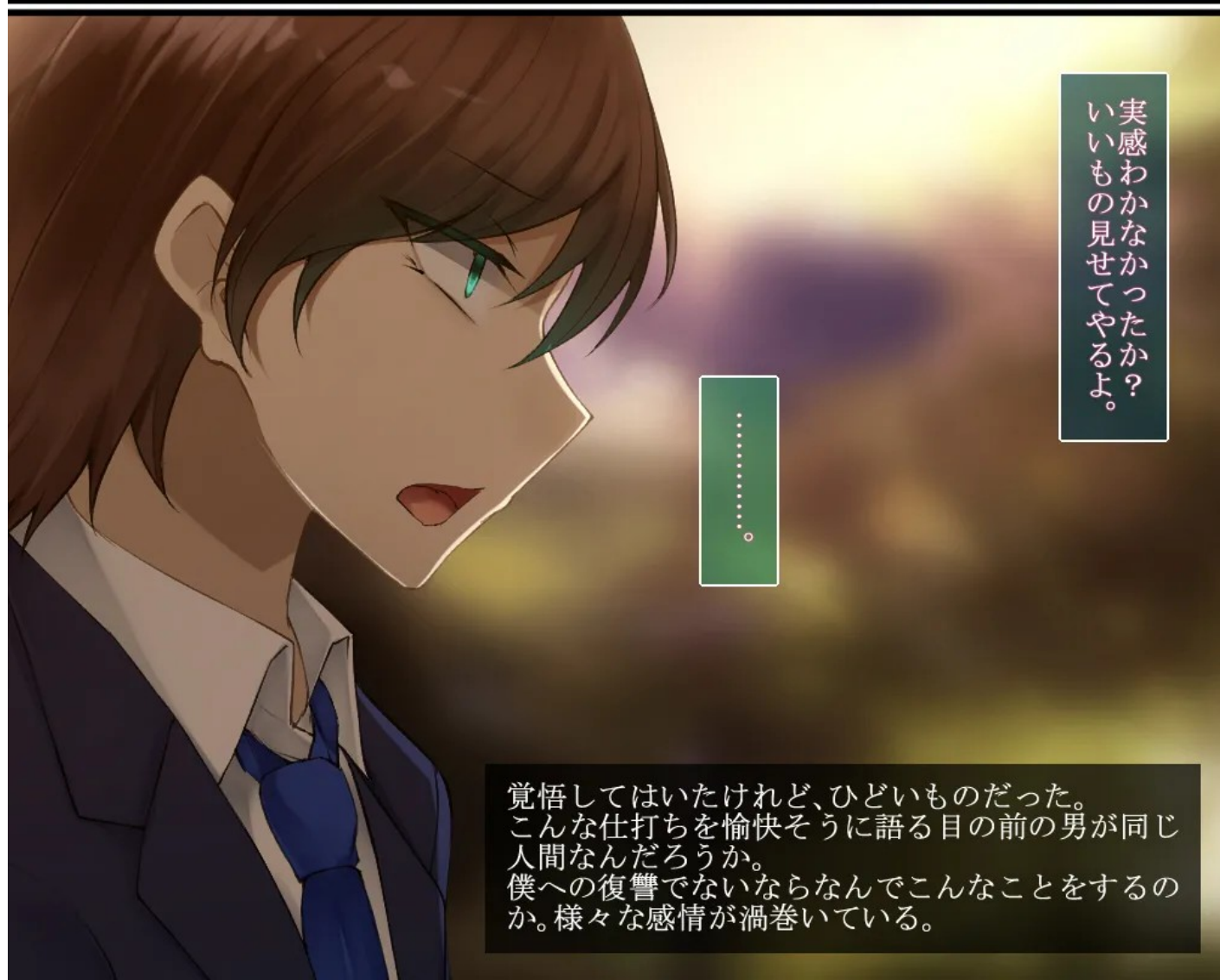
シャーーッ♡♡♡







どうした。顔色が悪いな。
全部知ってるんじゃないか
ったのか？



実感わかなかったか？
いいものを見せてやるよ。

.....。

覚悟してはいたけれど、ひどいものだった。
こんな仕打ちを愉快そうに語る目の前の男が同じ
人間なんだろうか。
僕への復讐でないならなんでこんなことをするの
か。様々な感情が渦巻いている。

ほら良く撮れてるだろ。
被写体がいいもんなあ。

拾ってよく目に
焼き付けろよ？

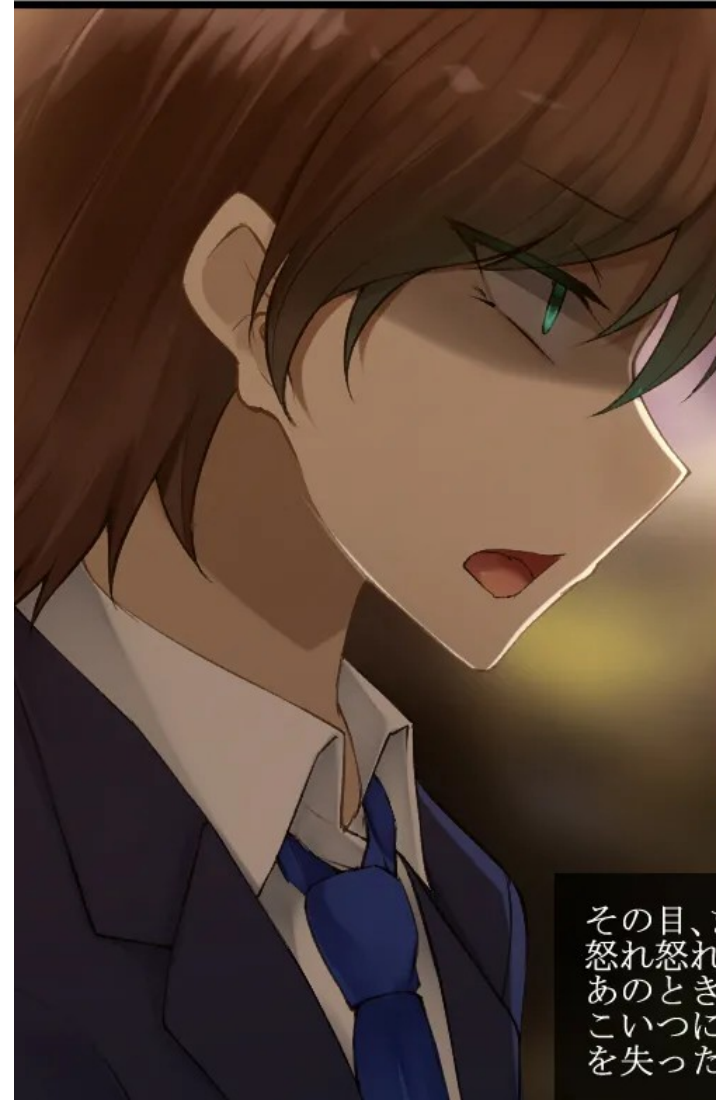
健気なもんだったぜ。
お前のことを引き合いに出したら
2人ともブーぐ言うこと聞いて、
簡単にやれたわw

凛ちゃんは何んでお前に頼れなかった
んだろうなあ。まあ他の男に汚された
自分ってのを好いてる男に打ち明ける
なんて簡単にはできないか。



花澄さんのほうはもっと簡単
だったなあ……。俺の先輩に
みっちり仕込まれてかわいそー
だったぜ。

あの人趣味悪いから下品なギャル
みたいになされちまって……。あんな
身体じやもう普通に恋愛できない
んじゃない？ w



……続けてよ。
まだ全部じゃないんだろ？

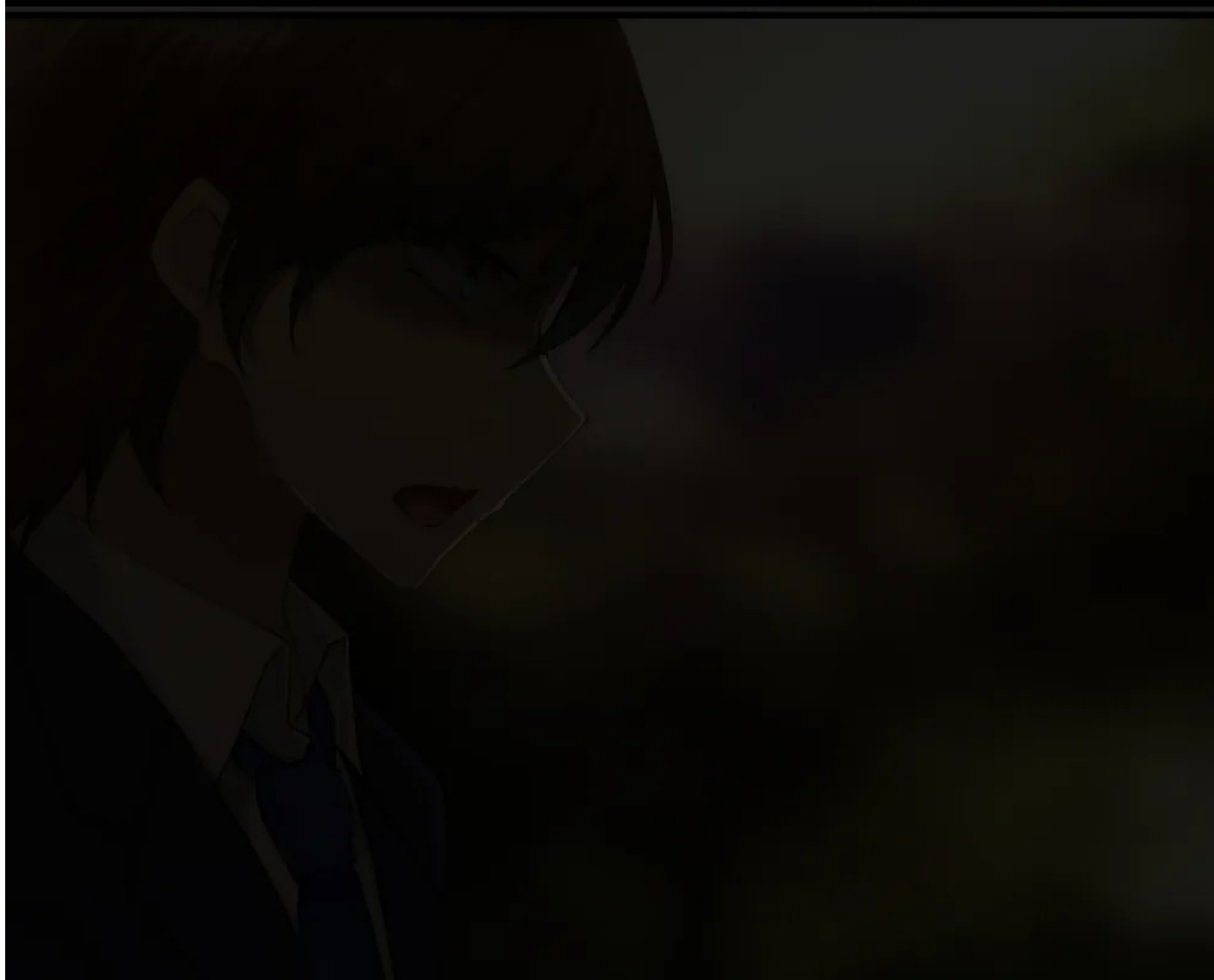
その目、まだ理性を保っていられる余裕がある。
怒れ怒れ怒れ。もっと怒れよ。
あのおときみたいに殴りかかってこい。
こいつに殴り殺されたっていい。最愛の姉と彼女
を失ったこいつがどうなるのかが見れたなら。



こいつが殴りかかってきたときが始まりだ。
そうなったなら、俺は指先一つでお前の姉を
完全に壊してやる。
そしてお前の本当の姿を一番大事な人に直接
見せてやれよ。



手の感覚がなくなるくらい拳を握りしめていた。
細く長い深呼吸をし、散らばった写真を拾い集め
てから正面に岡田の姿を据える。
彼の話はまだまだ続く――。



めっちゃかわいいじゃん。
2人ともおっぱいでかいし
いくらでも払えるわー

やっ……♡触らないでっ♡
なんでこんな……!!

そうでしょー壊さない程度に
何でもヤッていいから楽しんで
俺は飯食ってくるからよろしくー

お、無理やりする感じのプレイ？w
そういうの好きだよー

キッ

じぎ♡

ゆっ♡
♡

ん♡
♡



.....♡やめ.....♡
あっ♡つよく揉んじゃ.....♡

へーこっちの子はやる気
まんまんじゃんw
乳首おっ立てて期待してるだろ

もみ♡

ひゅ♡

ん♡♡

じゃあ早速始めようぜ

どき♡

ぎゅ♡

んっ!?!♡♡♡
 んっ♡♡♡♡♡
 やっ♡♡♡♡♡
 ♡♡♡♡♡

んっ!♡♡

ちゅっ♡

れっ♡

んあっ♡

あっ!♡♡♡♡♡
 やめ……♡♡♡♡♡
 ぬいて♡♡♡♡♡

もうトロトロになって
 準備できてるけど自覚
 ある?このスケベ女

ナイス♡
 ナイス♡

ギゅっ♡

相手の男達にこの達私岡田は私達にこの男達の相手
 しせ二人の数日
 とは見二人の
 たは姿いでこの
 せれ分のせとも
 せん。まらなこ
 した。ればな打
 いたかもしん仕
 取ったかへりい
 人、岡田は私達
 数人、岡田は私
 複数受けと直や
 が金をこいでも
 男お逃げはそれ
 にはせで逃約…
 部屋を二人うも
 部を二もてたと

ぬっ♡♡♡♡♡

禁使われないのに……っ♡
キスだけでこんな気持ちいい
のなんで……っ♡♡最低……っ♡

凛ちゃんを守らないといけない
のに……っ♡指だけでこんな……っ♡♡

花澄さんの前で知らない男と
キス……っ♡見ないで……っ♡



イクっ♡簡単にイクっ♡
イクイクっ♡いぐっ♡♡♡♡♡

ギュー♡♡

アッ♡♡

ハッ♡♡

えっ♡

あっ♡♡

ちゅ♡

おっ♡♡

きすだけでえっ♡♡♡♡♡
イクっ♡……！♡イクっ♡♡♡♡♡

ひゅ♡

♡♡♡





かすみさん……♡
私……もう……ダメ
なんです……♡♡♡

はー♡はっ♡
凛ちゃん……諦めないで
がんばりましょう……♡
二人でなんとか……♡

自棄になりかけている私にも花澄さんは変わらず
優しく励ましてくれました。
直人君を裏切って快楽に溺れている姿を見たのに、
自分も辛い状況なはずなのに……。



花澄さん……。
ありがとうございます。私、もう少し
がんばってみます……っ。

これからもっと辛い目に遭うかも
しれないけれど、きつとなんとか
なるから……がんばろう、ね？

それに直人のこと……きつと
あの子は凜ちゃんが裏切った
なんて思っていないわ。

こんなに弱りきった凜ちゃんを見たのは初めてで、それだから
こっそりがっかりしないといけない。彼女の手をしっかりと握
って想いを伝えます。こうなったのか私には分からないけれど、
凜ちゃんが何をされて悪く思うことはないと言えます。
それでも直人が彼女の弟、今もきつと……。
不器用だけど自慢の弟、それが凜ちゃんの心の支えになってくれればと強く願いました。



花澄さん大学生なんでしょ？
制服似合ってるねーむしろイける

しっかり啜えろよ？
歯立てないように丁寧にな

乳圧すご……っ
パイズリ専用でいい
んじゃないこの胸w

ちょっと元気になったねー
いいことでもあった？

酷い。あげたり、
で絞まってるよう
トイレで絞まら
男子が包んでな
身体を仕えに
まね、二奉の心
困る。男達に
バックで男が
にシラてち
ニシが扱漂
ペシが扱漂
のラッな扱
さんが耐え
さんが丁寧
たことが怖
と恐怖で私
私に恐怖で私

髪汚しちゃうけど
いいよね？ せっかく
すべすべだからさあ

あっ♡

しゅ♡

ん♡

やりますから♡

ん♡

またあんな風にめっちゃ
くちやにされたら……っ
考えちゃだめ……！

あーカリ首擦るのうまいねー
見た目と違って経験豊富じゃん

自棄から抜け出した私の前に太いペニスが差し出されます。
それを必死に咥えこみながら早く終わるようしゃぶりあげ
ました。
岡田とは違った形、それを認識できるくらい教え込まれてい
ることが嫌でもわかります。

こっち見ながらしゃぶれよ
そうそう嫌そうにやるねー

顔のいい女にフェラ
させるの最高だよなあ

「ぽぽ」
ちゃっ♡

ふっ♡

んっ♡

じゅっ♡



あー出るっ!

こぼすなよ!

パイズリでいく!

やあう

ん

びゅ

花澄ちゃん顔かけるねーw



すげーどろどろ
汚れちゃったねー

んごお……♡

全身精子の匂いで
マーキングしてや
るからな？

フー♡

口の中はどんなかなー
開けてみせてよ



おお露骨に怖がってるじゃんw
しっかり気持ちよくできるなら
使わないんだけどなあ……

じゃ、お薬の時間だね
どっちから使おうか？

あれ使うと意思の強さとか
関係ないからなあセックス
のことだけ考えるよーにね

びびん

びびん

んーっ

フルフル

びびん

んーっ

んーっ

薬、樋口先輩のところでたくさん使われた薬。頭が馬鹿になって達することしか考えられなくなって、普段の私なら絶対考えないこと、できないことを……。さっきより必死にペニスに奉仕を始める私の表情を男達はニヤニヤ見つめています。

あつれー急にさっきより
気持ちよくなつたなあ

手抜いてたの？
もしそうなら悪いこと
だよなあ……？

はっ♡んっ♡
ち、違います……！♡
ちゃんとやりますから
薬は……♡♡♡

おねがい
します♡

くすり♡は♡

薬はいやっ♡自分じゃ
なくなっちゃう♡それ
だけはいやっ♡

はっ♡

薬、私が体育倉庫で初めて使われてからずっと岡田に使われてきた薬。
嫌なのに、あんな乱れて最低な自分になるのは絶対嫌なのに、ときどきして薬がほしいと思う自分が本当に嫌で……。
必死にペニスを吸い込むようにしゃぶると男達は喜んで下卑た笑みを向けてきました。

バキユームフェラやば
そんなに薬いやか？w

いゅさっ♡

手も休めずしっかり受けよー
射精までしっかり導け

薬……嫌いなのに……っ♡
あんなのがほしいなんて
おかしいのにっ♡

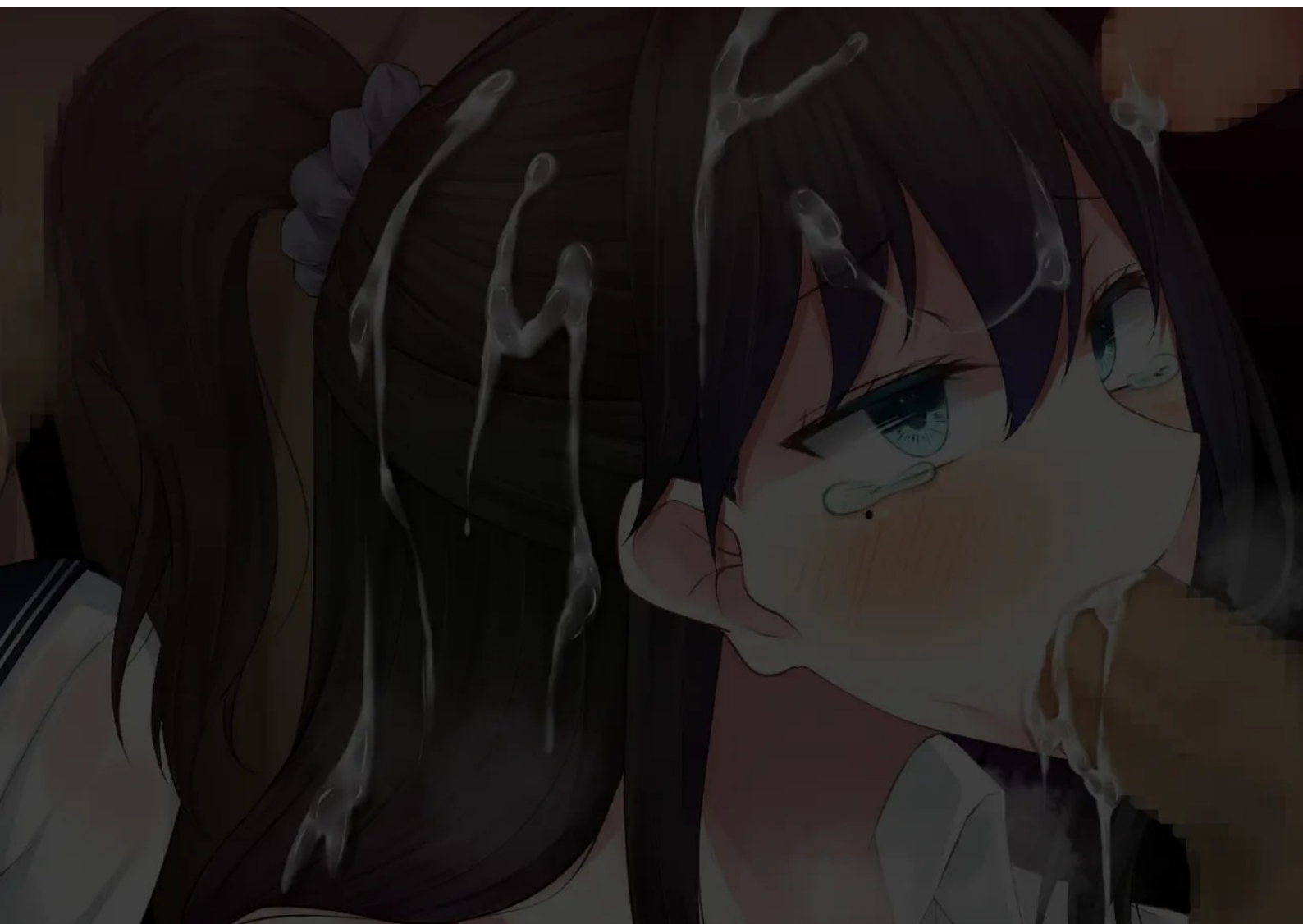
んっ♡

くっほっ♡

んっ♡

ずんずん♡









さっさとハメねーと
精子空にされるぞw

はーこいつらすごいな
禁無しでもちんぽ好き
じゃねーの？

ほら脱いでケツ向けろ
どんだけ仕込まれたら
こうなるんだよ

ハゲ♡

す♡

ん♡♡

ち♡♡

き♡♡

き♡♡

ん♡♡

三十分後

あゝ♡

パン♡

おら！もっとまんこ
締め上げろスケベ女あ！

パン♡

さっきからデカ乳揺らして
誘いすぎなんだよ淫乱！！

めっ♡

中出しでアクメきめ
させてやるよ

パン♡

腰動かすのうまいなあ
何度も騎乗位やってん
だろ？

♡♡

グ♡

パン♡

きゅ♡



あんなに乱暴に……っ♡
花澄さんが壊されちゃう……♡

あ♡

お願い、
早く終わって……!♡



凛ちゃんがみてるっ
負けちゃだめ……っ♡

だめ♡

私、負けない、からあ……♡



うそっ!??♡それだめっ♡♡♡
おかしくなるからあっ♡あっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はいこっちもどうぞー
楽しんでえってw

きゅん♡
きゅん♡
きゅん♡



やっぱ使いたいし
薬打つね? 気持ち
よくなるんだから
いいでしょw

っ!??♡♡♡
や♡やめてええっ♡♡♡♡

だめ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡





さっきまでの腰使いとは
別物で笑うわw まだ時間
はたっぷりあるからなー

ゆっっ♡

おっ♡

うっ♡

♡+♡♡

♡♡♡

♡♡♡



この穴最高だわ
もっとほしいよな？

っわっ♡

もっ♡

♡♡♡







あーヤツたヤツた
おーい生きてるかー？

なさけねー顔で謝りながら
ガチアクメしてるの最高だ
ったわ

へばってからの寝バックで
号泣絶頂すごかったよなー
また今度やってねー

乱れすぎでしょw
中出し懇願して淫語連呼
とか流石に引くわ

あー俺ハマっちゃいそー
連絡先交換して今度サシ
で会おうよ花澄ちゃん

ケツ叩いてガン突きすると
すぐしょんべん漏らすしか
なり仕込まれてるエロ女だ
ったな



途中で記憶が飛ぶくらい私も花澄さんもめちゃくちゃに
さされて意識を取り戻したのは数時間後でした。
薬を使われればどんなに強く思った意思も何もかもあつと
いう間に溶けて、全部セックスのことに変えられて……。
あと少しで戻れなくなる——そんな予感がします。

お、目醒めた？
この部屋くっせーのなんの
さっさと身体洗って掃除し
とけよ？

すっかり動画に撮って
から後で皆で見返そうな

精液
便女♡

セフレ
募集中♡

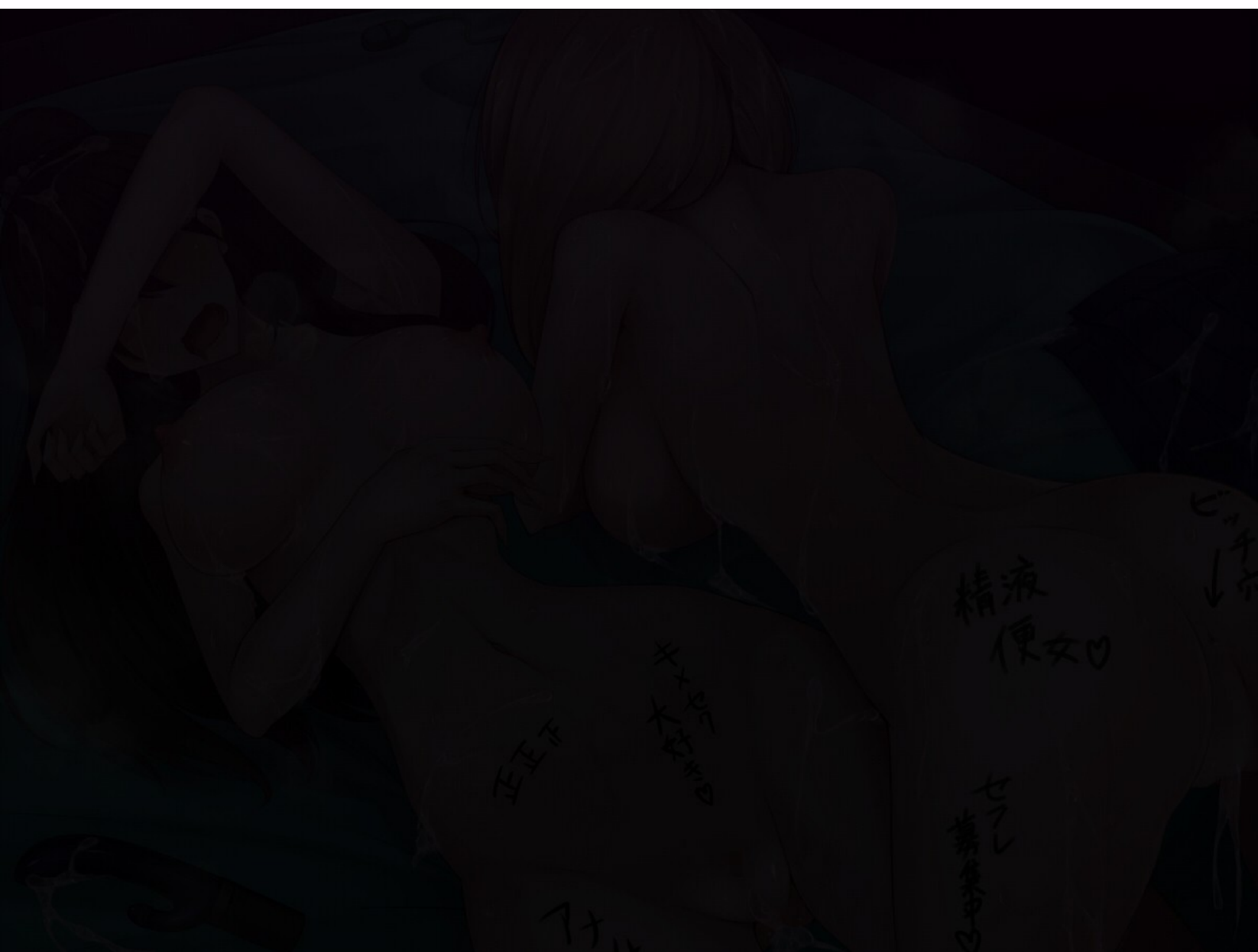
×××
大好♡

正正正

アナル

ビッチ
↓





正正正

※+やう
木好みの

アナル

精液
便女♡

セフレ
葉集の♡

じゅん
↓

そんな日が続いたある日。
岡田が要求してきたことに私達は戸惑いを感じた。
花澄さんを……女の子同士で……。

2人とも仲良いらしいけど
本当か試してみようかなー

そうだ、イかせあい勝負しようぜ
先に相手をイカセたほうが勝ちね

負けたら薬漬けにして一週間ホーム
レスの寝床にぶち込むから





凛ちゃんにそんなこと
させられない……私が
負けないと……っ

花澄さんに助けられて
ばかり……私が負ければ……っ

あー言っておくけど
2人ともさー……

手抜いたら直人にお前らが薬で
バカになってセックスしてるとこ
全部見せてやるよ あいつのこと
傷つけたくないだろ？w

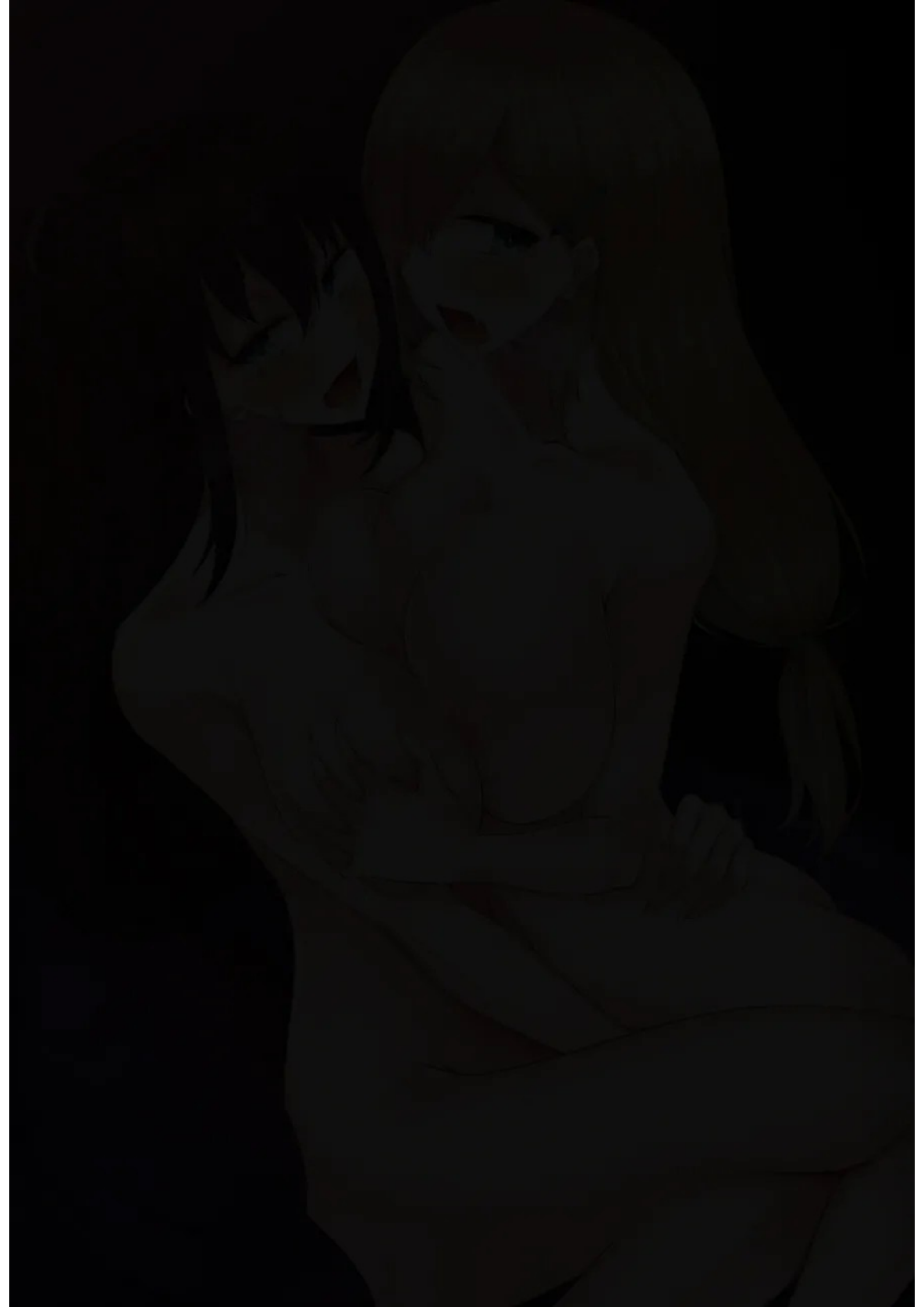
やめて!!!!!!
直人に見せないでっ！

そんなことだめ……!!
ちゃんとやりますから！

そんなにあいつが大事かねー
じゃ、早速頼むよ







っ♡

あっあっ♡♡凛ちゃんそこっ♡
そこ弱いとこだからあっ♡♡

そこは♡

やっ♡♡

かしゅみさっ♡♡そんな
さわりかたっ♡♡さっ♡♡

くちゅっ♡♡
びゅっ♡♡

おおいい勝負じゃん
そろそろ決まるか？

あっ♡

びゅっ♡

あっ♡



あ♡ああ……♡このままじゃ
凛ちゃんが先に……っ♡

こう……これなら耐えられる？♡
我慢して……っ♡まだイッちゃ
だめ……っ♡

ばれないように……
私が先に……っ♡んっ♡

ぬちっ♡

フーっ♡
フーっ♡

きん♡

きん♡

はーっ♡はーっ♡
私の……負け……っ♡♡

はーっ♡

はーっ♡

はーっ♡

はーっ♡

う……♡

ごめんなさい……っ♡
わたし、迷惑かけてばかり……っ♡
ごめんなさい……っ♡ううう……っ♡

いいの……凛ちゃんの
せいじゃないわ……ん♡

♡

へえ……花澄さん、手抜いて
ないよね？怪しいなあ……

言いがかりはやめて
私が先にイッたの見た
でしょう……っ♡

必死だねーそれなら
本当かどうか直接身体
に聞いてみようか

ドッ♡

ドッ♡

はー♡

はー♡

はー♡

プルプル♡

おら本当のこええ！
薬もっ盛ってやろうか？
喘いでないで白状しろや！

おっ♡んあっ♡♡
ちがっ♡うそじゃないっ♡
♡♡♡♡♡♡♡♡

あっ♡

ほん
だから♡♡

で、上は立って、
たて、たて、たて、
られ、られ、られ、
盛られ、盛られ、
を盛られ、を盛られ、
薬を盛られ、薬を盛られ、
は、は、は、は、
ん、ん、ん、ん、
さ、さ、さ、さ、
澄、澄、澄、澄、
花、花、花、花、
た、た、た、た、
れ、れ、れ、れ、
け、け、け、け、
を、を、を、を、
か、か、か、か、
を、を、を、を、
疑、疑、疑、疑、
岡、岡、岡、岡、
私、私、私、私、
が、が、が、が、
見、見、見、見、



お前俺に犯されたいから
怪しい態度とったのか？w

この変態ビッチ
その蕩け面、そこにいる
凜に見せてやれよ、おい

あんな激しく.....♡
花澄さんの声すごくて
聞いてると.....ん...♡

あ♡♡

グー♡
グー♡
グー♡

キョーン♡

キョーン♡

わあ♡♡

ひん♡

みちやにめ♡

頼りになって優しくして
本当のお姉ちゃんみたい
な花澄さんがあんな……っ♡

薬使われたときの私も
あんな風に……っ♡

んぎゅ

んきゅ♡

わっ♡

パンッ♡

パンッ♡

おら！どこに何がほしいか
言え！ その凛にも聞こえ
るように大声で！！

ずん♡

ずん♡

せーし♡せーしくだしやい♡♡
なかに♡なかにいいからあ♡♡♡

ははっがチイきしながら
せーし受け取れよ！！

なかに♡

いはい♡

びん♡





花澄さんイッちゃった……♡
獣みたいな声で、中に精子出さ
れて……♡♡

蕩けきった顔……♡気持ち
良さそうにずうっとかで精子
受け止めてる……♡♡
わ、わたし……♡

♡…フン



おら、今の状況を
実況して聞かせてやれ

あたまっ♡ちかちかして♡♡
せーしもっ♡♡もっ♡と欲しく
なってましゅっ♡♡

おくっ♡もっ♡とついてっ♡
こわしてえっ♡あは……っ♡♡

どろお……♡





じゃあ白状しろ
ほらヤッたんだろ？
演技だよなあ……？

それ、はあ……っ♡

なんだ？早く言えよおら！

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

わ、私が花澄さんの代わりに
なるから……っ♡

おねがいっ♡
英次くん……っ♡



そんなに花澄さんが心配
だったか？ あんなだらし
ない顔でよがってたの見た
だろ 身代わりになるとかw

それとも……なんだよ
シてるの見て自分も欲しく
なったんだろ？

ち、違いますから……！！♡

じぎ♡

じぎ♡

じぎ♡

じぎ♡



ふーん……そういうことに
してやるか……
ほら、いつものおねだりしろ

……っ♡
わ、わたしのえっちな
おまんこにおちんぽ
ハメまくってくださーい♡

おちんぽ♡

くたっ♡



んくっ♡

んくっ♡

おまんこ♡



おい生意気に腰振りやがってw
やっぱ凛はただやりたかっただ
けだよなぁ？

ふっ♡はっ♡
ちがっ♡ちがっ♡
これはあっ♡♡♡♡



はっ♡
ちゅっ♡

ぱっ♡
ちゅっ♡

ふっ♡
ちゅっ♡

ふっ♡
ちゅっ♡

花澄さん、こっちこいよ

はひっ♡

パイプ持ってきて？
そしたら後で可愛がって
やるよほらいけ

だから
私にもっ♡

わかり
ましたあり♡

むら♡

おい腰止めろ
主導権握ろうとするメス豚
には何してもいいよな？

ひっ♡なっ♡
そこはちが……っ♡♡



おしり裂けちゃうっ♡
ごりごり中で暴れてチカチカ
すりゅっ♡おっ♡おっ♡おっ♡

あッ♡

凜のーい好きな花澄さんは
耐えてたんだからがんばれる
よな？

この状態で腰振らされたら
どうなっちゃうんだろぅね？

ぐりっ♡

きゅん♡

きゅん♡



ほらオナホでしごいてる間
キスで楽しませろ

はっ♡ん♡

はっ♡ん♡

♡♡

ふぁい♡ん♡♡
ちゅ♡♡れる♡
ふぁ♡はぁ……♡

はっ♡

れっ♡

ちゅ♡

ん♡

えらいぞー追加の薬
やるからオナニーで
もしてろ

あ……♡おくしゅり♡
これ……すごい♡♡♡

♡♡

あは♡

あは♡

あは♡

♡キッ♡

イッちゃう♡

イグッ♡





これえっ♡すごかったあ♡♡
もっ♡と……♡もっ♡とお……♡♡



バイブに薬塗ったの残ってたかw
悪い悪い、直腸で吸収したからかな
り効くだろ？







——どうだ、もう分かっただろ。
手遅れなんだよ。今更元に戻る
とでも思ったか？

お前の大事な女も姉も内蔵から
何からぜーんぶ汚れきって汚ね
ー女どもだわw 後もう少し遊
んで壊し尽くしたら返してやる
から安心しろよ



我慢の限界だった。
頭の奥でブツッと何本もの糸が千切れる音が響く。
こいつは凜に、姉さんに……………っ！
視界がやけに狭く感じる。
あいつのにやけ顔を正面に捉えて歩みを進める。



こんだけ言われて
動かねーのはなん
だ、それでも男か？



さあ来いよ！腰抜け！



いよいよ始まる。
流石に今の話は堪えたようだった。
まだこいつに話していないことがある。
それは花澄さんに仕掛けてきた細工のことだ。
ここに来る数時間前——。

じゃあ二回戦目というから
判定は俺の独断でやるから

待って……っ♡
私も凛ちゃんも薬の効果
抜けたばかりで……っ♡

いいや……っ♡これいっ♡
放置しないで……え!!!♡
もう一度あればいいやあ!♡♡♡

ギクッ

ギクッ





全部却下
スイッチ入れるぞー
よいスタート

てめえらのまん肉でしっかり
サンドされてるからよくクリ
に当たってんなあw

ムッ♡
フイ♡
フイ♡
ムッ♡
ムッ♡
ムッ♡



はぁっ♡おっ♡おっ♡
つよおっ♡とめっ♡てえ♡♡

こわれりゅっ♡ぜったい
こわれちゃう♡♡♡

だめさっ♡♡

あっ♡♡

つよきゅっ♡♡♡

おあっ♡♡♡

きゅっ♡♡

いん♡♡

いん♡♡

ブーッ♡♡

ブーッ♡♡

ブーッ♡♡

ブーッ♡♡





ん？凛もほしいの？
ほら仲良くぶっ飛びなw

あっ♡

?!♡

あは♡♡

これす♡♡

4か4かす♡♡

♡♡♡







もっとさらけ出せ変態共
直人に聞かせて幻滅され
るくらいに堕ちろw

潮吹いても止めないよ？
そんなくらいで甘えんな

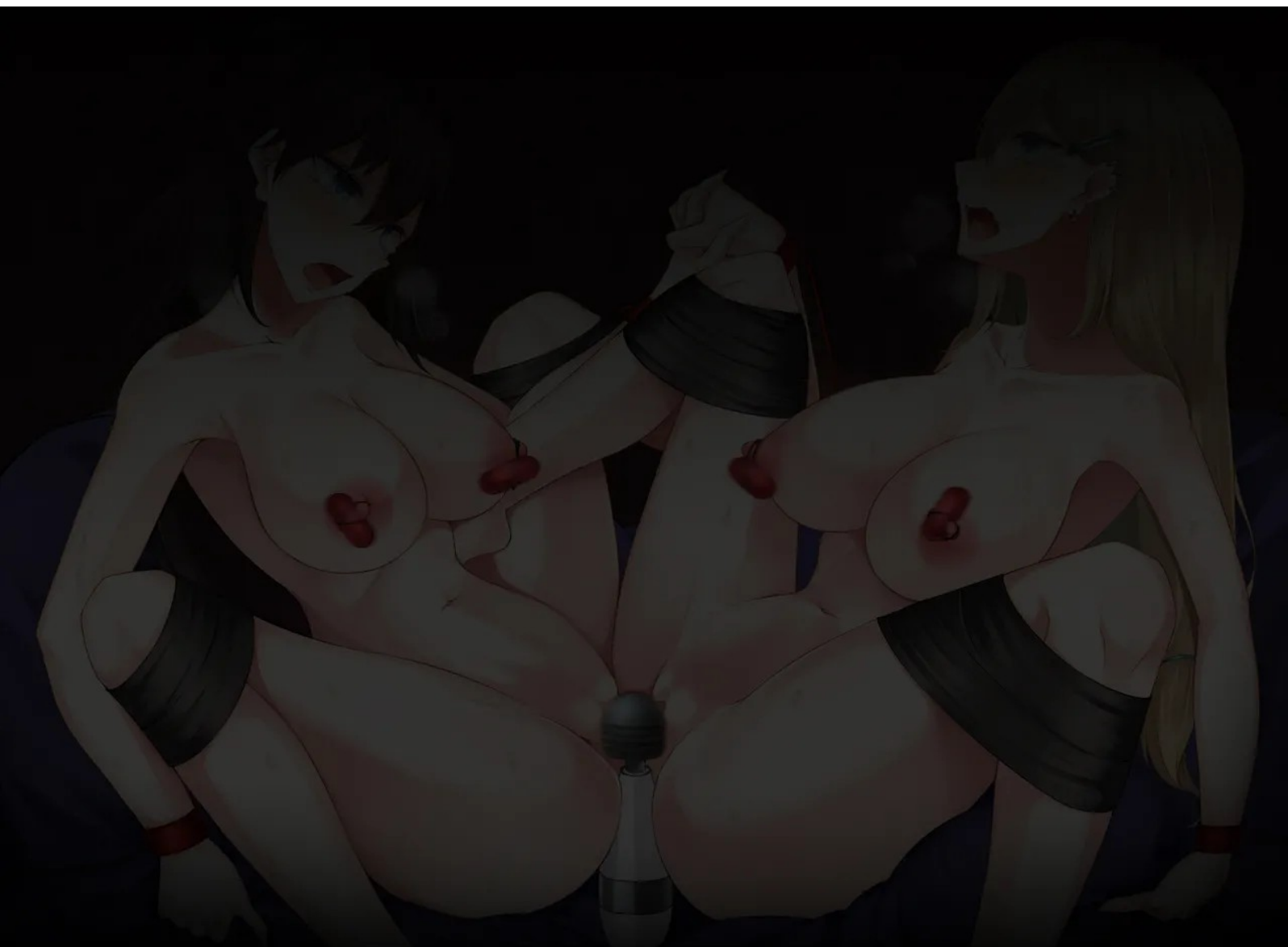
それはある種死刑宣告のよなもので
した。絶対に逃げられないのに快感だけ
を与え続けられる。終わりの見えない
恐怖と快感が私の全部を壊そうとして
います。

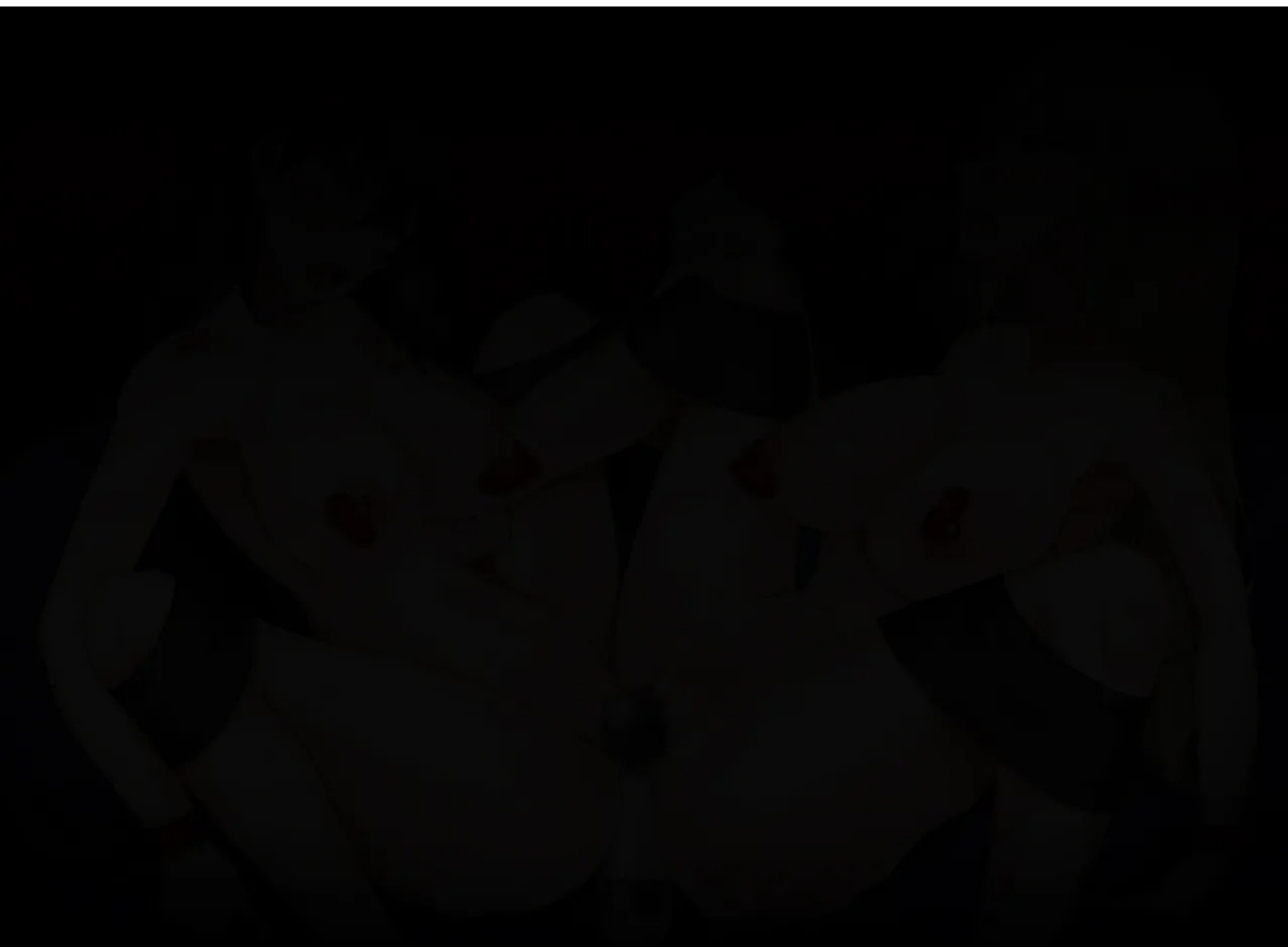


かすみさん……ん♡
ごめん、なさい……♡

も……♡だ、め……♡♡♡
ほんとうにだめ……♡♡♡

しばらくしてあっさりとは意識を手放してしまいます。声も枯れた生理反応として絶頂を繰り返すだけの肉の人形。
まだ耐えている花澄さんを目の前に私は……………。







ん？誰から……？
この番号、まさか……。

よお……
深夜1時、あの公園？
いいぜ。逃げんなよ

グググググ
♡

ひん
♡♡♡

♡♡♡
♡♡♡

ひん
♡♡♡

♡♡♡
♡♡♡

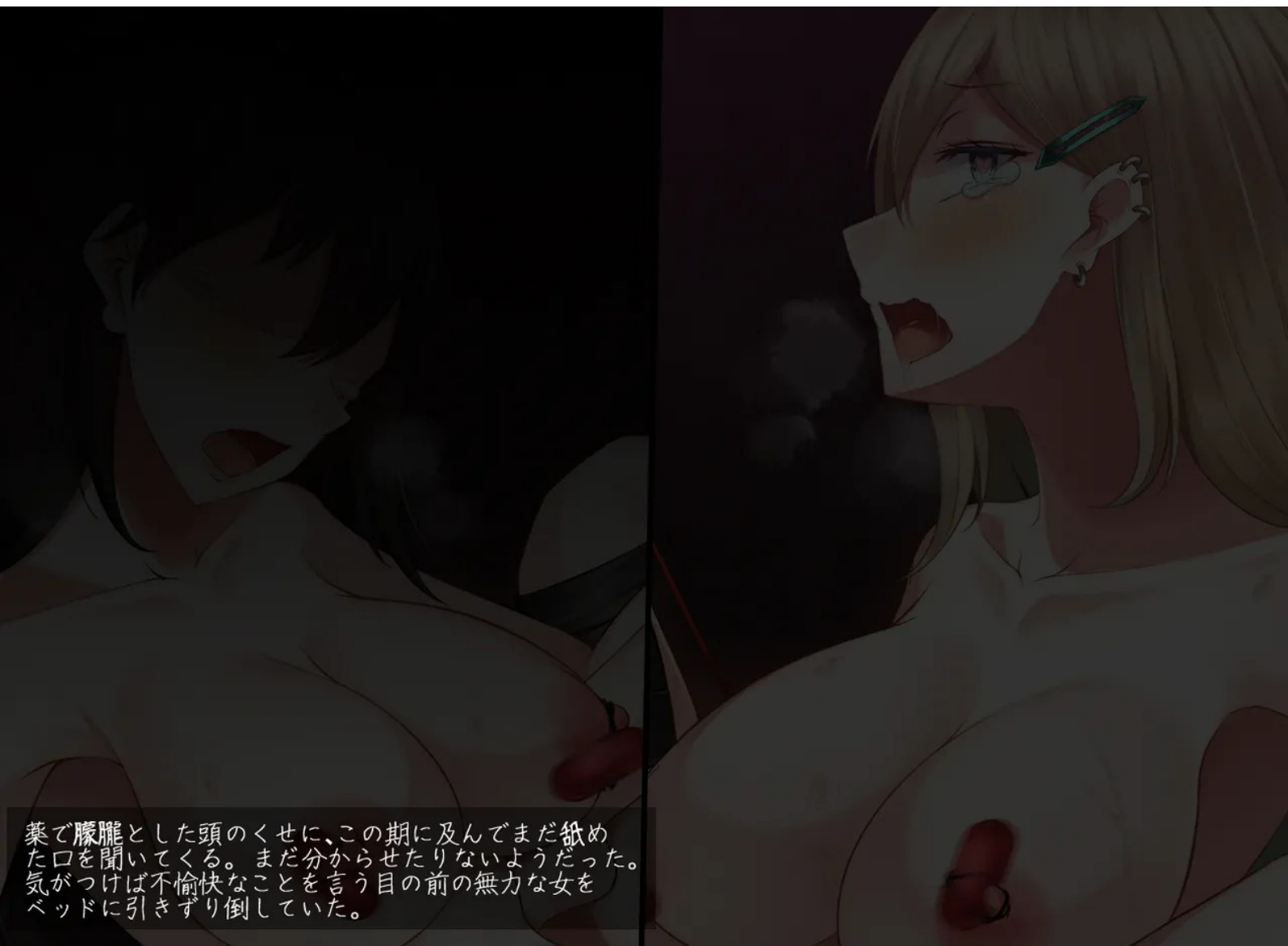
電話、彼の様子から相手が直人であることは予想できます。
途切れかけの理性を紡いで、私は岡田の目を見据えます。
直人が凛ちゃんを放っておくはずがない。
あの子もまだ諦めていないんだと確信して。

ちゃんと話してみれば、きっと
あなたが期待するような人じゃ
ないって……分かるから

あなたは直人に何を
求めているの……？

はーっ♡はーっ♡
直人からの……♡





薬で朦朧とした頭のくせに、この期に及んでまだ舐めた口を聞いてくる。まだ分からせたりないようだった。気がつけば不愉快なことを言う目の前の無力な女をベッドに引きずり倒していた。

へーちょっとむかついたわ。
お前のその諦めてない態度
腹が立つんだよね

あぎっ!?!?
いっ♡♡♡♡たわ♡

この無駄にでかい脂肪ぶらぶら
させて感じてるような馬鹿女と
同じ空気吸いたくねーんだよ



っは♡ひゅーっ♡♡♡
や、め……♡♡♡♡♡
あ……ああ……♡

ビクッ♡

ヒューッ♡

あ……♡

知ったような口を聞いたよな？
おら、もう一回言ってみろ

全身感じまくりのスケベ
ビッチのくせに生意気な
んだよ

ビクッ♡

上も下もちんぽ咥える穴
だよな？呼吸もいらねー
だろ

カッ♡

あ……ひゅーっ……♡
や、め……♡くる、し……♡
♡

ああ……♡……♡
♡



苦しいのに頭がチカチカして身体がどんどん敏感になってる♡♡

一突きされる度に少しだけ呼吸できて♡ もっと突いて♡

馬鹿になってる♡私の身体、頭も全部壊されて馬鹿になって……♡♡♡







空気おいしいかー？
よかったなあ死ななくて

スー♡

すー♡はー♡♡
あ……んあ……♡♡

ゲホ♡

ハ♡♡♡

スー♡

ハ♡♡♡

ハ♡♡♡

何休んでんだよ？
ほら股開いて媚びろ
馬鹿女終わってね
ーんだよ

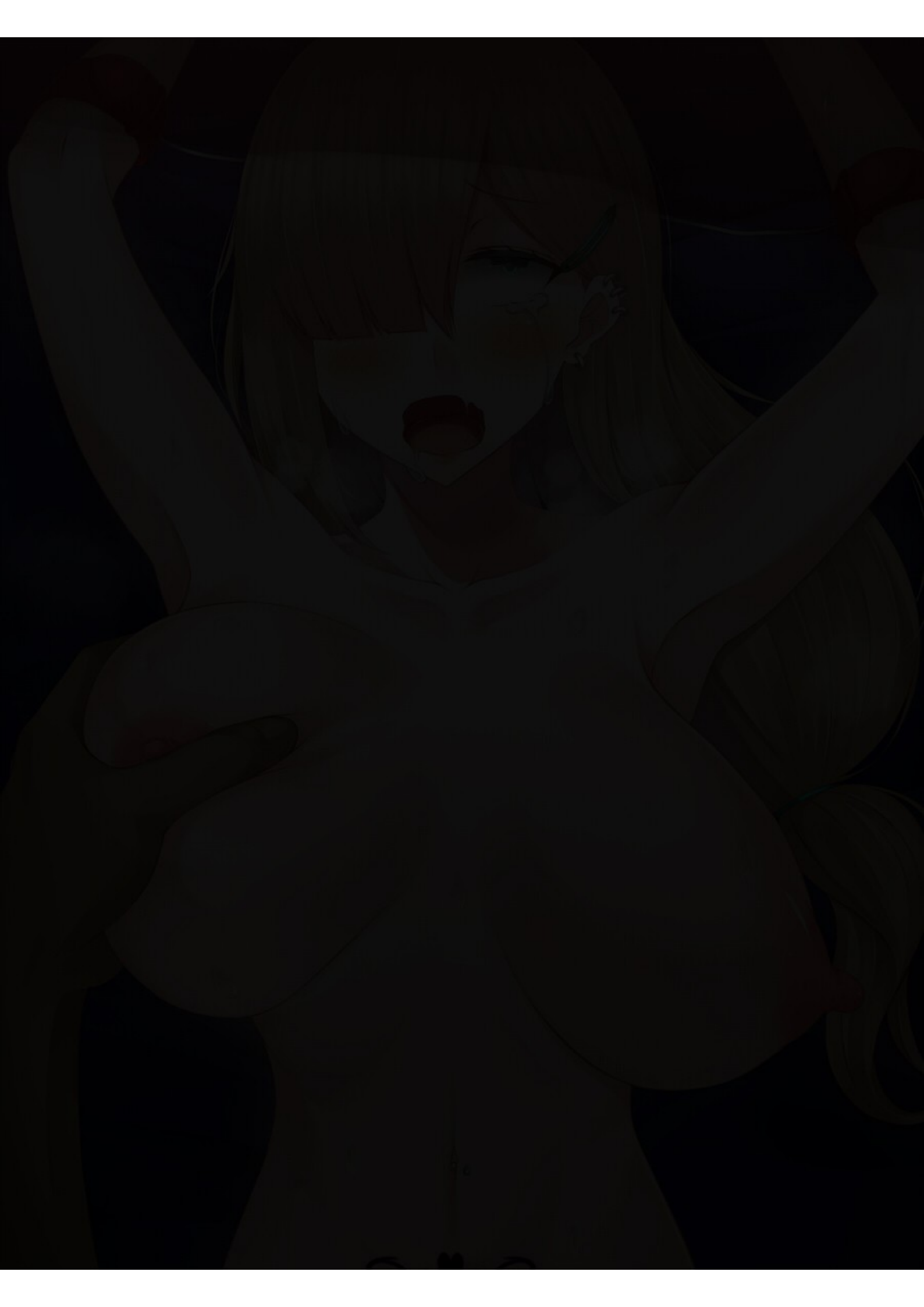
ゲホ♡

ゲホ♡

ゲホ♡

彼の逆鱗に触れたのか首を締められながらの
陵辱はしばらく続きました。ただ与えられて、
死なない程度に僅かな空気だけ与えられて、
薬で何をされても気持ちよくなった身体で、
何度も何度も声にならない嬌声をあげて全身
を犯されつくされて……。

これまでの比にならない暴力的な扱い。
脳に酸素が回らず意識が混濁してきた私
の頭はやがて考えることをやめていきます。



ふーっ……あ、締めすぎたわ
生きてるか糞女？

……あ……♡

このまま壊してもいいけど
面白いこと思いついたわ

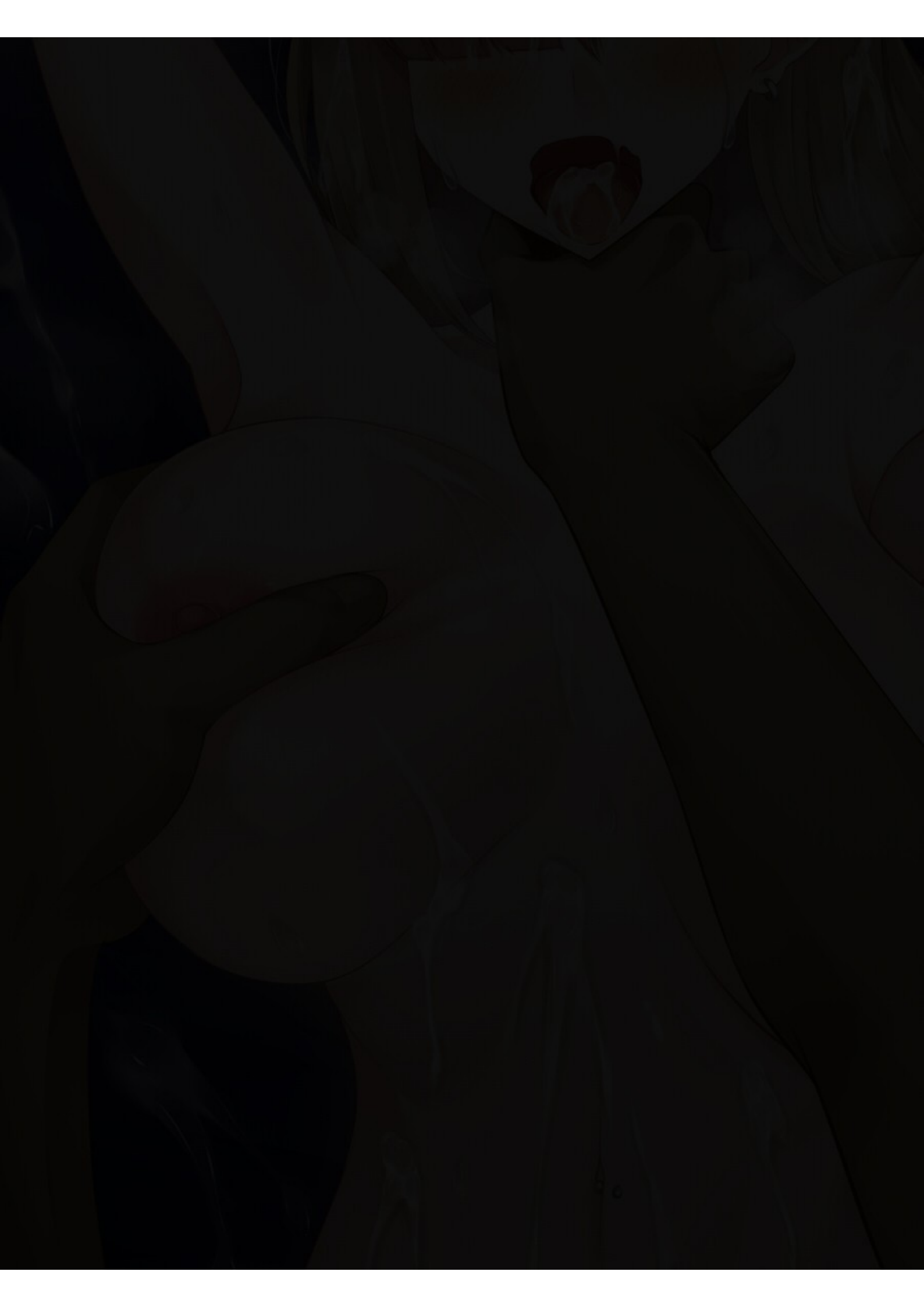




あいつに会いに行くとき
お前は「お留守番」してもら
うから

いいおもちゃがあるんだよ





(……わたし、生きて……る……?)
意識を取り戻すと、私の身体は拘束されて
点滴のような装置に繋がっていました。
中の液体はまだ流れておらず、チューブの
途中にある機械のところで止まっています。

ん? ああ、起きたか
そろそろあいつに会って
くるわ お前はそのままな

凜も連れていくから
心細いよな? w



その点滴にはいつも使つてゐる薬より純度が高いヤバいブツを入れてゐる

使ったらもう普通の生活
できなくなるレベルで壊
れるんだよ わくわくするね

俺と賭けをしようぜ
直人が俺に手を出してきたら
遠隔でそのスイッチを入れる。

嫌なら凜をこれに繋ぐけど
あいつのこと信じてるんだ
から大丈夫だよな？



ただでさえ自分が自分でなくなってしまう薬
だったのに、あれより強いものなんだなんて……。
考えただけで身体が竦みました。
彼の気分一つで私は完全に壊されて、あんな最
低で快樂のことしか考えられない世界から戻っ
てこれなくなる。

きっと彼は直人を怒らせようと色んなことをする。
全部知ったとき直人は、弟は……どんな結論を出す
んだろう。
きっと凜ちゃんのことを助けてくれるって信じてる。
そのためなら私は、何をされても大丈夫。

ふーっ♡ふーっ♡

……姉弟揃って往生際が
わりいなそこでイキな
がら待ってろ

ビクッ♡

ふーっ♡

ガッ♡
ガッ♡
ガッ♡

ふーっ♡
ふーっ♡
ふーっ♡



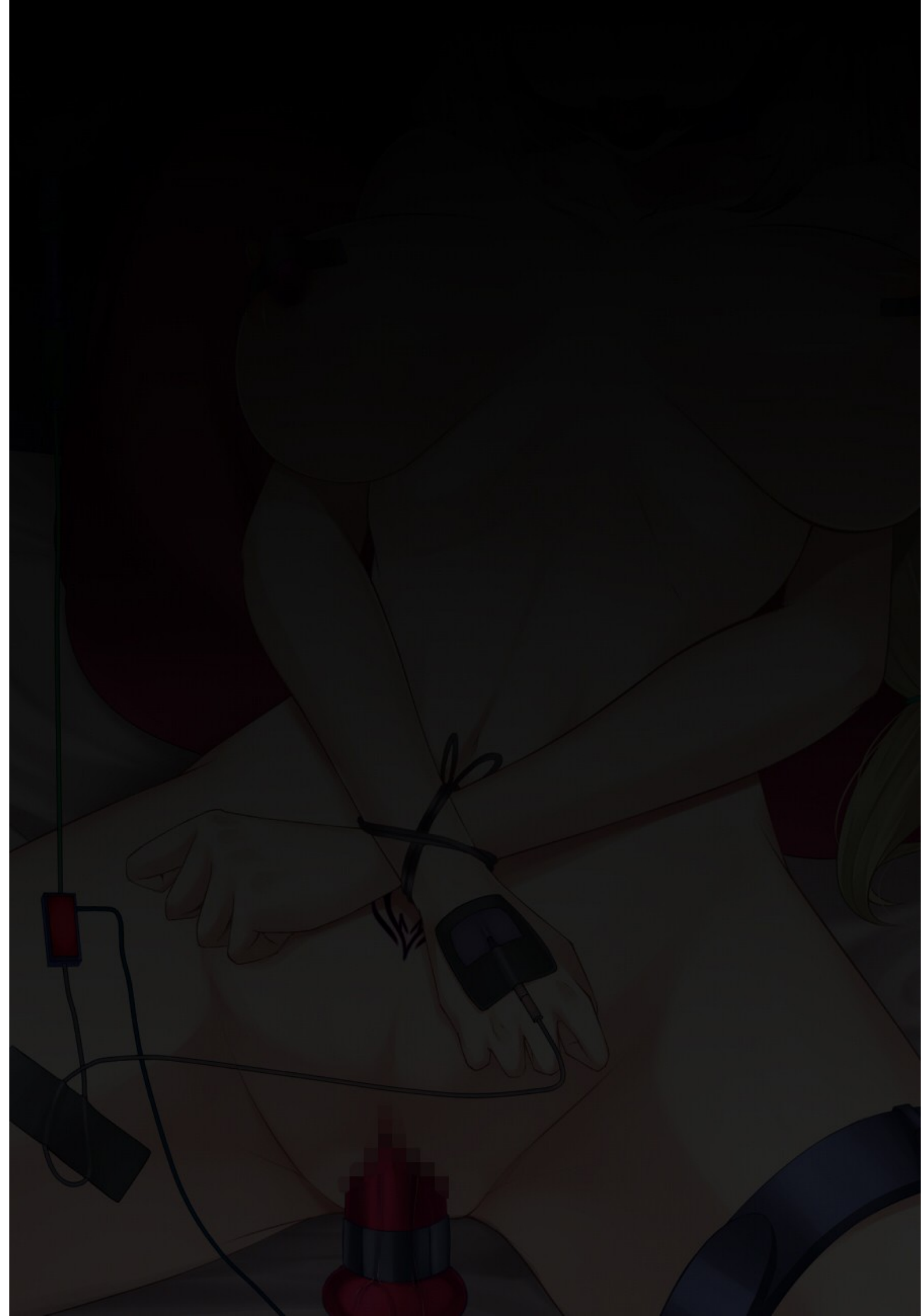
っ!?!?んーっ
んっ♡ふっ♡!?!?♡♡♡♡♡

凜、行くぞ
お前にも命令があるからな?



扉が閉まり二人がいなくなった部屋には
私に着けられた性具の無機質な音と嬌声
だけが響いています。
内側から、外側から襲う暴力的な快楽が
時間間隔も思考も徐々に蕩け溶かして
いきました——。





(直人君、手を出しちゃだめ……っ！)
彼が岡田のほうへと歩き始めました。
その先に待ち受けるものが最悪な結末であることを知っている
のにも関わらず、私は声を上げることすらできずに……。
声を上げれば結局花澄さんは助からない。そういう脅しでした。

私はただこの光景を目撃させられるためだけにここに連れて
こられたんだと思います。
もし直人君が暴力を振るえば彼の思い通り、容赦なく花澄さん
に繋げられた装置を動かしてしまう。
そうなったら……直人君はきっと後悔するだけじゃ……。

直人君は私が残した手帳をきっと見たんだと思う。
助けを求めることさえちゃんときけない私を、尊厳も貞操も
身体の間から間まで汚れきった私を、そして花澄さんを助け
にきてくれた。
それが本当に、信じられないくらい嬉しい——。

だからこそ、今のこの私を見られるのが心底怖い。
助けられたとしてもこんな私を受け入れてもらえるか怖い。
直人君に少しだって拒絶されたら……それがあの快楽の地獄
に墮ちるよりももっと怖いものでした。
だから、私はこの場から逃げ出すこともできず馬鹿みたいに立
ち尽くしている……。

あの事件について少しだけ花澄さんから聞いたことがある。
私は後から公園に行っただけから居合せなかったけれど、あの
日から直人君が一層感情を表に出さなくなっただけがします。
でも優しくて意思が強くてまっすぐなところは全然変わって
ない。ずっと見ていたから、幼馴染だから知っているよ。



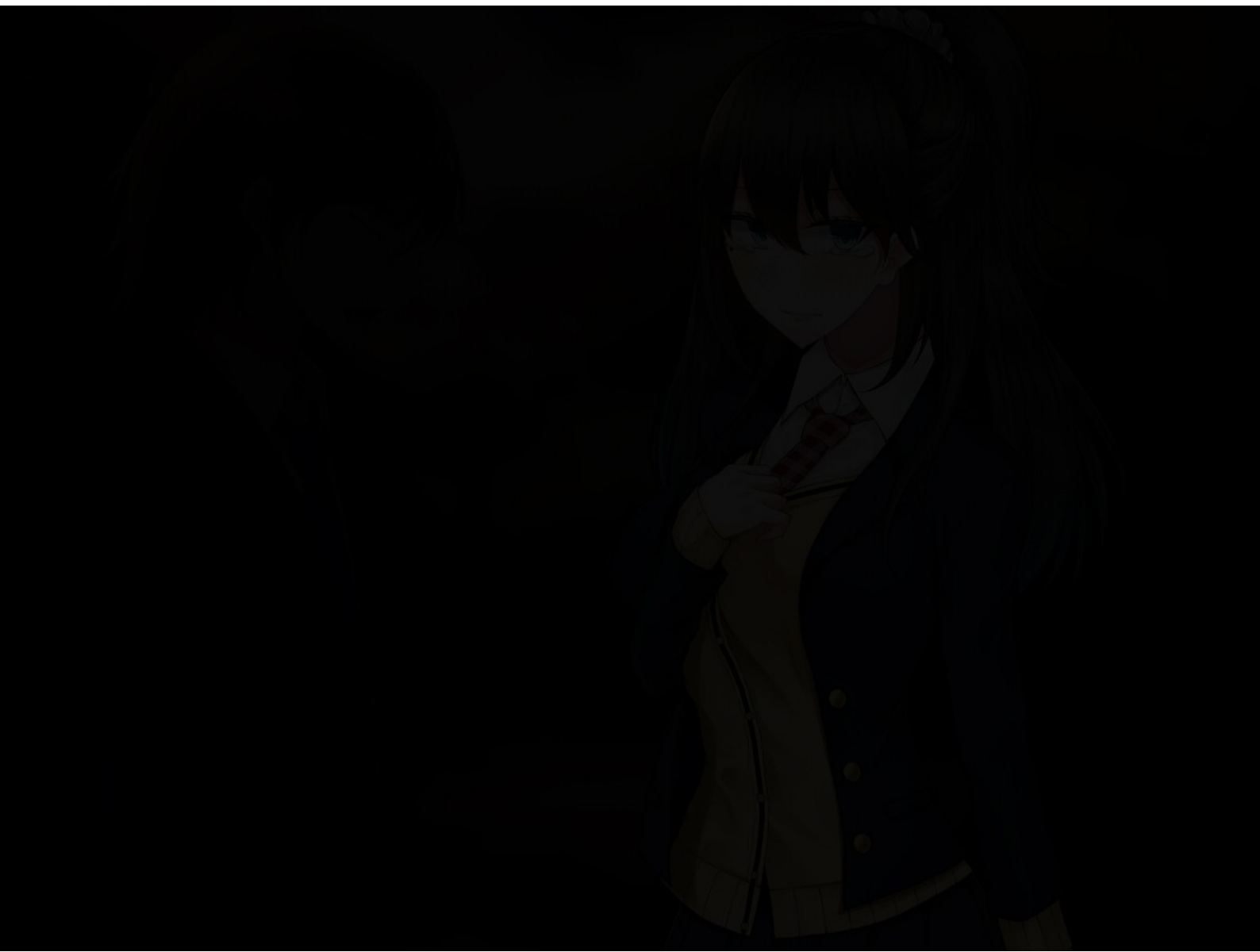


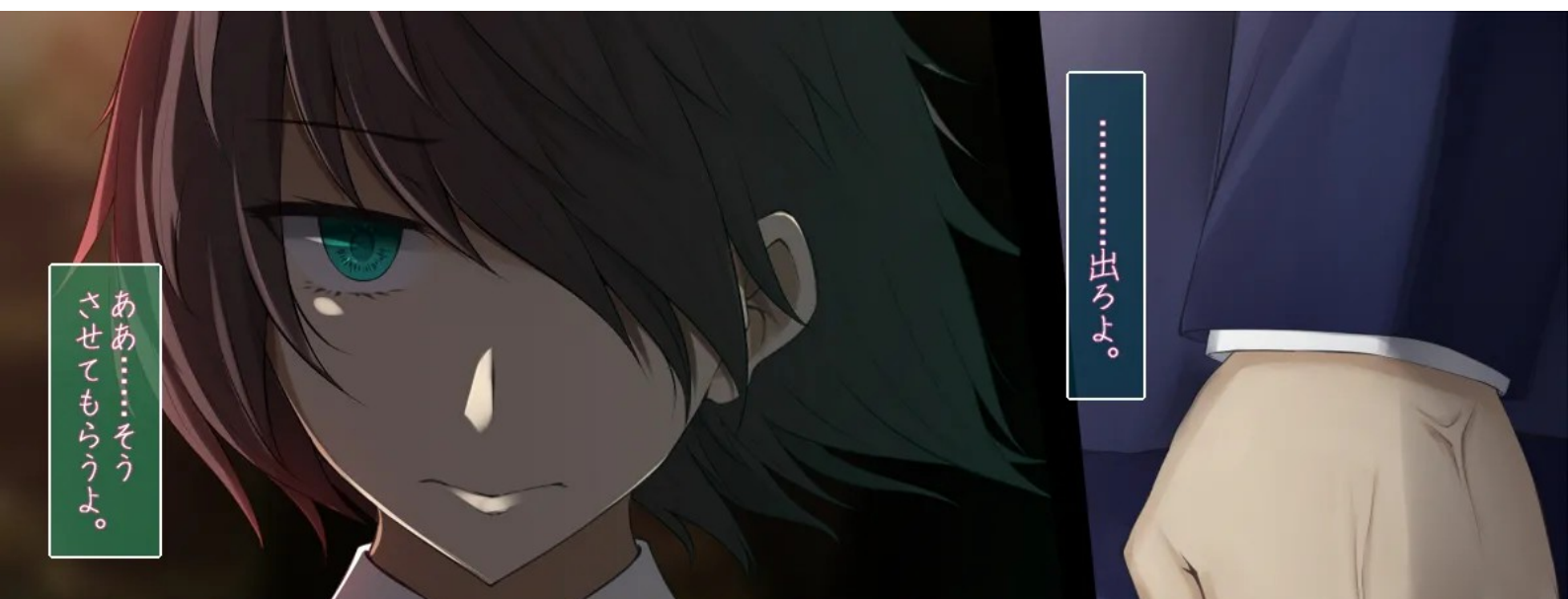
花澄さんが言ってくれた言葉が頭に響きました。
「直人はちゃんと分かっているわ。きっとあのできごと
にたいして自分なりの答えを見つけたんだと思う。だから
あの内向的な子が、凛ちゃんに自分から告白したんじゃ
ないかしら、ね？」

怖くて今も逃げ出したいくらいだけど、自分の中で
何か揺らいでいたものが落ち着きを取り戻しました。
目を逸らさず、私は前を向いて目の前の光景を見据え
て——。









……………出ろよ。

ああ……そう
させてもらうよ。



……
こんなタイミングで
くそが……っ

あと少しだ。今まで何度も見てきたブチギレた人間の目。ようやくこいつも俺の思い通りになる。最後のひと押しをしてやろう。俺は目の前の爆弾にもう一声かけようとして……。そこで電話が鳴り響いた。



はい……直人です。

かわってください。



……直人、凛ちゃんにいいところ
見せてあげて。私はもう大丈夫。

よくがんばったね……。

すうと内側で燻っていた衝動はなりを潜めた。
今すべきことは目の前の男を殴ることも、彼に
反論することでもない。
ただ伝えたい人に想いを伝えることだけだ。





おい、どうした。
続きをしようぜ。

何の電話か知らねーが
こっちのほうが……

凜がどれだけボロボロに
されて尊厳を踏みにじら
れたのか、僕には全部分か
ることなんてできない。

どんな気持ちで僕に別れ
を告げたのかも……それ
を知ることさえできない。

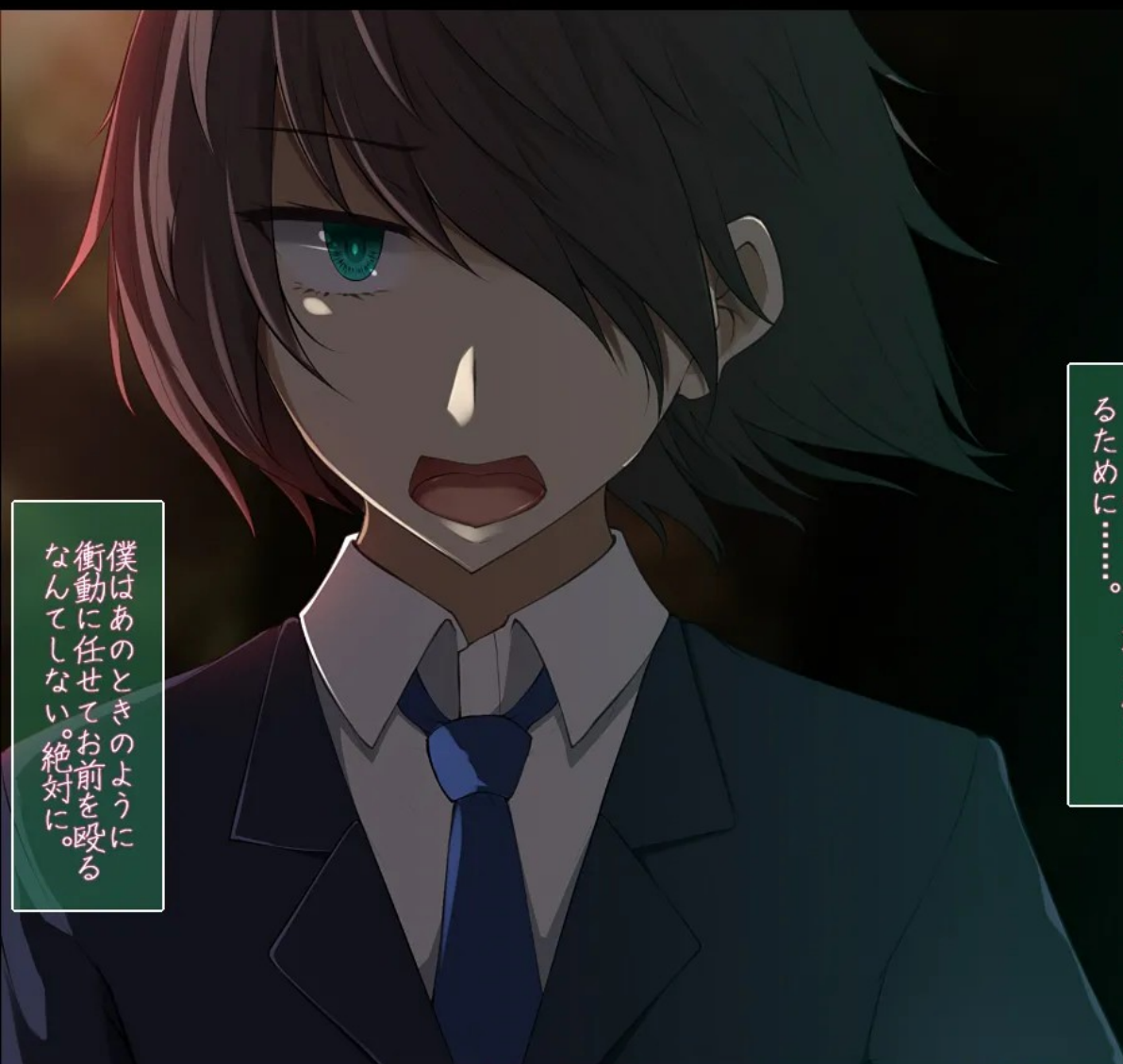
それでも、たとえ凜自身が自分を
嫌いになっただとしても……



僕はいつだって「今」の
凛が好きなんだ。

だからお前がどんなことを
しようが、ずっと凛の側にい
るために……。

僕はあのと時のように
衝動に任せてお前を殴る
なんてしない。絶対に。



じゃあ今までの記録を全部後悔して
親にも学校にも世界中にばらまかれ
てもそんな風に言えるか？

お前のせいでそうなったとしたら
二人は変わらず接してくれるか？
ほら、殴ってこいよ！そんな日和
たやつじゃねーだろ……！！

もう、いいよ。

岡田の表情が初めて歪んだ。意思を曲げることはない。
何を言わねえ、お前も言っていることになったとしたら、
僕もは岡田達女に對して責任を取って、できるだけのことを
する。その覚悟を決めたとき——



もう、大丈夫。
私も、花澄さんも……覚悟は
できてると思う。

他の人に何を言われたって、
どんな状況になっ たって大丈夫。

直人君が私の欲しかったもの
全部くれたから……。



きっと、あなたはこれからも
脅してくるんだよね
私を、花澄さんを、直人君を……
他の家族や友達を、かもしれない。

だから、もう全部自分で公開
したの。これでもう……終わり。

凜……。



もう遅いかもしれないけど、
何度も裏切って失望されてる
かもしれないけれど……。

私も直人君が大好き。

だから……

もう一度側にいても……いいかな？





もちろん、僕のほうこそ
よろしく 凛

はい……！

初めての告白を思い出す。あれ、好きな人に告白される
あのときは僕がこんなにも嬉しいことだなんて……。
あれを経験できた僕は幸せものかもしれない。
久しぶりに見た彼女の笑顔はとても美しいものに思え
た。

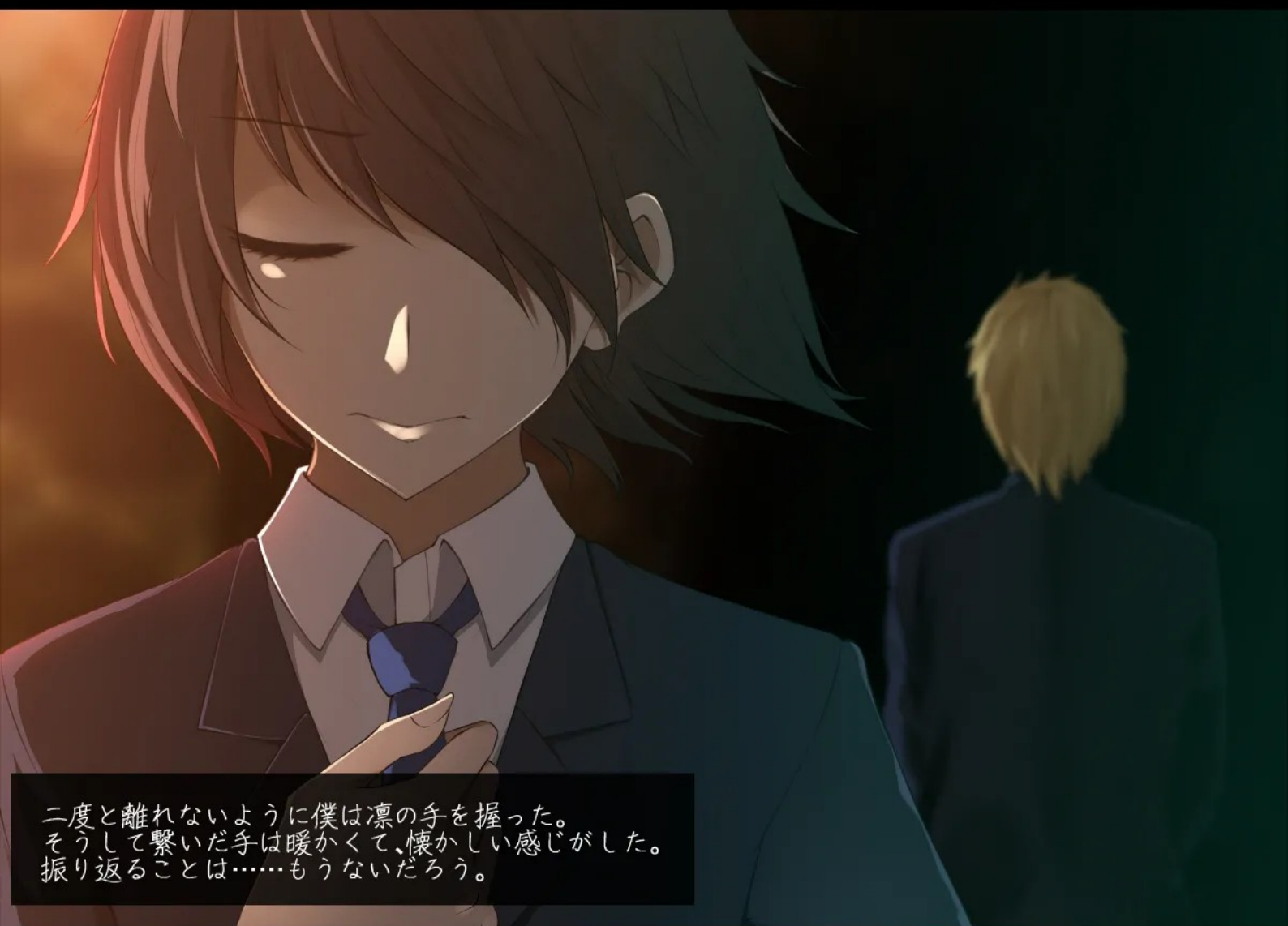


岡田は沈黙したまま呆然としている。
そこにはさきほどまであった苛立ちや悪意といった
ものが感じられない。



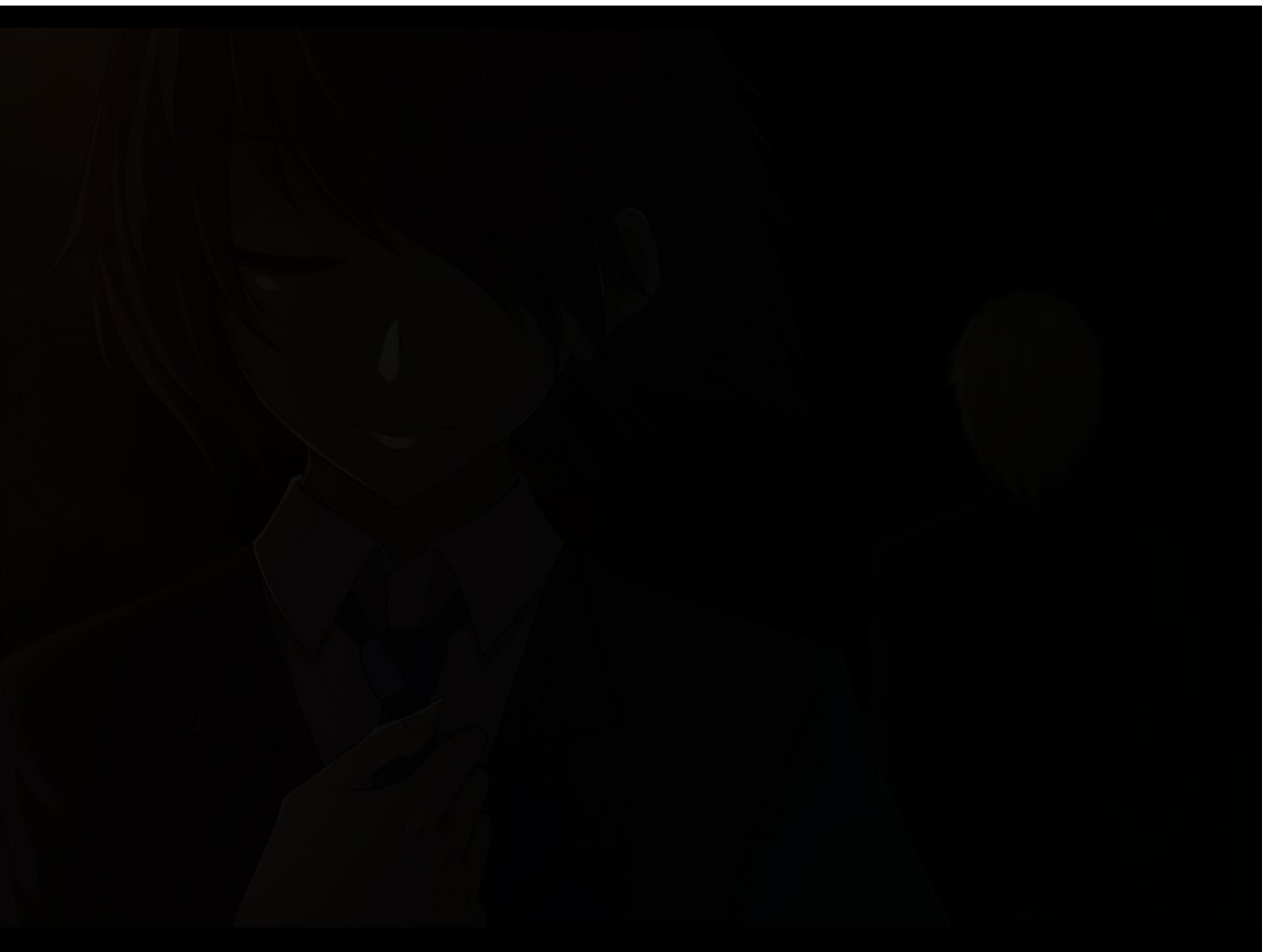
「……行こう、凜。」

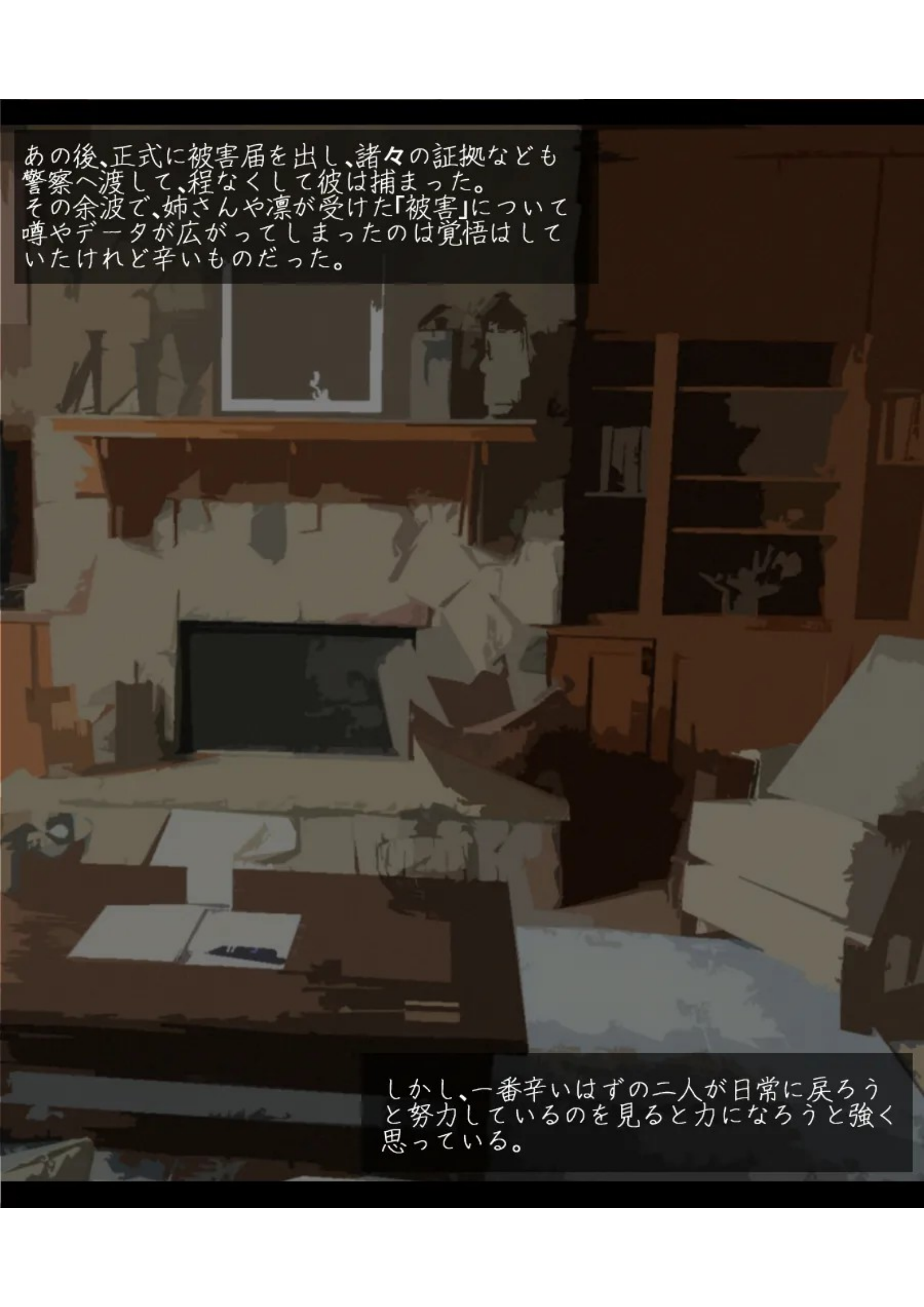
横をすり抜け、彼女の元へとあるき出した僕を
彼は止めることもなかった。
何かが終わった。
そういう感覚だけが残響のように夜更けの公園
へと消えていく。



二度と離れないように僕は凛の手を握った。
そうして繋いだ手は暖かくて、懐かしい感じがした。
振り返ることは……もうないだろう。





The background image is a dark, low-key photograph of a room. In the foreground, there's a dark desk with some papers and a small object on it. Behind the desk, a television set is visible on a stand. The room is filled with various items, including what looks like a bookshelf on the right side, and the overall atmosphere is somber and cluttered.

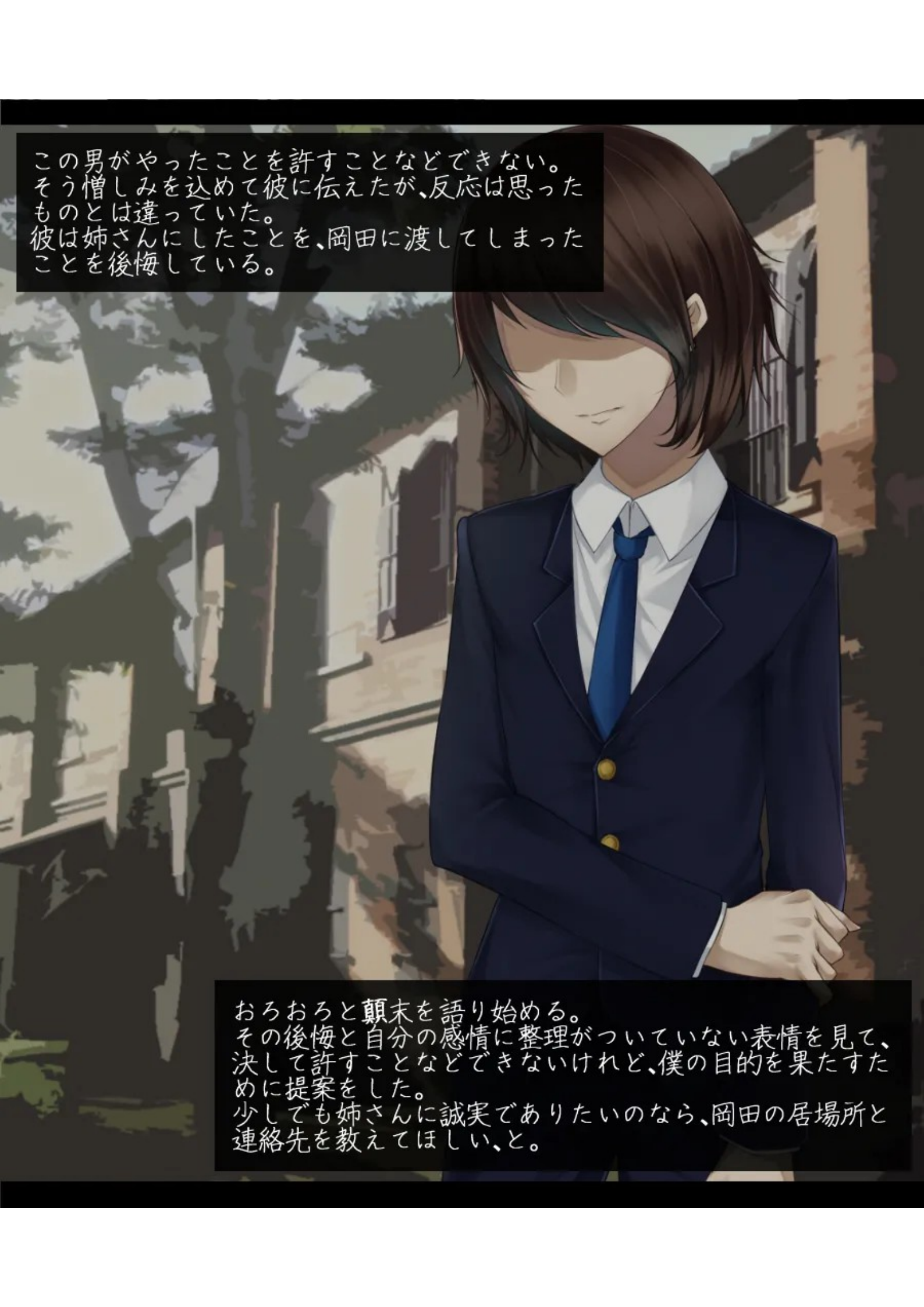
あの後、正式に被害届を出し、諸々の証拠なども警察へ渡して、程なくして彼は捕まった。その余波で、姉さんや凛が受けた「被害」について噂やデータが広がってしまったのは覚悟はしていたけれど辛いものだった。

しかし、一番辛いはずの二人が日常に戻ろうと努力しているのを見ると力になろうと強く思っている。

岡田と対峙することになる数日前、僕は姉さんの部屋に残された手がかりからとある男に接触していた。

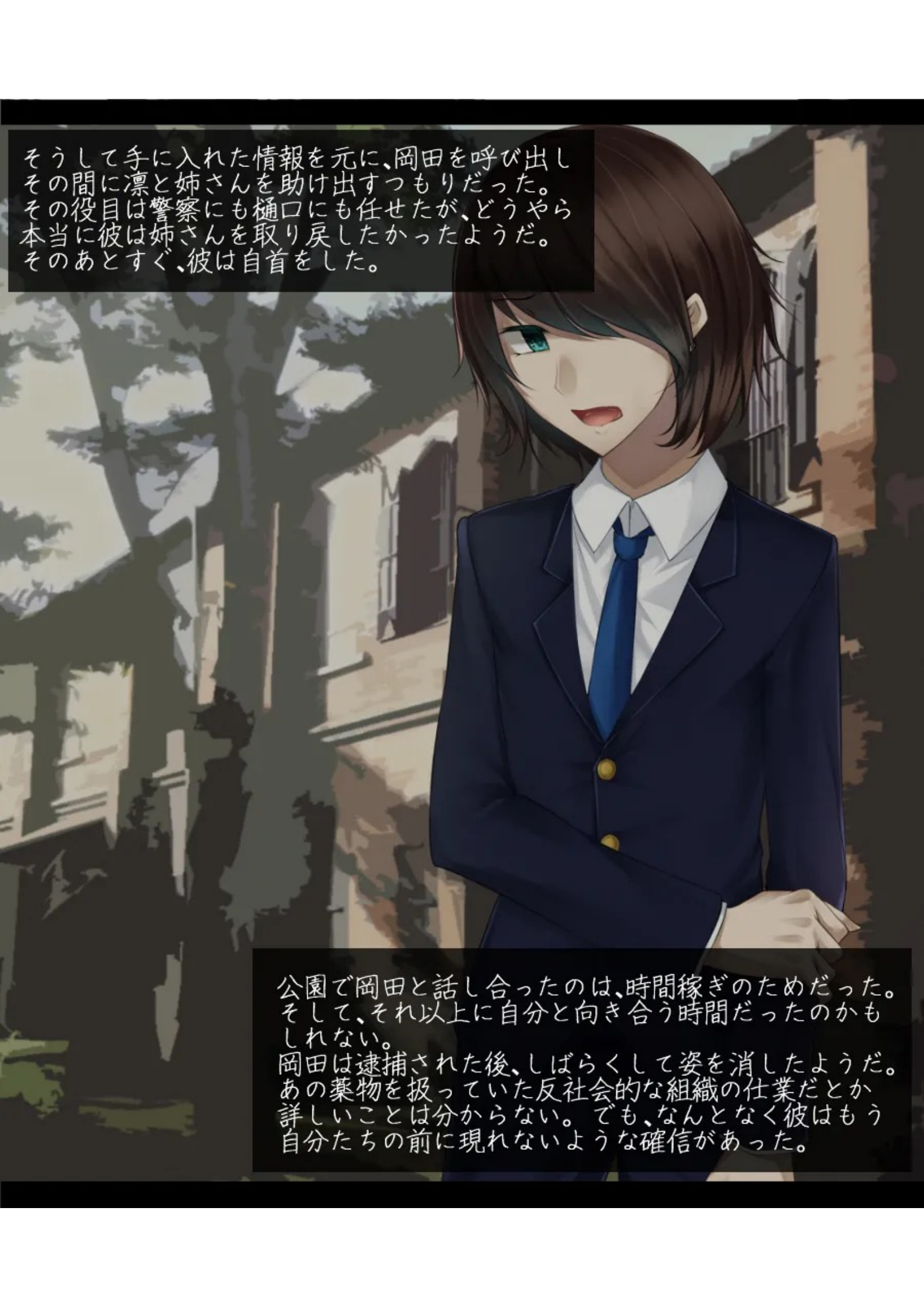
樋口と呼ばれる姉さんの大学に通う男。
姉さんに手を出した相手だ。



A young man with short brown hair, wearing a dark blue school suit with a white shirt and a blue tie, is looking down with a somber expression. His hands are clasped in front of him. The background is a blurred outdoor scene with trees and a building.

この男がやったことを許すことなどできない。
そう憎しみを込めて彼に伝えたが、反応は思った
ものとは違っていた。
彼は姉さんにしたことを、岡田に渡してしまった
ことを後悔している。

おろおろと顚末を語り始める。
その後悔と自分の感情に整理がついていない表情を見て、
決して許すことなどできないけれど、僕の目的を果たすた
めに提案をした。
少しでも姉さんに誠実でありたいのなら、岡田の居場所と
連絡先を教えてほしい、と。

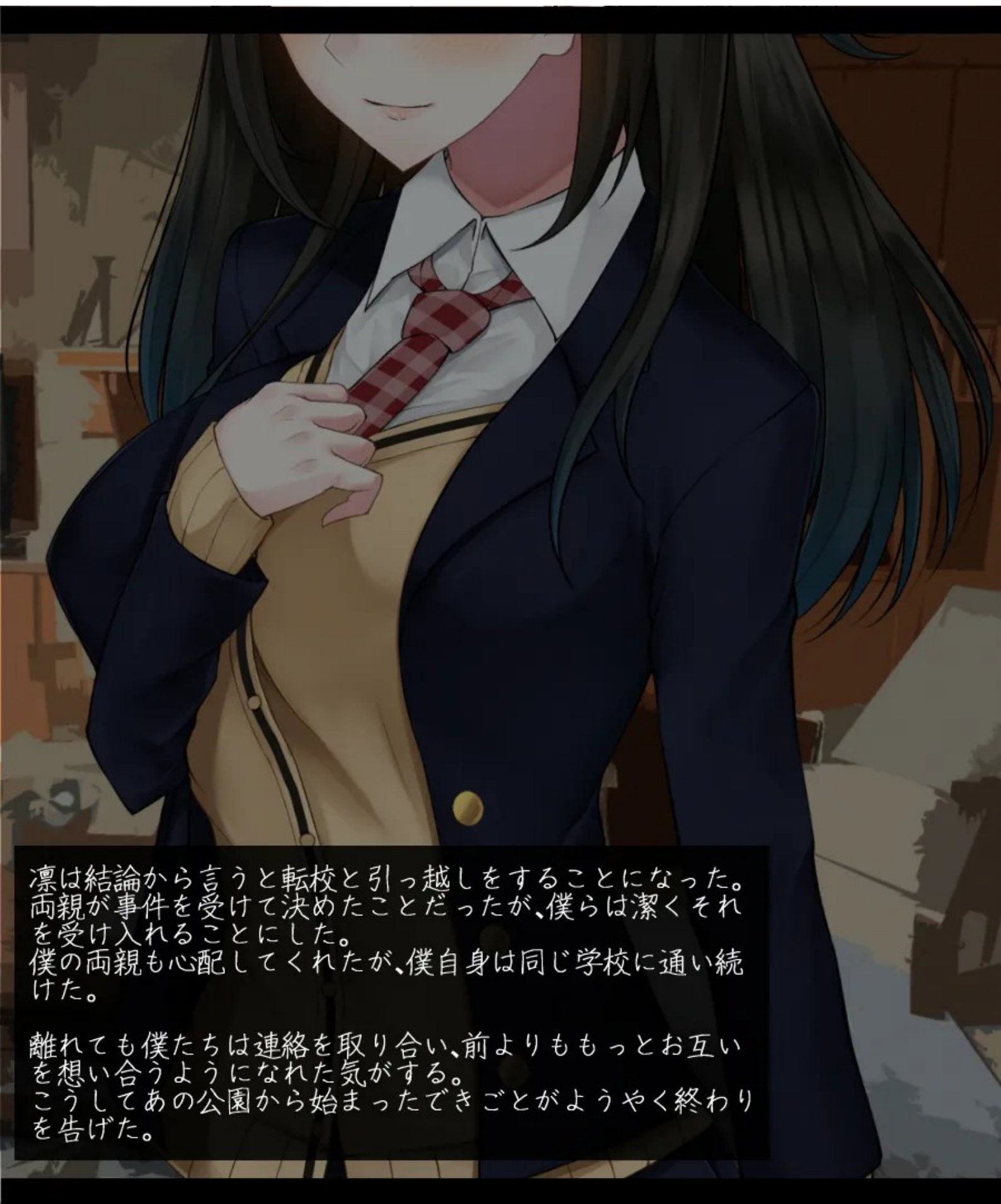


そうして手に入れた情報を元に、岡田を呼び出し
その間に凜と姉さんを助け出すつもりだった。
その役目は警察にも樋口にも任せたが、どうやら
本当に彼は姉さんを取り戻したかったようだ。
そのあとすぐ、彼は自首をした。

公園で岡田と話し合ったのは、時間稼ぎのためだった。
そして、それ以上に自分と向き合う時間だったのかもしれない。
岡田は逮捕された後、しばらくして姿を消したようだ。
あの薬物を扱っていた反社会的な組織の仕業だとか
詳しいことは分からない。でも、なんとなく彼はもう
自分たちの前に現れないような確信があった。

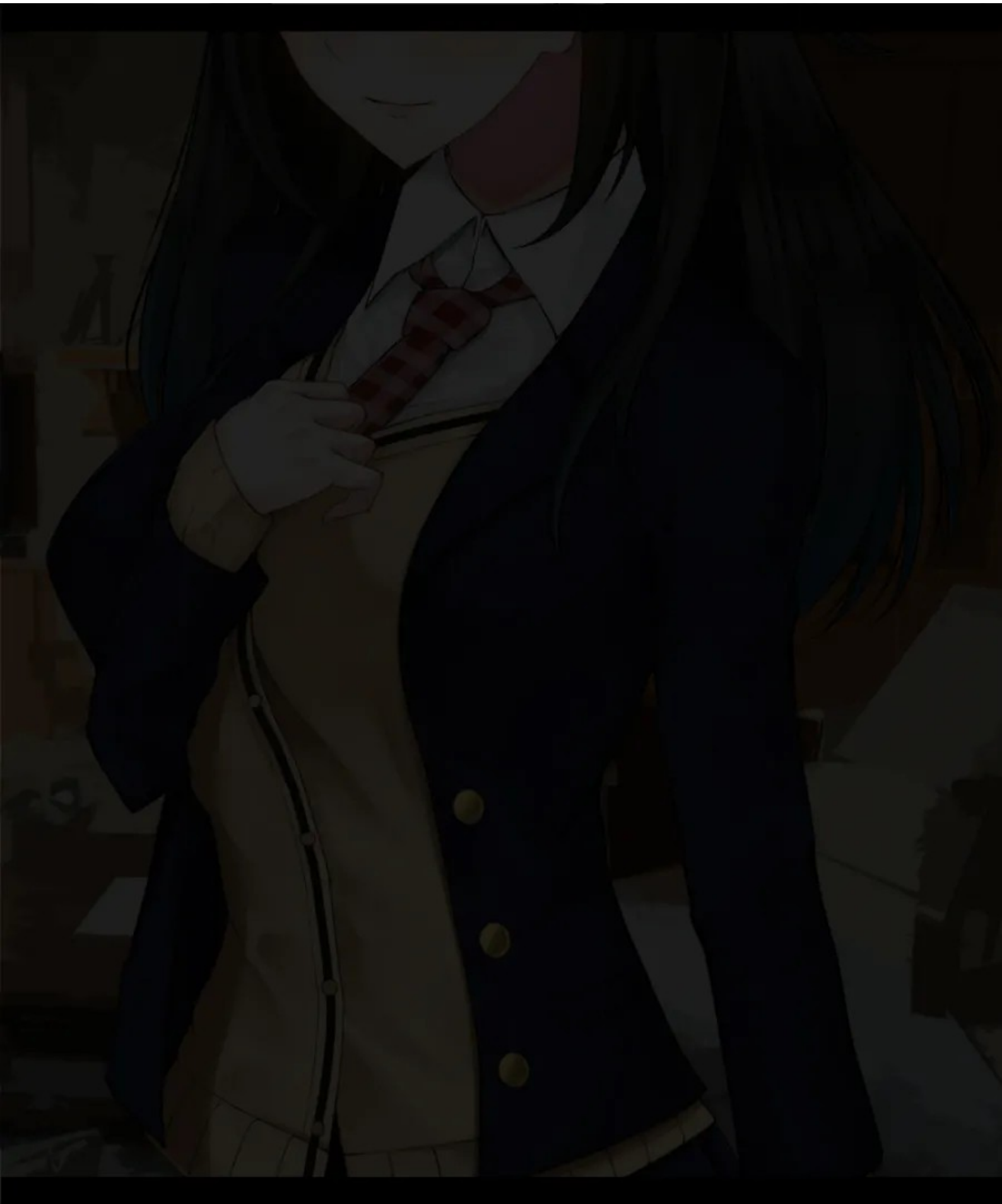


姉さんは程なくして大学に復帰し、日常に戻っている。
二人とも定期的に病院へ通い、薬の後遺症を治療しながら
になるけど、姉さんは以前のような元気を取り戻しつつ
あった。
僕と連絡する頻度はこれまで以上に増えて、姉さんとの
時間を大切にしていきたい。



凜は結論から言うと転校と引っ越しをすることになった。
両親が事件を受けて決めたことだったが、僕らは潔くそれ
を受け入れることにした。
僕の両親も心配してくれたが、僕自身は同じ学校に通い続
けた。

離れても僕たちは連絡を取り合い、前よりももっとお互い
を想い合うようになった気がする。
こうしてあの公園から始まったできごとがようやく終わりを
告げた。







大学生になって、僕らは久しぶりに再開した。
早めに着いたつもりだったが僕よりも先に到着
したらしい。
鏡を見て身だしなみを何度もチェックしている
彼女が視界に入り、自然と口元に笑みが浮かんで
いる。



しばらくその様子を観察していると、ようやくこちらの存在に気がついたようだ。前に会ったときより少し大人びた彼女は、少し拗ねた様子を見せたあと満面の笑顔を見せる。それだけで十分だった。



この数年、色んなことがあったけれど彼女への気持ち
が変わることはなかった。
凜もそうであったならいいな、と思う。

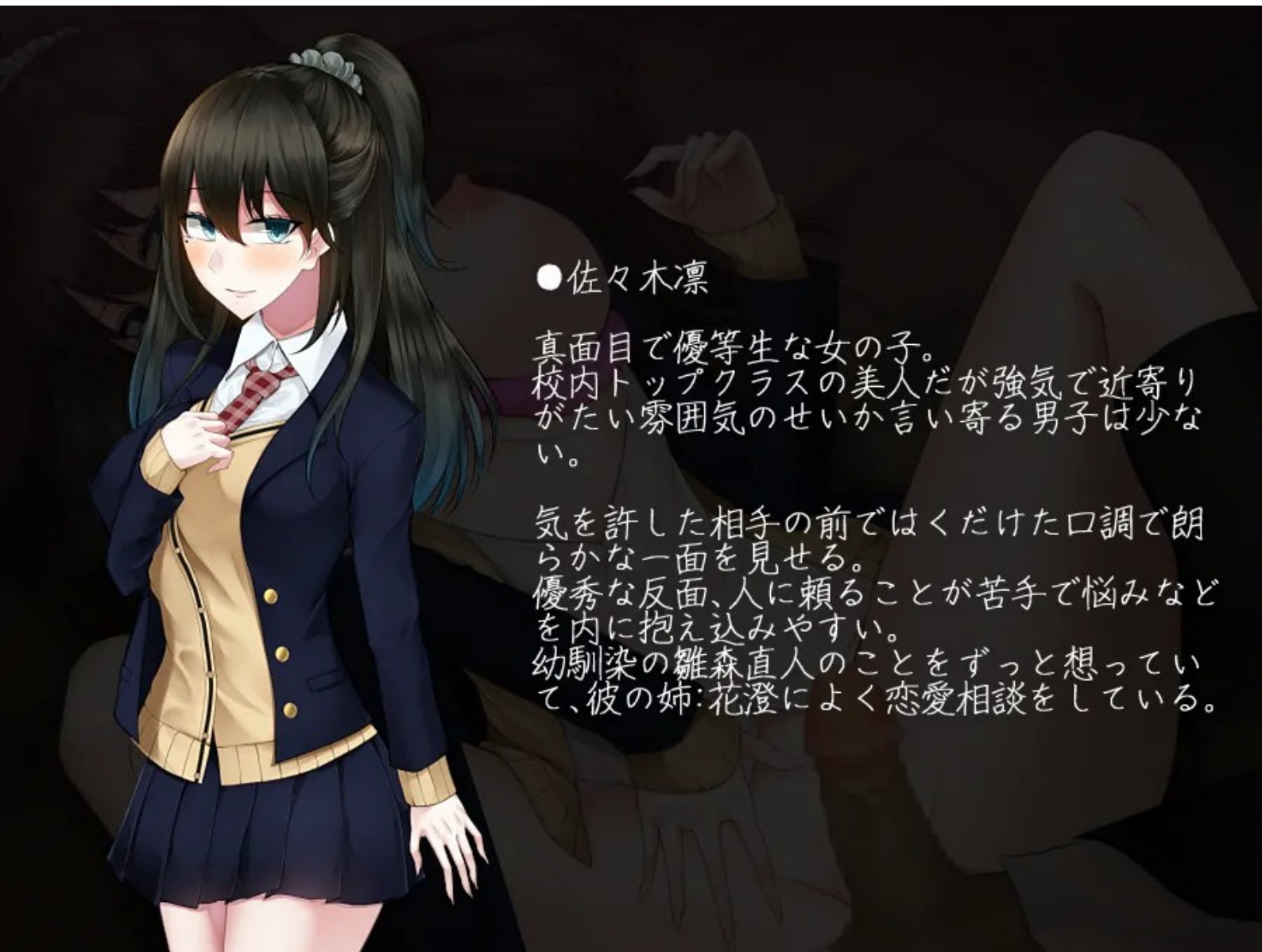
彼女の呼ぶ声が聞こえる。
僕は、彼女はお互いのほうへと一歩踏み出した。



-End-



幼馴染の彼女と姉さんが
顛末を僕はただ聞いていた



●佐々木凜

真面目で優等生な女の子。
校内トップクラスの美人だが強気で近寄り
がたい雰囲気のためか言い寄る男子は少
ない。

気を許した相手の前ではくだけた口調で朗
らかな一面を見せる。
優秀な反面、人に頼ることが苦手な悩みなど
を内に抱え込みやすい。
幼馴染の雛森直人のことをずっと想ってい
て、彼の姉・花澄によく恋愛相談をしている。



●**雛森直人**
内向的な性格で優しい男の子。
凜とは幼い頃から家族ぐるみの付き合いで、友人としても女性としても大切に想っている。
凜が悩んでいることによく気が付き、小さい頃から彼女を助けることが多かった。
姉の花澄との仲もよく、凜との仲についてよく聞かれている。

●**雛森花澄**
直人の姉。大学生で一人暮らしをしている。
中学時代から持ち前の優しさと無防備さでよく男子を勘違いさせて好意を向けられている。
頼まれごとを断れないお人好しなため、活発な友人に振り回されていることも多い。
凜からよく直人についての恋愛相談を受けていて、二人の恋路を応援している。

●**岡田英次**
いわゆる不良の問題児。
欲しい物は手に入れないと気が済まない性質で手段を厭わず手に入れようとする。
凜と直人を見かけるとよくちょっかいをかけたりセクハラ紛いのことをしてくる。
ため二人に警戒されている。

【あらすじ】

幼い頃から一緒だった幼馴染、佐々木凜と雛森直人。
直人の姉:花澄の後押しもあって二人はようやく付き合うことに。。
徐々に幼馴染から恋人へと変わっていく二人は穏やかな日々を過ごしていた。



しかし、それからしばらくして直人は凜の態度が
どこかおかしいことに気がつく。
時を同じくして姉との連絡もなくなってしまう。

原因は問題児:岡田英次によるものだった。
花澄は岡田の罾にはめられ大学の先輩である
樋口の中で薬と快楽調教により堕ちていった。

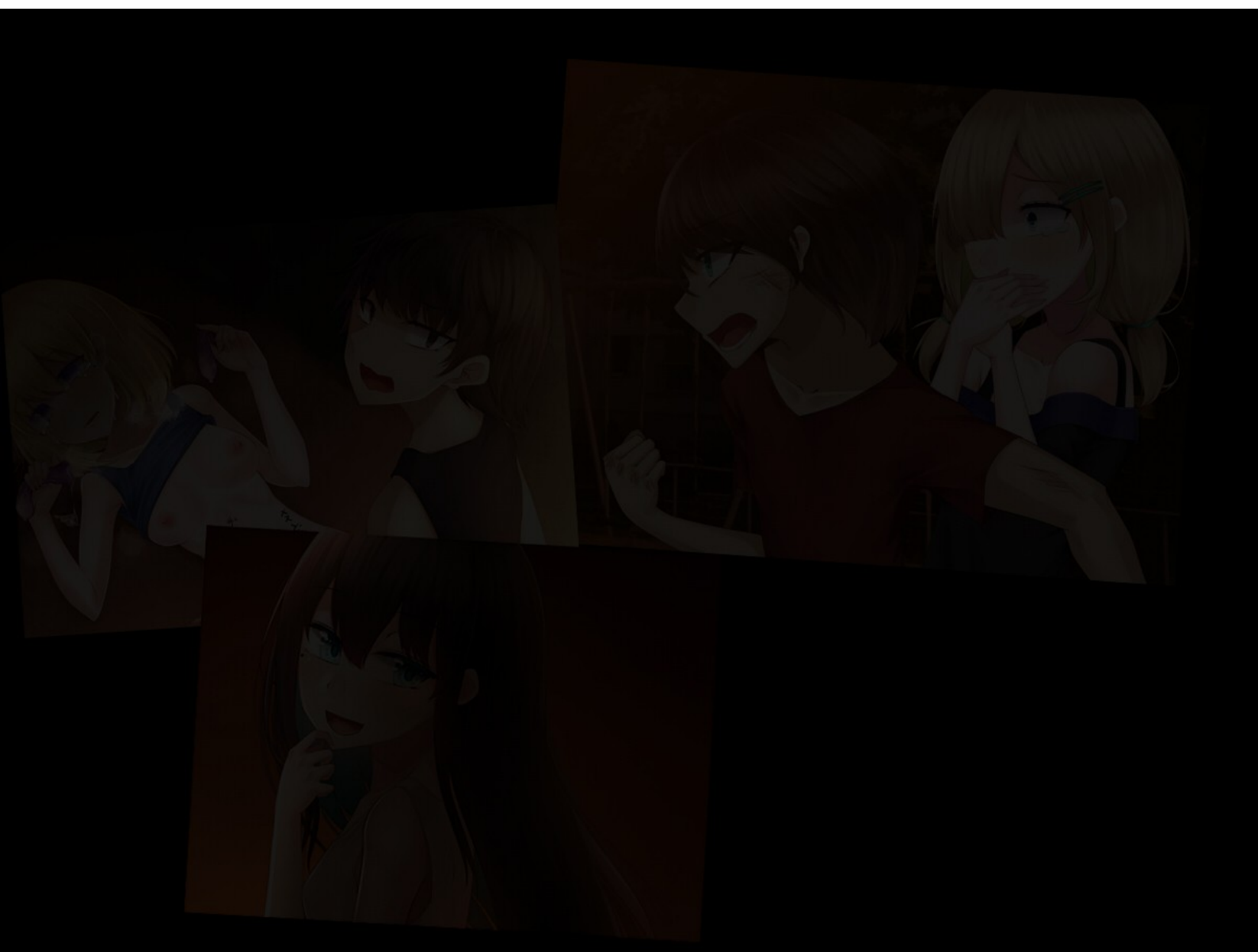


その花澄の陵辱動画によって脅された凜もぼろぼろ
になっていき、結果直人と凜の関係は引き裂かれてしまう。

凜と花澄が残した手がかりを元に2人を救おうとする中で、
直人は幼いころに岡田と出会っていたことに気がつく。



直人は様々な感情を内に抱えながら、岡田と対峙
するため全てが始まった公園に向かった。









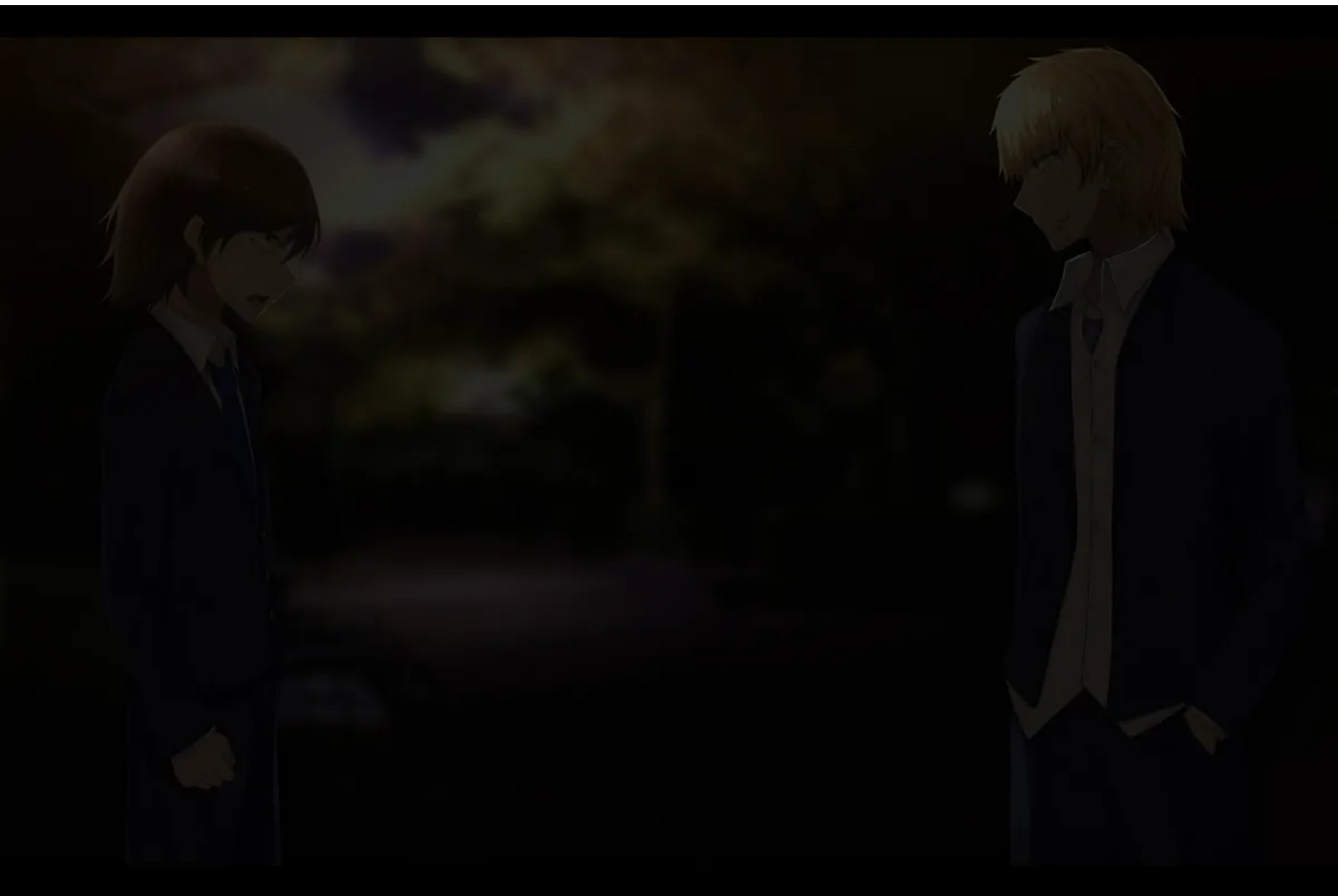


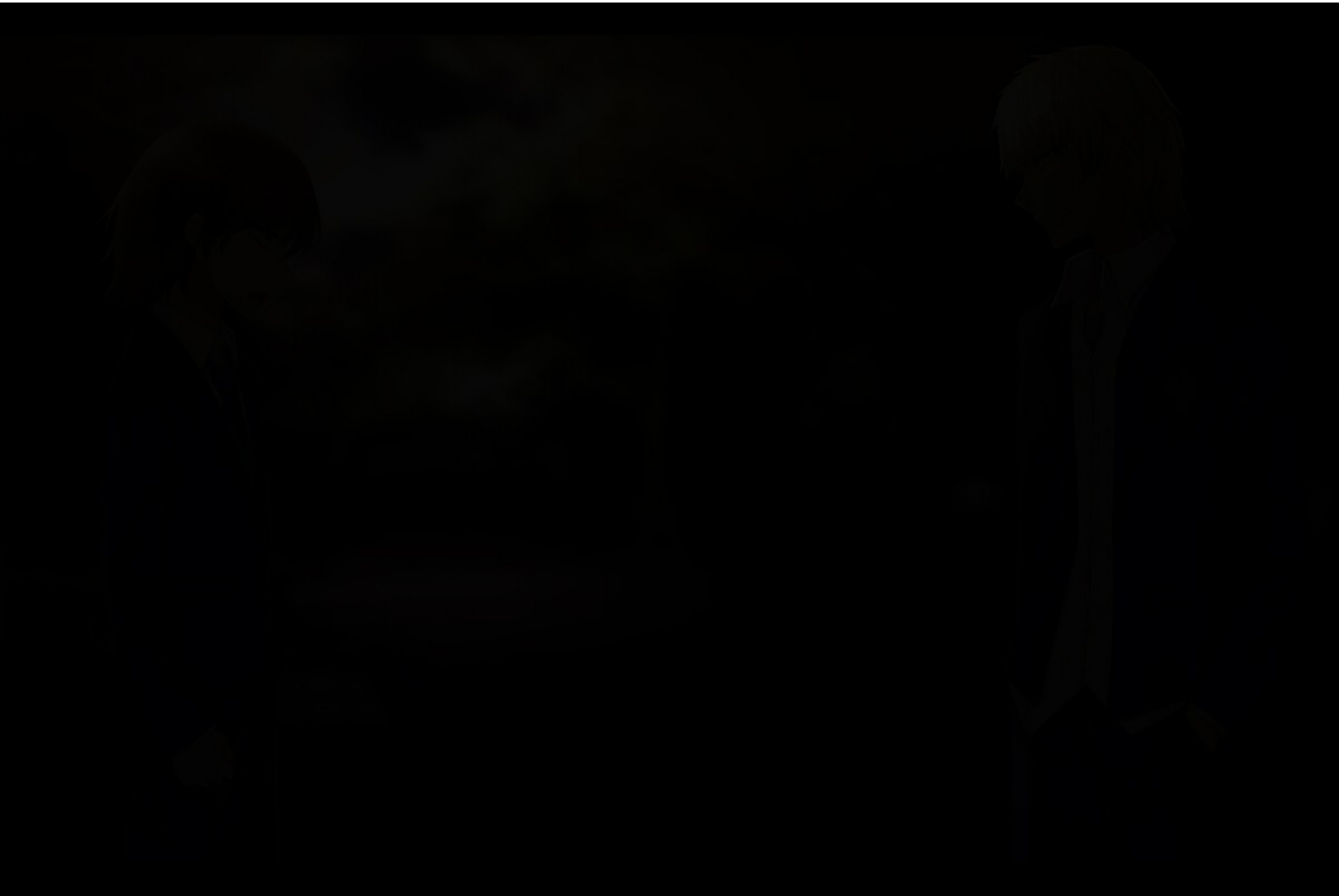














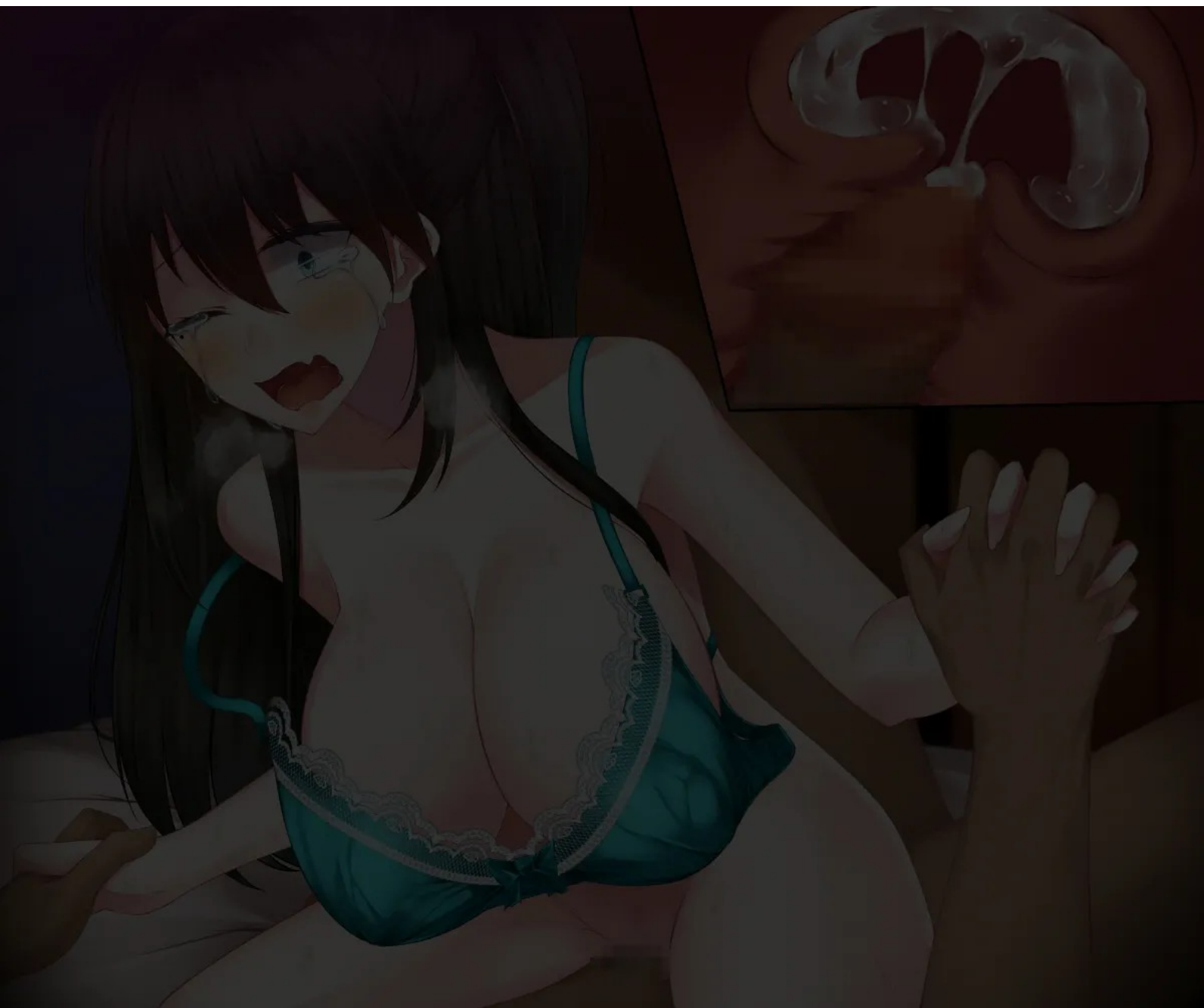


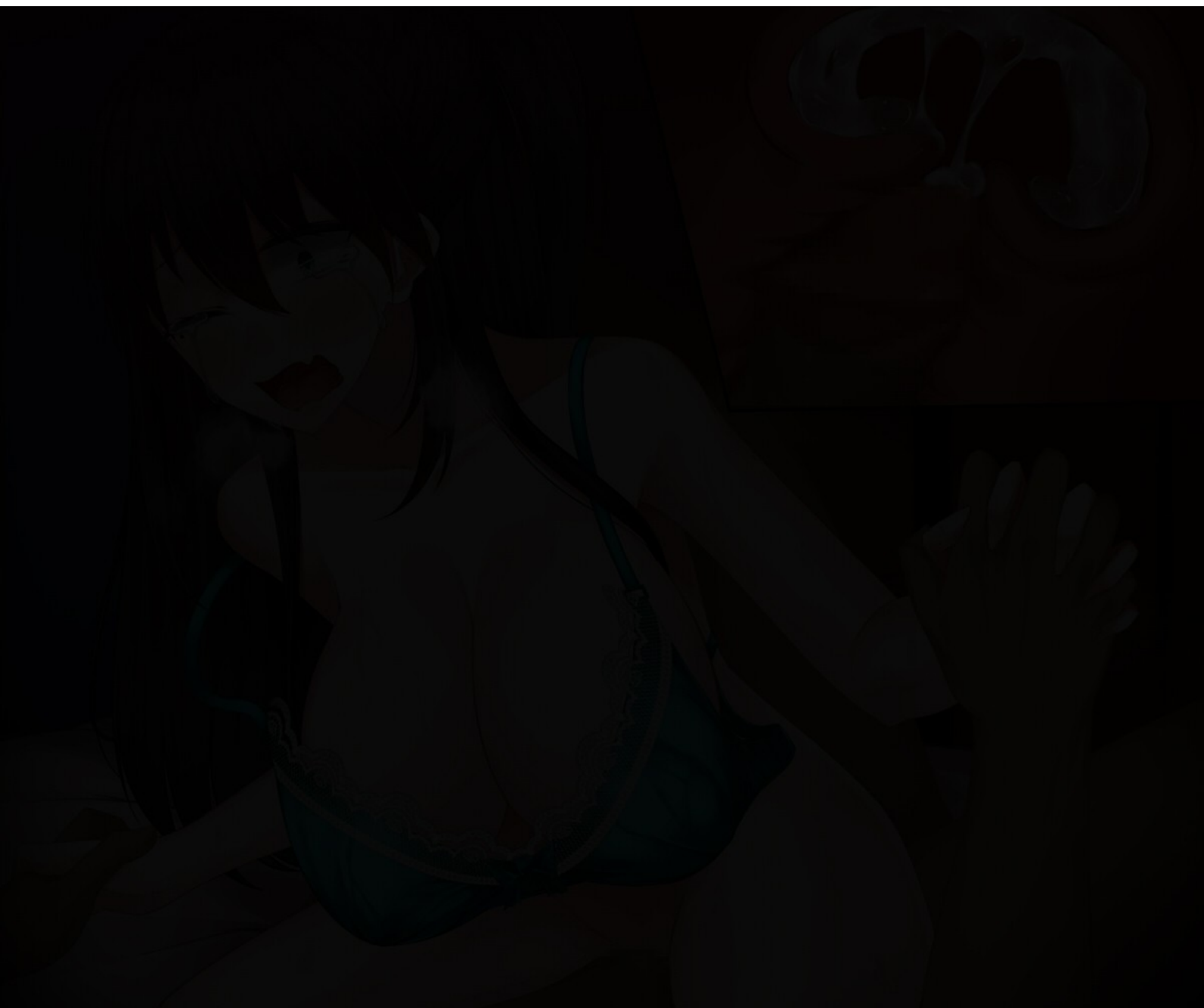






















































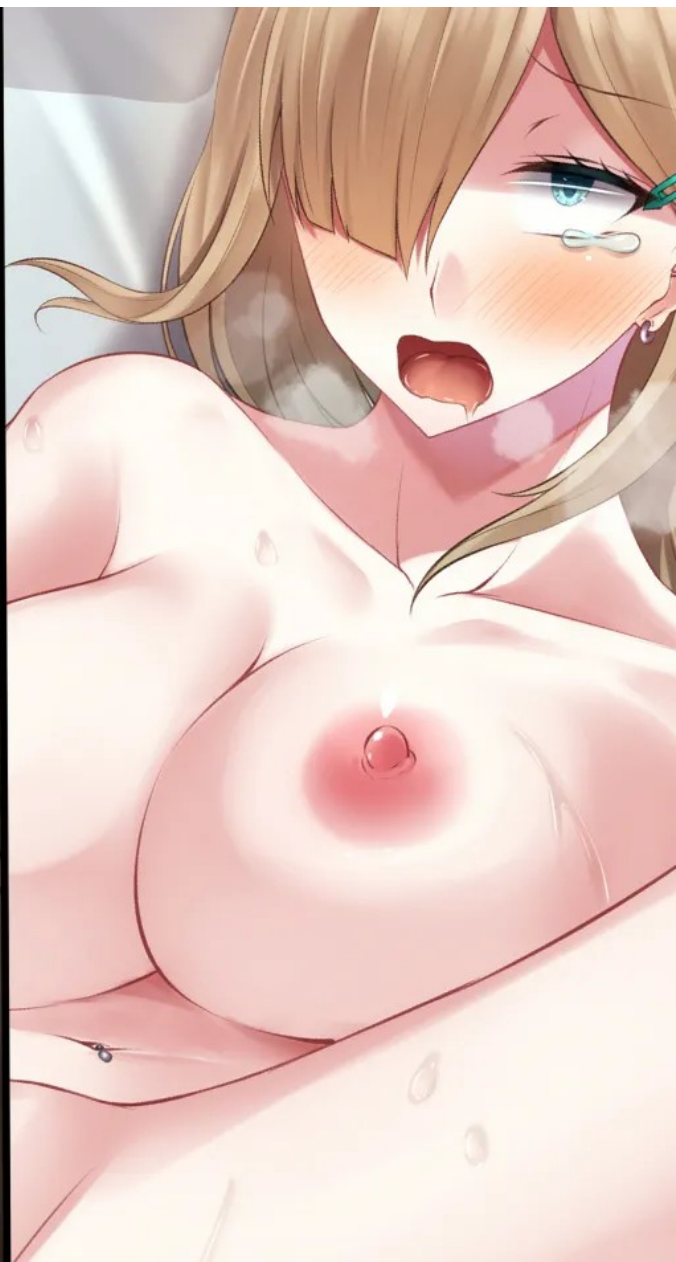






















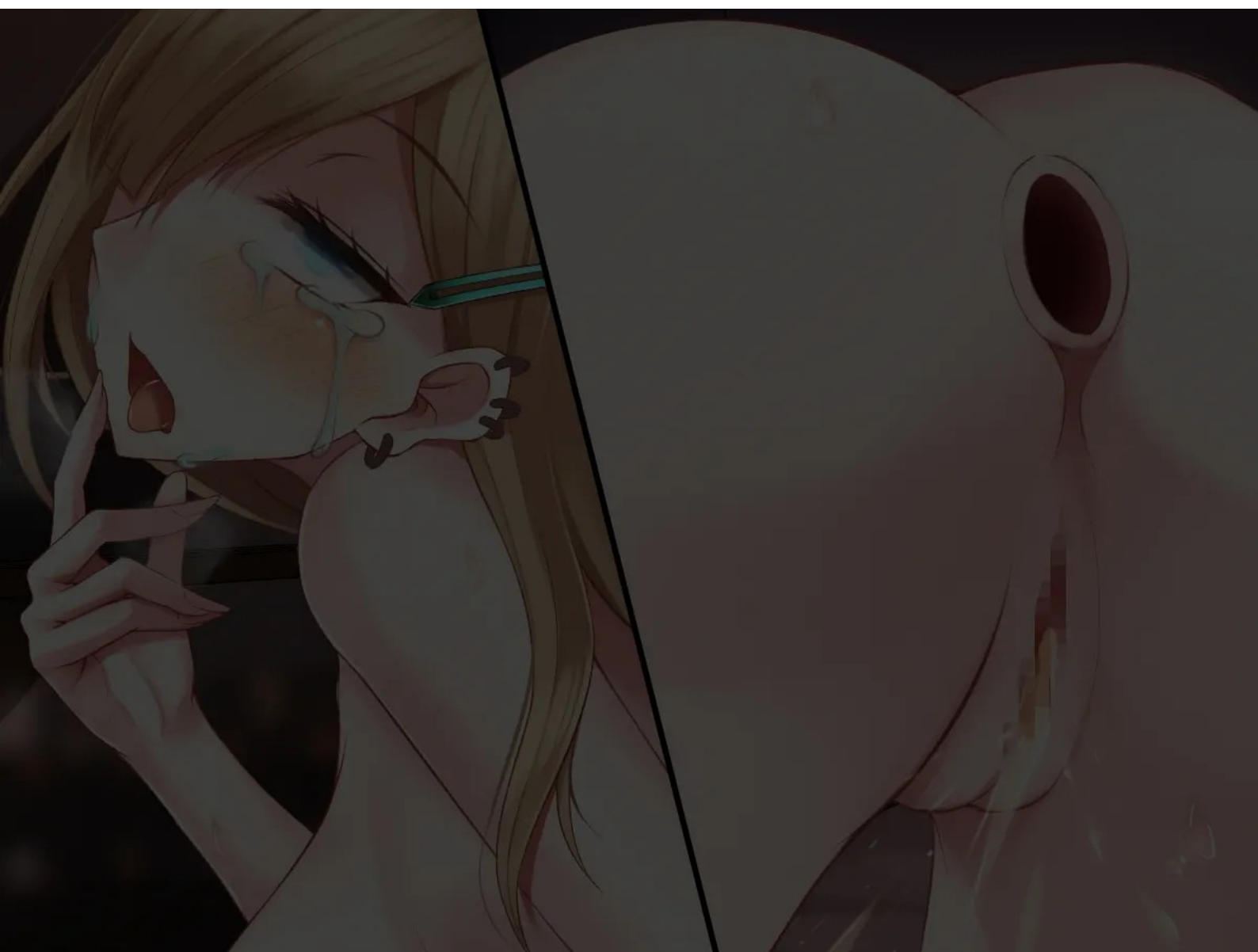


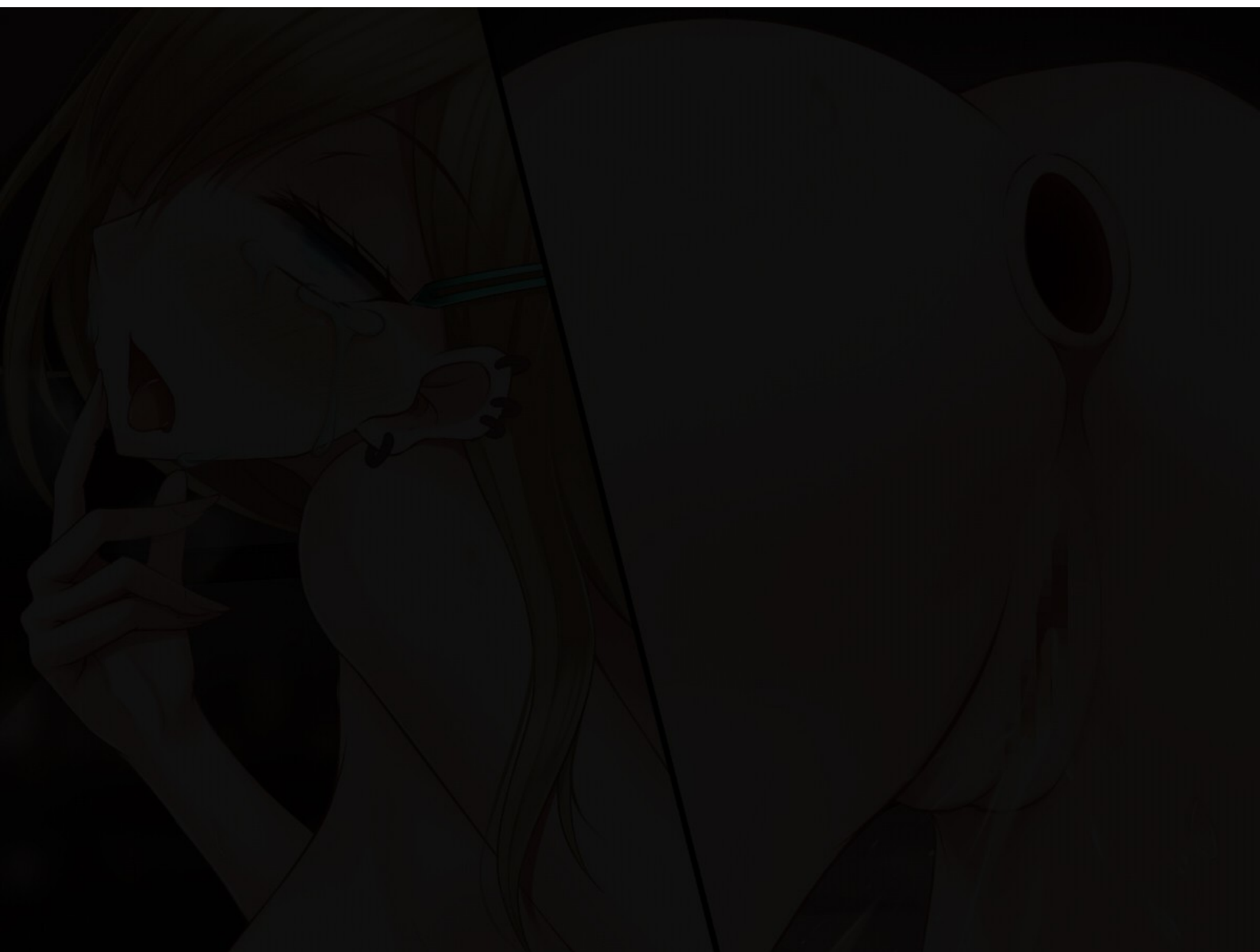










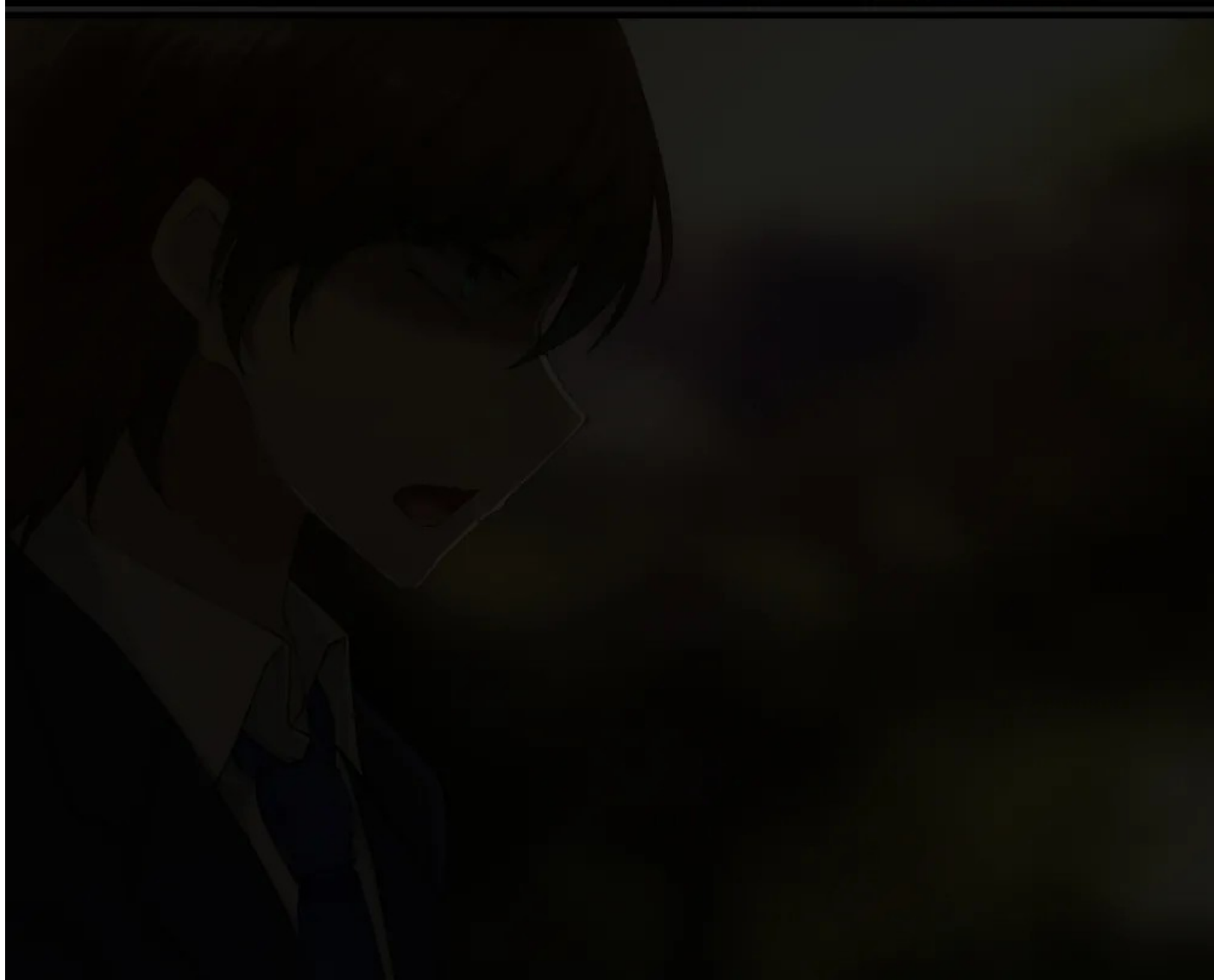














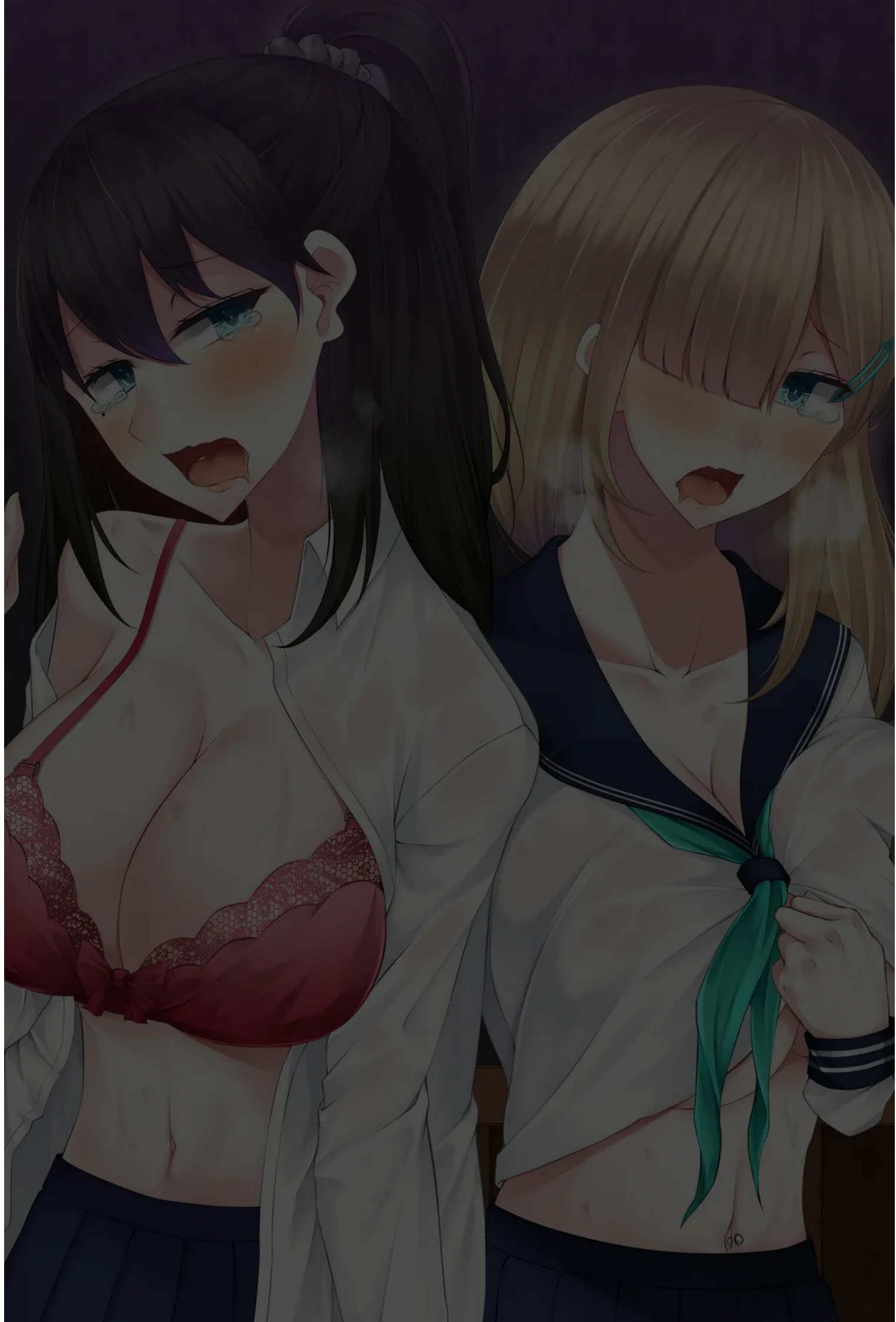


















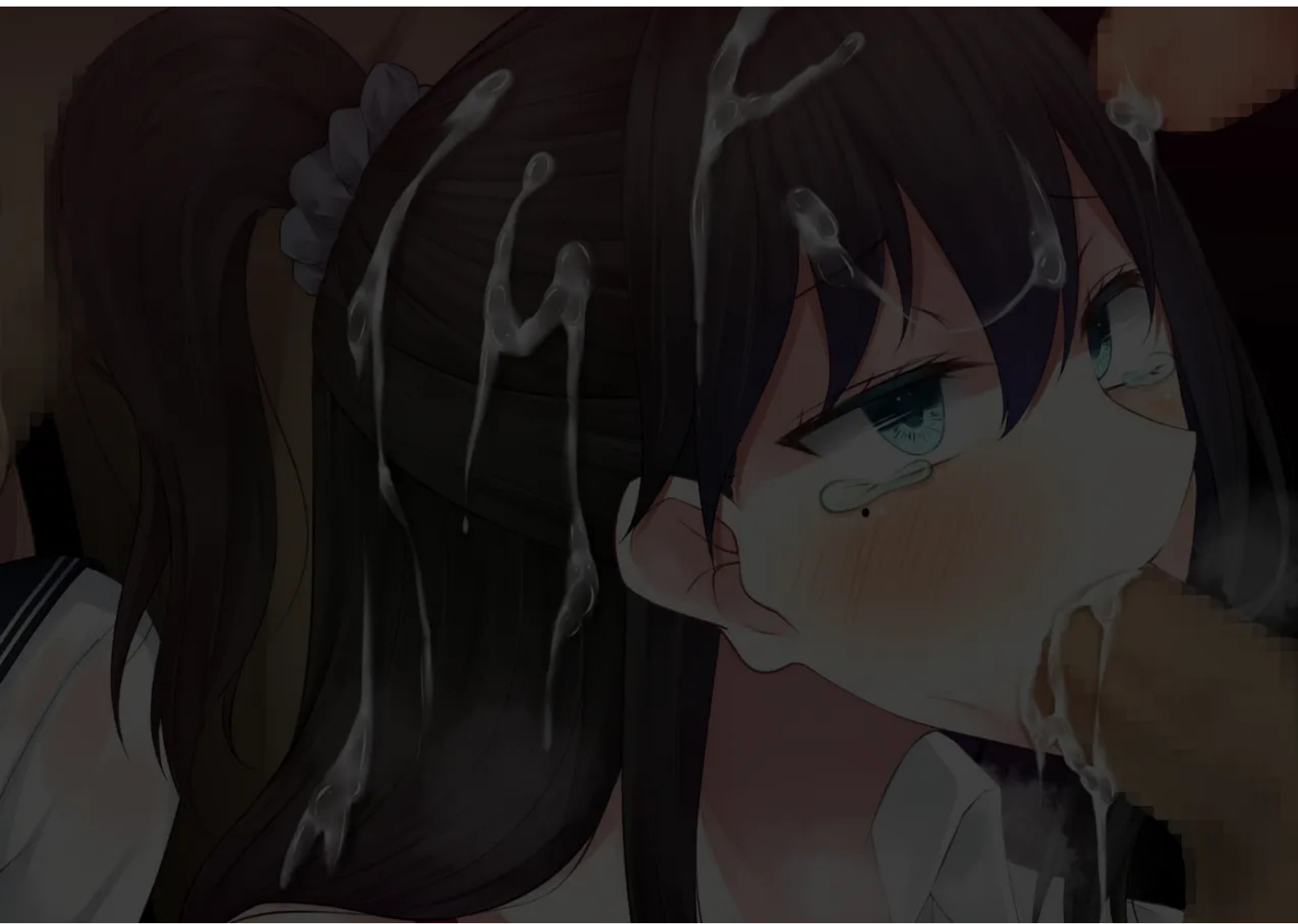






















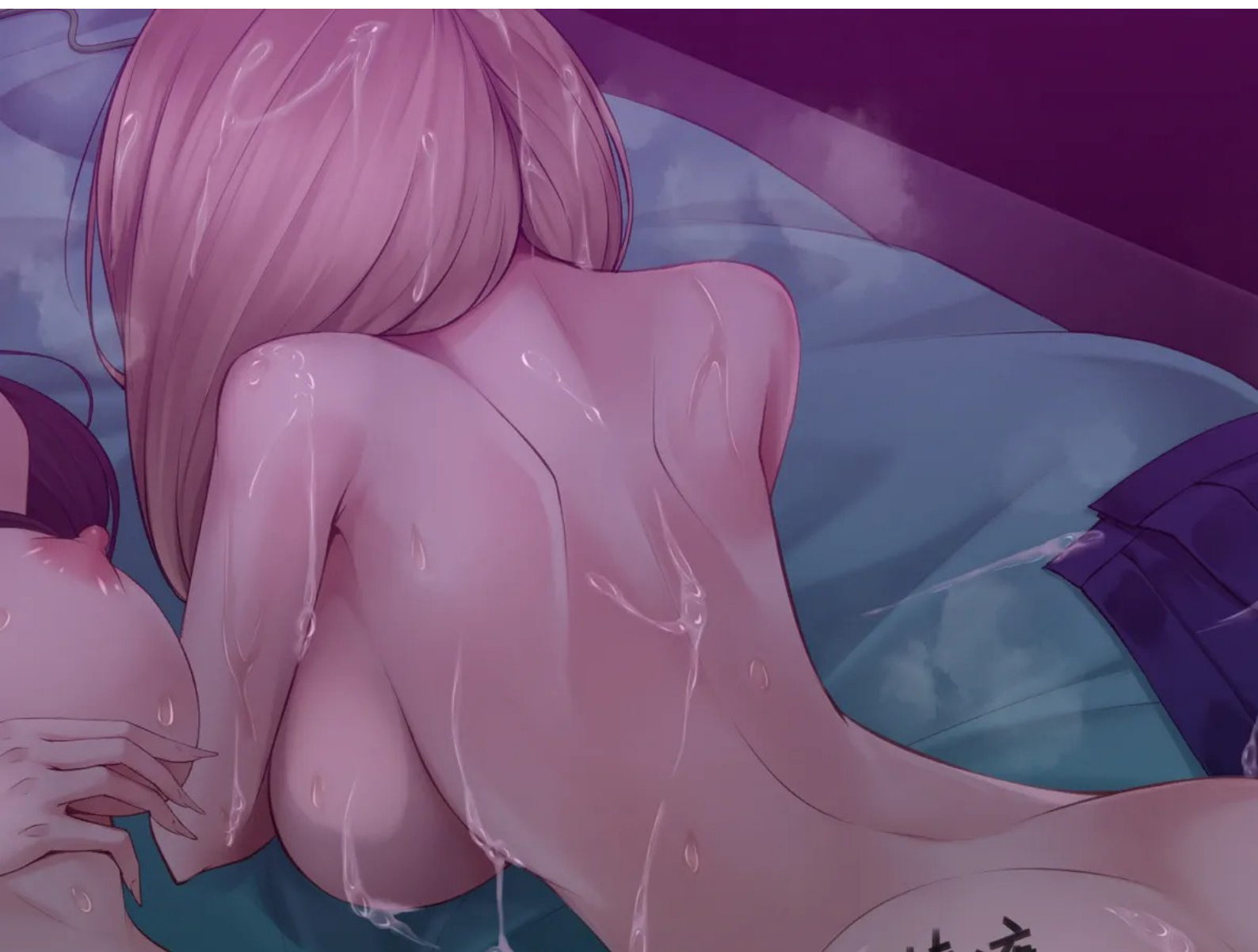






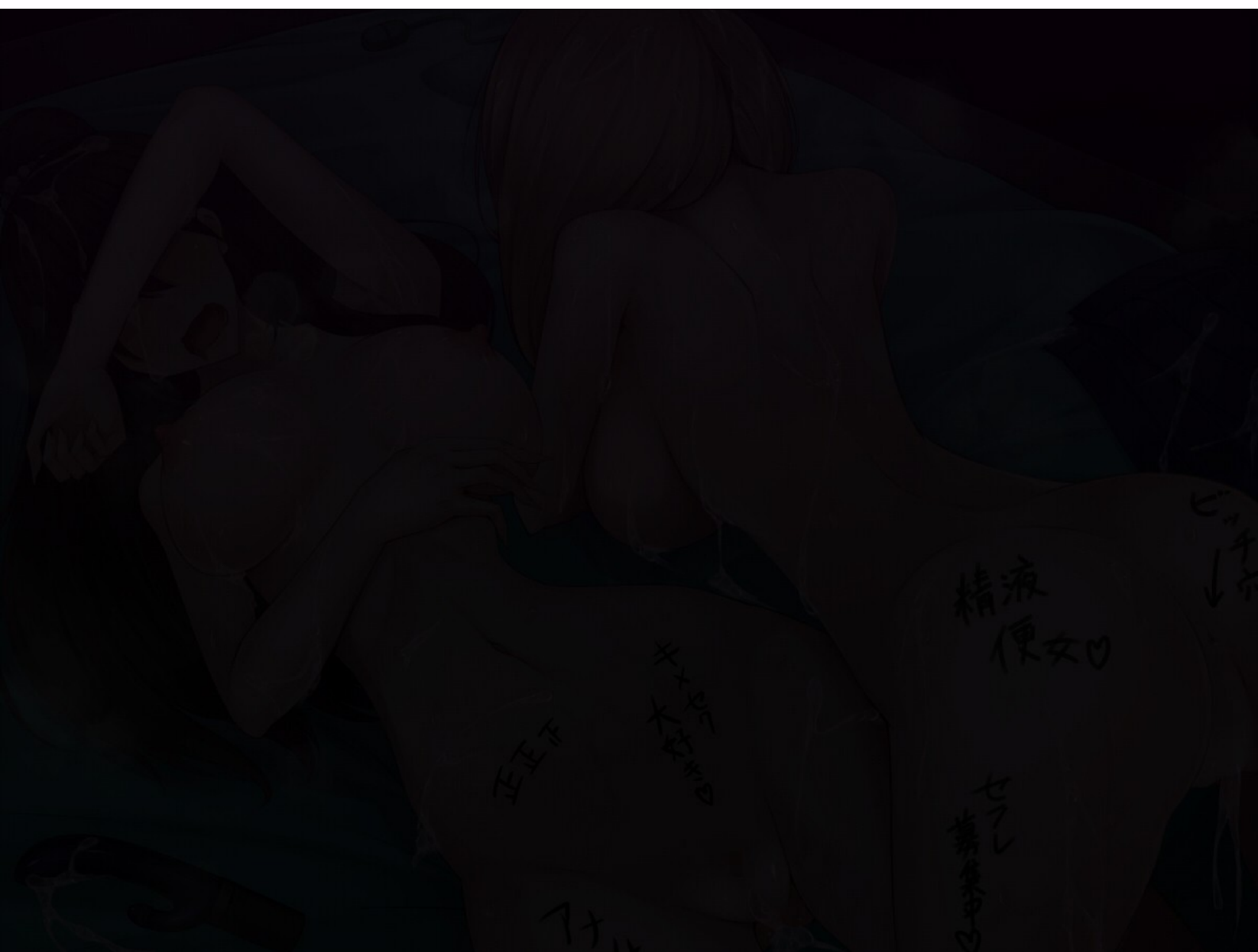












精液
便女♡

じゅん
↓

セフレ
募集♡

※+α
オナホ♡

正正正

アナル









